

訂正再版

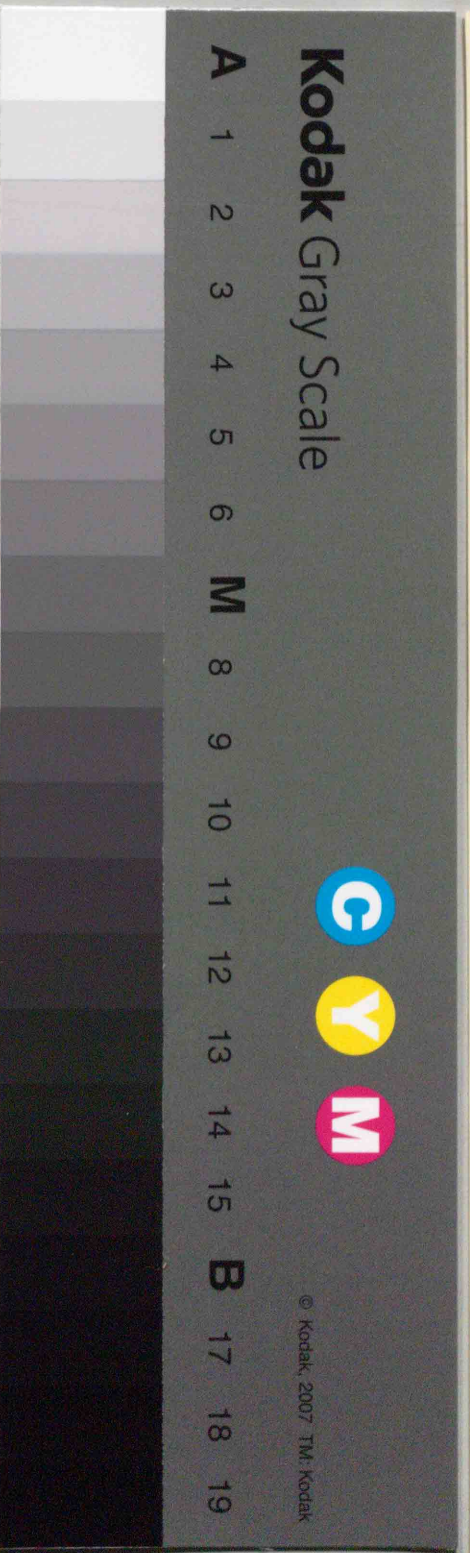
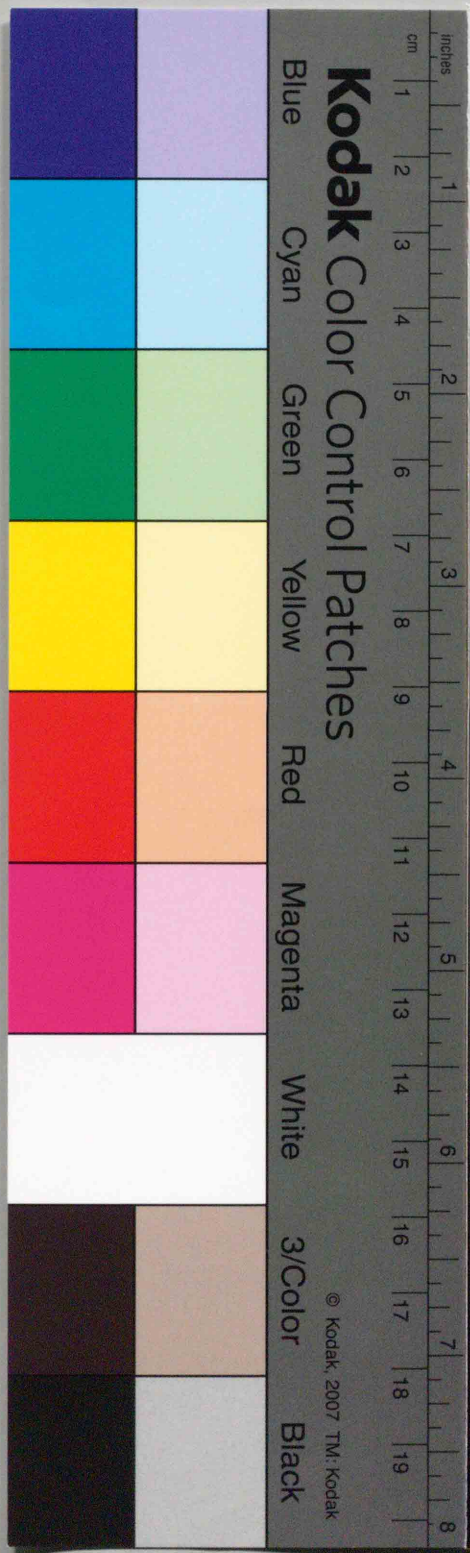
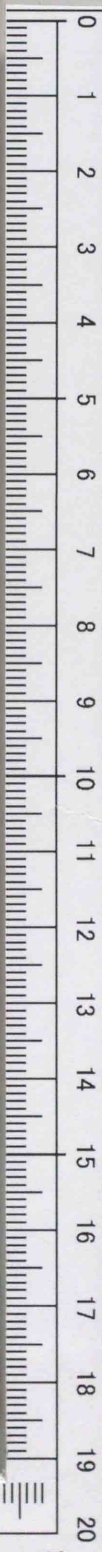
375.9
Dt 1
資料室

學習院教官太田保一郎著

中等新地理上

東京 八尾版

教科書
41-1895
20003



30515

教科書文庫

3
290
41-1895
20003
02832



資 料 室
中 央 圖 書 館

3759
0t1

戶 田 益 太 郎

教科書文庫
3
290
41-1895
2000302832

訂 正 再 版

學習院教官太田保一郎著

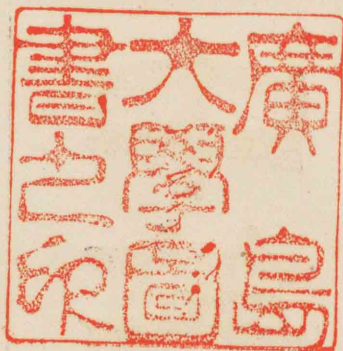
中 等 新 地 理 上

東 京 八 尾 版

広島大学図書

2000302832





凡例

一本書は略、本邦地理及び地球の概略を學べる者をして更に一層深く且つ廣く地理を會得せしめんが爲に記述したるものなり

一本書の體裁は大より細に及びすの順序を取り綱目を分ちて簡單に其概要を記述したれば一讀して趣味を辭句の上に感ぜしむること能はざれども學生の力に應じ教授者は如何なる程度にも敷衍することを得べし是れ教科用書として然らざるを得ざるなり

一自然と人爲との關係を講明して之を人事に應用するは斯學の要旨あり本書を看ん人は先づ此觀念を念頭に存し殊に各地の物産運輸交通等の如き直接に實業に資すべき件は用意一層周到あらんことを要す徒に都市山川の諳記のみを是れ事とするが如きは編者の敢て望む所にあらず

一地名の書方發音等に就きては種々の議論あれど本邦の文字を以て彼國の音を寫し出すことは極めて難きのみならず到底出來得べからざるものも亦

凡

例

二
尠らず我國を呼びて Japon. Japan. などとするが如く英佛若くは獨等國によ
りて其稱呼を異にすれば果して何れを取りて然るべきや英語流行るれば
英稱に従ふべしと論ずる人もあれど強ち某一國の稱呼のみに泥むにも及
ばざるならむ要するに從來本邦人の呼び慣れたるものは無理に改めざる
を可とす本書を看ん人此心して見られよ但英佛の稱呼を知らんと欲せば
卷末の地名對照表を見るべし

一 本書を讀む人は明治講學會にて發刊せる尋常師範學科講義錄中余が普通
地理學講義を看なば更に發明する所あるべし該講義は略、本書の順序によ
りて稍高尚に敷衍せるものあり
一 本邦地理を本書中に載せざるは他の故あるにあらず本邦地理は別に記述
するを以て正當と思惟したればなり

明治二十七年 晩夏

東京下六番町に於きて 著者 志 志 著

第二版の緒言

第一版にては主として英里を用ひしが今回本邦里に改正し又文章事實の修
正を加へたり

明治二十八年 初夏

著者 志 志 著

中等新地理

總目次

第一編 地理總論

第一章 緒論

第一節 地理學の定義……………一

第二節 地理學の必要……………二

第三節 地理學の區分……………七

第四節 地理學の各區分の關係……………八

第五節 地理學と他の學科との關係……………九

第二章 天文地理の概要……………十

第一節 星雲……………十

第二節 星辰の區分……………十

第三節 太陽系統……………十

第四節 太陽……………十

第五節 月又太陽……………十一

第六節 地球……………十二

第七節 蝕……………十三

第八節 曆……………十三

第九節 地の球形なる證據……………十四

第十節	地球の大きさ及び其測知法	三十七
第十一節	地軸及び両極	三十八
第十二節	線度	四十八
第三章 地文地理の概要		
第一節	地球の發達	四十九
第二節	氣界	五十七
第三節	水及び陸	七十一
第四節	水界	七十一
第五節	陸界	八十二
第六節	氣候	八十二
第七節	天産	八十五
第八節	地理史略	八十八
第四章 人文地理の概要		
第一節	人類社會の成立及び發達	百十二
第二節	人種及び種族の配布	百十七
第三節	邦國	百二十
第四節	開明の程度	百二十二
第五節	需要品及び生業	百二十五
第六節	交通	百二十九

目次畢

第七節	人情	百三十二
第八節	風俗	百三十四
第九節	言語	百三十六
第十節	宗教	百三十七
第十一節	政治	百四十



中等新地理

太田保一 著

第一編 地理總論

第一章緒論、第二章天文地理、第三章地文地理、第四章人文地理

第一章 縮論

第一節地理學の定義、第二節地理學の必要―教育上、政治家、軍人、醫師、商工、農其他實業家に必要、第三節地理學の區分―天文地理、地文地理、人文地理、第四節地理學各區分の關係、第五節地理學と他の諸學科との關係、

(第一節)地理學の定義……地理學ノ定義ニ就キテハ、古來種々ノ異說アリト雖モ、今此編ニ於キテハ、其廣義ニ從ヒテ左ノ如ク解釋ヲ下セリ。

地理學は地球に關する諸般の事項を講究する學なり、而して殊に人生に須要の關係ある現象は、斯學を講究する者の最も力を用ゆべき所なり。

(第二節)地理學の必要……人誰カ地上ニ生活セサル者アラシテハ、其住處タル地球ニ就キテ講究スル所ナクシテ可ナランヤ、其棲息セル邦土ノ狀勢ヲ審カニセスシテ可ナランヤ、士ニマレ、農ニマレ、工ニマレ、商ニマレ、其他所有業務ニ從事シテ、身ヲ立テ世ヲ益セントスルニ方リテハ、必スヤ地理學上ノ智識ニ藉ラサルヘカラス、今項ヲ分チテ其必要ノ一斑ヲ略説セン。

(一)教育上に就きて……教育ノ要ハ、學生ニ其國民タルノ精神ヲ培植スルト同時ニ、又其國民タルヘキ任務ヲ盡シ得ルノ

能力ヲ養ハサルヘカラス、而シテ地理學ハ、此等ノ目的ヲ達スルニ極メテ裨益アル者ナリ。彼ノ神功皇后ノ御遠征ハ、如何ナル所ニ道ヲ取り玉ヒシカ、豐太閤征韓ノ役ハ、何ノ地ニ初マリ、何ノ地ニ終リシヤ、蒙古十萬ノ兵ヲ鑿殺シテ、元廷ノ膽ヲ寒カラシメタル所ハ、何地ニアリヤ、秀麗ナル此山川、豐富ナル此國土、誰カ之ヲ關キ、誰カ之ヲ護ル、愛國ノ心情ハ、斯學ニ因リテ養ハル、コト殊ニ多シ、其自然及ヒ人爲ノ現象ヲ研究スルヤ、智力ヲ啓發シ、情念ヲ養成シ、兼テ又意志ヲ鞏固ナラシムルコトヲ得ヘシ、是レ教育上地理學ノ必要ナル所以ナリ。

(二)政治家に就きて……政治家タル者ハ、國土、人情、風俗等ノ異同ニヨリテ、施政ノ方針ヲ定メサルヘカラス。例之ハ我國ニ在リテハ、立國ノ基業ハ、農ヲ以テ主トスヘキカ、商ヲ以テ主

トスヘキカ、將タ工ヲ以テ重シトスヘキカ、或ハ是等ヲ竝立セシメ、若クハ其間如何ナル等差ヲ立ツヘキカ、又國防上ニ於キテハ、陸海軍何レヲ主トスヘキカ、其他政治上ノ區劃、學區ノ制定、山林鑛山ニ係ル保護監督ノ地域、市町村ノ離合、或ハ河身港泊ノ修築等ニ關スル問題等ハ、皆是レ斯學ノ力ニ藉リテ解釋セラレサルハナシ、故ニ政治家タル者ハ、必スヤ地理學上ノ智識ヲカルヘカラス。

(三) 軍人に就きて……軍人タル者ハ、陸海軍ノ何レニ屬スルニ拘ラス、皆地理學上ノ智識ヲカルヘカラス、若夫軍人ニシテ、斯學ノ智識ヲクシ、ハ安ソ能ク攻城野戰ノ功ヲ奏スルコトヲ得ンヤ、何ヲ以テ艦艦ノ進退ヲ操縱シテ、巧ニ敵艦ヲ擊碎スルコトヲ得ンヤ、曩ニ普佛戰爭ノ起ルヤ、佛人ハ普人ノ地理ニ精

シキヲ視テ、一驚ヲ喫シ、大ニ自省ノ念ヲ喚起シ、爾來佛國ノ地理學ニ一大進歩ヲ與ヘタリト云フ、復以テ、地理學ノ軍人ニ必要ナルコトヲ見ルヘキナリ。

(四) 醫師に就きて……醫師タル者ノ任務ハ、獨リ既ニ病メル者ヲ治療スルノミニアラスシテ、之ヲ未然ニ防遏スルコト極メテ必要ナリ。サレハ疾病ト、水土、氣候、職業、人情、風俗等トノ關係ヲ知悉シ、疾病ノ豫防、病毒ノ驅除等、其他衛生上、百般ノ事項ニ注意セサルヘカラス、是レ地理學上ノ智識ヲ藉ラスシテ、將タ如何スヘキカ、醫師タル者モ亦地理學ヲ脩メサルヘカラ

ス。
(五) 商、工、農、其他の實業家に就きて……商賣貿易ハ、平和ノ戰爭ナリ、實業ハ、國家ノ臟腑ナリ、商業ヲナサンカ、各國各地ノ

物産、人情、嗜好、氣候、貿易制度等ヲ知悉セサルヘカラス、運輸交通ノ便否ヲ窮メサルヘカラス、工業ヲナサンカ、其原料ノ多寡、性質、產地、運輸ノ便否、製造場ノ位置、製品販賣先ノ如何、又其製品ノ種類ニヨリテハ、氣候トノ關係如何等ヲモ知悉セサルヘカラス、又農業ヲナサンカ、地質、土性ノ如何、土性ニヨリテハ、施スヘキ肥料、種藝スヘキ果穀、氣候ト動植物トノ關係、地勢ト水旱トノ關係等ヲ知悉セサルヘカラス、而シテ此等ノ問題ハ、皆地理學上ノ智識アルニアラサレハ、得テ解釋スヘカラサルナリ。故ニ實業家タル者ハ、其業務ノ如何ニ拘ラス、皆地理學上ノ智識ナカルヘカラス。

是ヲ以テ地理ヲ學フ者ハ、務メテ觀察ノ範圍ヲ廣クシ、細カニ日常ノ現象ニ注意シ、各自ノ業務ニ應シテハ、殊ニ精査熟考ノ工夫ヲ運ラシ、以テ、斯學ノ要旨ニ協ハンコトヲ期セサルヘカラス。

(第二節) 地理學の區分……地理學ノ區分ニ就キテハ、種々ノ異說アリト雖モ、本書ニ於キテハ、天文地理、地文地理、人文地理ノ三綱ニ大別ス。(節ヲ分テ項トシ(一)(二)等ヲ冠シ、項ヲ分テ目トスルキハ(イ)(ロ)等ヲ冠シテ之ヲ區別ス)

(一) 天文地理 又 星學地理……地球ヲ以テ、太陽系統中ノ一遊星、即チ天体ノ一トシテ講究スルヲ天文地理ト云フ。

(二) 地文地理……水陸、大氣、氣候、及ヒ天產物等、自然ノ狀態ヲ講究スルヲ地文地理ト云フ。

(三) 人文地理 又 政治地理……地球ヲ以テ人類ノ棲所トナシ、

殊ニ其地理上ノ諸要素ト、人類社會及ヒ邦土トノ關係如何ヲ講明スルヲ人文地理ト云フ。(地理學ノ區分ハ、古來人ニヨリテ其撰ラ或ハ星學地理ヲ分テ天文地理ト數理地理トスル等種々ノ區分アリト雖、今此篇ニ於キテハ、本分ノ區分ニ據ル)

〔第四節〕地理學の各區分の關係……均シク是レ地理學ナリ、分ナテ三綱トスルハ固ヨリ研究上ノ便宜ニ出ツ。サレハ、其互ニ相關係スルハ自ラ明カナラン、然レモ、今畧、其關係ノ概要ヲ論セン。我地球ハ、太陽系統中ノ一遊星ニシテ、光ト熱トヲ太陽ニ仰ケハコソ、地面ニ五個ノ氣候帶ヲ生シ、大氣ノ流動、乾濕ヲ起スナレ、星學地理ヲ離レテ、地文地理ヲ講スル能ハサルナリ。人類、社會及ヒ國家ノ盛衰消長ハ、其邦土ノ位置、氣候、地勢、天產等ノ自然ノ影響ニヨルコト極メテ著シ、地文ヲ措キテ人文ノミヲ論スルコト能ハサルナリ、故ニ此三個ハ、互ニ相

關係シテ毫モ分離スヘキモノニアラス、殊ニ地理學ヲ以テ人生ノ必需ニ應セントセハ、天文、地文ノ二綱ヲ精研シ、以テ人類カ地理上ノ諸要素ト、如何ニ親密ナル關係ヲ有スルカナ講明セサルヘカラス。

〔第五節〕地理學と他の學科との關係……地理學ノ範圍ハ、極メテ廣ク、隨ヒテ其諸學科トノ交渉モ亦極メテ多シ、其天體ニ論及スルヤ、天文學即チ星學ト交渉シ、地味地質ノ事項ニ及ヒテハ地質學ト交渉シ、天產ヲ論スレハ、博物學ト交渉シ、風雨霜雪ノ論ニハ、氣象學ト關係シ、人種ノ論ハ、人類學ニ關シ、其發達ハ、歴史學ニヨリ、社會、邦國ノ盛衰現狀ハ、社會學、政治學、經濟學等ニ關係スルカ如ク、尙細カニ之ヲ論スレハ、如何ナル學科モ、地理學トノ關係ヲ有セサルモノナシ、故ニ斯學ヲ研究セ

ント欲スル者ハ、同時ニ此等ノ諸學科ニ涉獵セサルヘカラス。

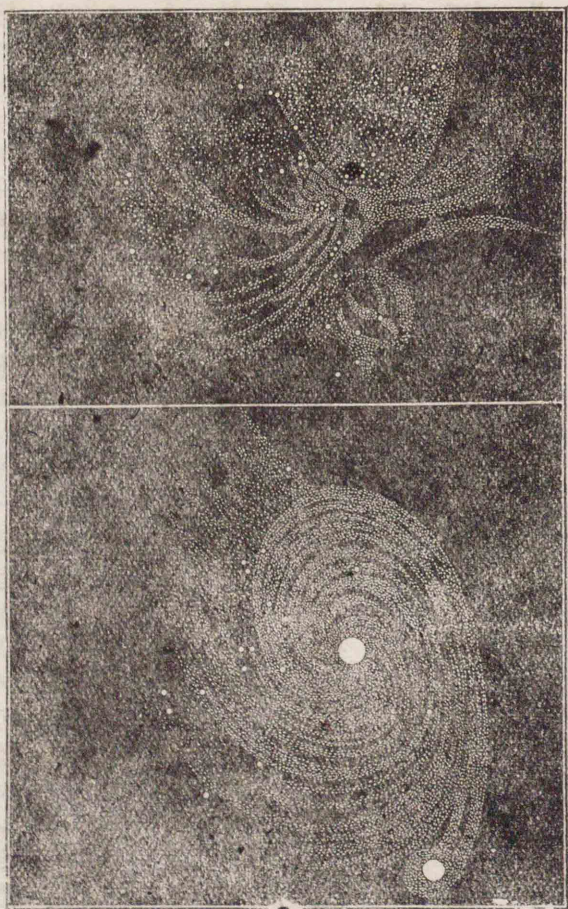
第二章 天文地理の概要

第一節星雲(附星雲說の畧)、第二節星辰の區分(恒星、遊星、衛星、彗星、流星及ひ隕石)、第三節——太陽系統、第四節太陽——太陽と地球との距離、太陽の運行、太陽の光熱、第五節月——月と地球との距離、月の運動、盈缺、月面の狀態、第六節地球——地球の運行、自轉晝夜、公轉四季、第七節日蝕——日蝕、月蝕、第八節曆、第九節地の球形なる證——地平線、他の證、第十節地球の大きさ及び其測知法、第十一節地軸及び兩極——方位、羅針盤及び磁氣、第十二節緯度——緯線度、經線度、五氣候帶、位置の定め方

〔第一節〕星雲………天空遼遠ノ距離ニ於キテ、雲ノ如ク霞ノ如ク、自ラ光ヲ發スル一種ノ瓦斯體アリ、吾人ノ想像シ能ハサル程ノ高熱ヲ有セリ、之ヲ星雲ト云フ。

(附)星雲說ノ畧………地球ノ成立ニ就キテハ、古來其解釋ニ苦ミシガ、星學ノ進歩スルニ從ヒテ、星雲ナルモノヲ發見シ、^{カント}韓圖、^{ラプラス}ラプラスノ二氏之ニヨリテ說ヲ立テ、曰ク、我地球ノ始メハ星雲ニシテ、西ヨリ東ニ向ヒテ自轉シ、歲月ヲ

星雲之圖



經ルニ從ヒ、漸ク其熱ヲ失フテ恰モ鎔鐵ノ如ク、白熾光ヲ發スル液体ノ圓形トナリ(白光ヲ放ツ星ハ正ニ此時期ニアリ)、尙次第ニ其熱ヲ減スルキハ、外部ニ薄キ皮膜ヲ生スルニ至ル、然レモ其内部ハ尙液体ニシテ高熱ヲ有スル

初ノ如ク、赤色ノ光輝ヲ發ス(赤色ノ星ハ正ニ此時期ニアリ)、我太陽ハ今白光ヨリ赤光ニ移ラントスルノ際ナルヘシス

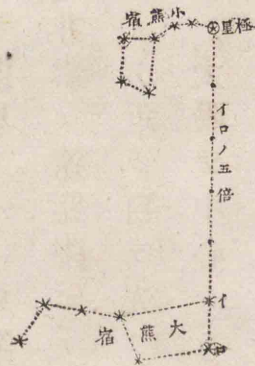
ク其表面漸ク熱ヲ失フテ冷却スレハ、外皮ハ愈々其厚サヲ加フレモ、時ニ内部

ノ熱液、此外皮ヲ破リテ表面ニ溢出スルコトナキニアラス、然レモ外皮ノ冷縮スルコト一層其度ヲ進ムルキハ、是迄周圍ヲ包繞セシ水蒸氣ハ凝結シテ水トナリ、球ノ表面ニ水陸ノ區別ヲ生シ、氣圍氣之ヲ包裹シ、動植物ノ萌芽始メテ生育ス、地球ハ、此時期ニアリテ、既ニ許多ノ歲月ヲ經タルモノナリ、而シテ尙若干ノ歲月ヲ經過スルキハ、終ニ全ク熱ヲ失ヒ、空氣及ヒ水モ消失シ、動植物共ニ死滅シ、地上ノ光景寂寞トシテ永ク眠ルニ至ルヘシ、蓋月球ハ其適例ナリ。

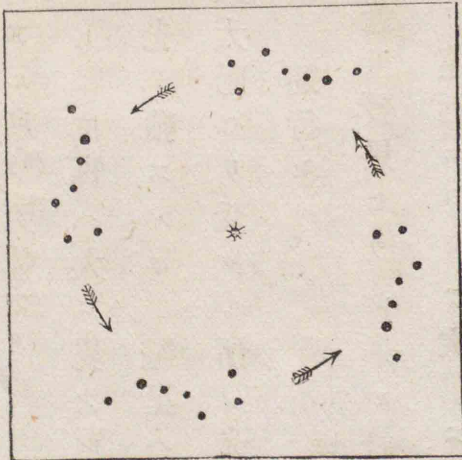
〔第二節〕星辰の區分……………天体ニ數種アリ、即チ恒星、遊星、衛星、及ヒ彗星是ナリ。

(一) 恒星……………恒星トハ、夜間天上ニ輝キ、且孰レモ同シ位置ニアルカ如ク見ユル所ノ衆多ノ光點ナリ。恒星ハ、自ラ光輝ヲ發シ、吾人ノ位置ヨリハ、非常ノ遠距離ニアリテ、其數モ亦無量ナリ。太陽モ亦一ノ恒星ナレモ、其距離最モ近ク、他ノ恒星ニ比スレハ殆ト例外タリ。

星宿又星坐……………晴夜天ヲ仰ケハ、星辰ノ數無量ナルヲ見ル、依リテ便宜上數恒星ヲ連テ群ヲ作り、其布置ノ形狀ニヨリ



北斗七星極ヲ繞テリ六時間毎ニ占ムベキ位置



テ、動植物若クハ器物ノ名ヲ命セリ、之ヲ星宿ト云フ。其内最モ著名ナルモノハ、小熊宿ニテ北極星ハ該星宿中ノ一ナリ。銀河又銀漢……………星辰ハ、場所ニヨリテ、無數相簇聚シテ天上

ニ長キ列ヲ作り、恰モ江河ノ横ハルカ如キ觀アリ、之ヲ銀河ト云フ。

(二)遊星又行星、惑星……遊星ハ、太陽ノ引力ニヨリテ、殆ト圓

キ軌道ニヨリ、太陽ノ周圍ヲ運行スル所ノ天体ナリ。

恒星ト遊星トハ、一見區別シ難シト雖モ、實ハ大ニ異ナレリ、恒星ハ、非常ノ遠距離ニアリテ自ラ光ヲ發スレモ、遊星ハ、其位置極メテ近ク、自ラ光ヲ發セス、只太陽ヨリ受クル所ノ光線ヲ反射シ、太陽ヲ中心トシテ、其周圍ヲ運行セリ。

遊星ハ、主要ナルモノ八個ト、近世發見セラレタル許多ノ

小遊星トナリ、今太陽ヨリ距離ノ遠近ニヨリテ次第スレハ、

水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星是ナリ。小遊星ハ、

火星ト木星トノ間ニアリテ、西曆一千八百一年、始メテ其一ヲ

發見セシ以來、今日ニ至リテハ既ニ二百有餘個ヲ算スルニ至レリ。

(三)衛星……遊星中第二ノ天体、即チ衛星ヲ伴ヘルモノアリ、

衛星ハ、其主星ノ周圍ヲ回轉セリ、地球ノ衛星ハ一個ニシテ、

之ヲ月又ハ太陰ト云フ、火星ニハ二個、木星ニハ四個、土

星ニハ八個ノ衛星ト扁平ナル圓キ光環トアリ、天王星ニハ

四個、海王星ニハ一個ノ衛星アリ。

(四)彗星……彗星ハ、光輝アル實質狀ノ核ヲ含メル頭部ト、稀

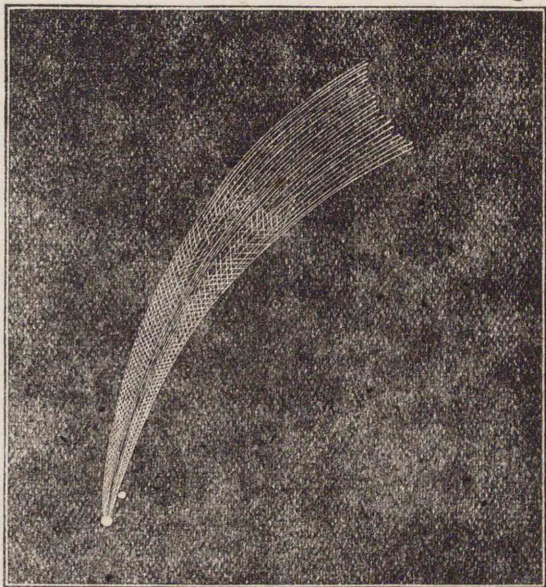
薄ナル汽狀体ノ尾トヨリ成レル、一種ノ天体ニテ、極メテ延長

ナル軌道ニヨリテ、太陽ノ周圍ヲ回轉セリ、其一周ノ時限短キ

モノハ、僅ニ數個ニシテ最モ短期ナルモノヲ「エンケ」彗星トス、

凡ソ三年三分ノ一ニテ太陽ヲ一周ス、其軌道ノ長キモノニ至

ド ナ ツ テ 彗 星 之 圖



リテハ、或ハ十二万三千年(千七百四十四年ニ現レタルモノ)ヲ費スモノアリ。今日マテ吾人ノ知得シタル彗星ノ數ハ甚タク多、大約八百以上ナリト云フ。

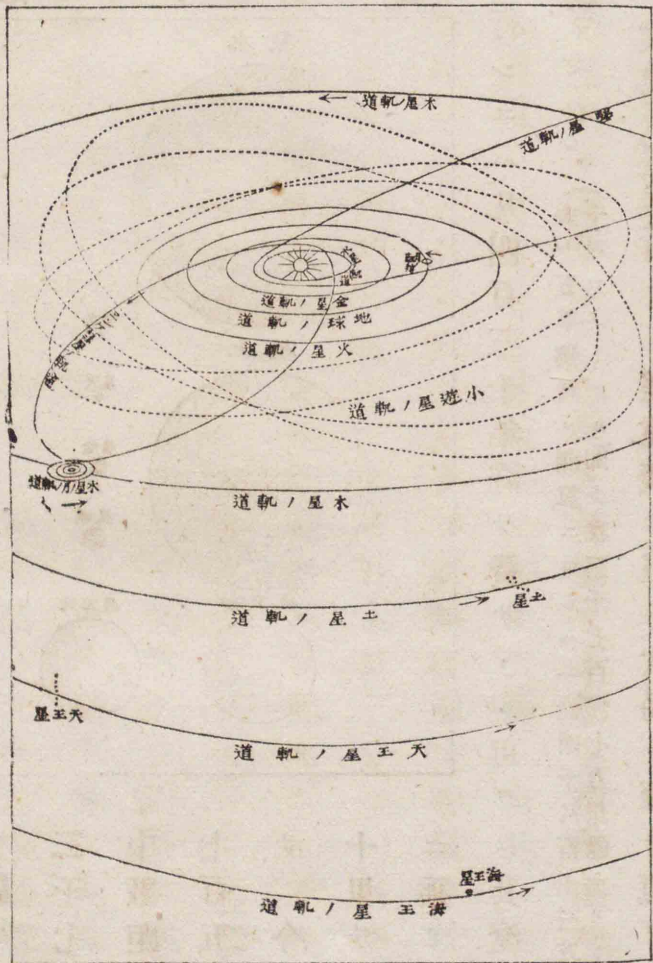
(五) 流星及ひ隕石……………
流星ニ就キテハ、古來種々ノ説アリト雖モ、一定ノ時期ニ於キテ、一定ノ位置ニ現ハル、ト多キカ故ニ、太陽ヲ廻轉スル微細群簇ノ一天体ナリト推定セリ。此天体、運行中、地球ノ霧圍氣内ニ入ルコアレハ、速度ノ極メテ大(一秒平均三十五哩)ナルニヨリ、霧圍氣ト摩

擦シ、紅熾シテ所謂流星トナル、其高サ平均三十一二里ナリ。流星ノ体ハ、微細ナレバ、多クハ霧圍氣中ニテ燃燼スレモ、大ナル流星ニ至リテハ、其破片遂ニ地上ニ落來ルコアリ、之ヲ隕石ト云フ。某種ノ彗星ハ、流星ト其質ヲ同フスルモノ、如シ。成分ハ、主トシテ鐵鑛ヨリ成レリ。

〔第三節〕太陽系統……………太陽及ヒ其周圍ヲ運行スル所ノ諸遊星ト、衛星等ヲ總稱シテ、太陽系統ト云フ。太陽系統中、諸遊星ノ大小及ヒ其軌道一周ノ時間等ハ、凡ソ左ノ如シ。

星名	距太陽遠近	直徑	自轉時間	公轉時間	紀事
水星	一四五〇、二九八 哩	一〇六、二 哩	二四時 ¹ / ₄	八八、日	曉晚ニ現ハル燦爛タリ
金星	二七〇九五、三四〇	三〇七、一	三三時 ¹ / ₂	二二四、日 ² / ₃	空前燦爛トシテ最鮮美ナリ
地球	三、七四六、〇九五二	三、二三八、	二四時 ¹ / ₂	三六五、日 ⁴ / ₄	

太陽系之圖



二十五萬倍ナリ、故ニ其面ハ略三、八、五〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、方里ノ積ヲ有セリ。

一ニシタルモノヨリ大ナル一凡七百倍地球ノ體積ヨリ大ナル一凡百

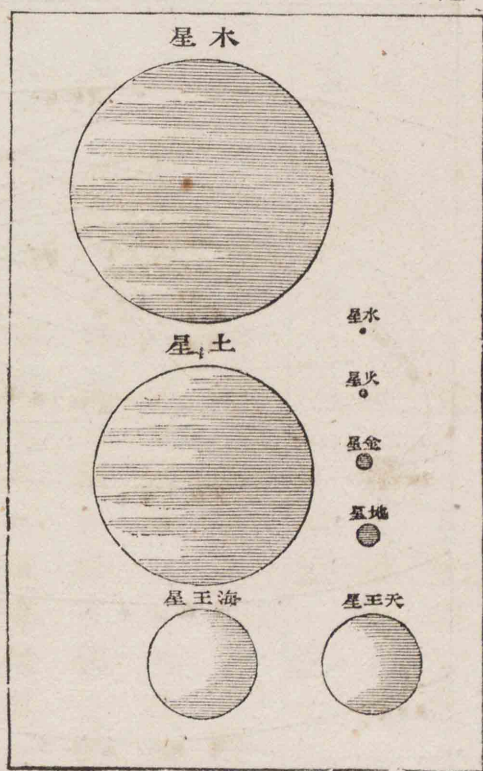
〔第四節〕太陽……太陽系統中ノ中心ニ位シ、其形最モ大ナルモノハ、太陽ニシテ、直徑凡三十五萬里、其體積ハ、諸遊星ヲ混力ハ距離ノ自乘ニ逆比例ス。

引力……天体互ニ相引クカヲ引カト云フ。諸遊星カ、太陽ノ周圍ニ回轉スルハ、太陽ノ引力ニヨリ、海水ニ潮汐ノ干満アルハ、月及ヒ太陽ガ地球ヲ引クヨリ起リ、又地上ノ萬物皆地面ニ附着シテ、天空ニ飛去セサルモ、亦地ノ引力ニヨルナリ。引

海王星	天王星	土星	木星	小遊星	火星
二、四四二、七、九、五、八、三	七、一、八、一、八、二、〇、〇、六	三、五、七、三、三、三、一、八、一、二	一、九、四、九、〇、一、九、九、三	外遊星	五、七、〇、七、九、二、三、三
一、三、四、七、九、九	一、一、三、八、一、一	二、八、六、八、〇、〇	三、四、四、四、八	最大ナル地	一、七、六、一、一
?	九	一〇、一、一、二	一〇	二四時	一年ト
百六十五年	八四年	廿九年、一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二	十二年、弱	最大ナル地ノ千二百五十倍	三二二日
太陽ト相距離ル、地球ノ三十倍ナリ	白色ニテ薄シ、恒星ノ如シ	鈍黄色	色赤シ		

(一) 太陽と地球との距離……地球ノ軌道ハ、稍楕圓形ナルヲ以テ、地球ノ太陽ヲ距ルル最モ遠キ所ハ、三千八百万里ニシ

遊 星 大 小 比 較 之 圖



テ、最モ近キ所ハ、三千七百万里、其中數距離ハ三千七百五十万里ナリ。今一時間ニ十里ヲ走ル汽車ニ乘リテ、此距離

ヲ行ンニハ、凡四百三十年許ヲ費サ、ル可ラス、其遼遠ナルヲ想フヘシ。
(去十五年獨國ノ測算ニヨレハ、一億四千八百十三万八千七百里餘ナリト云)

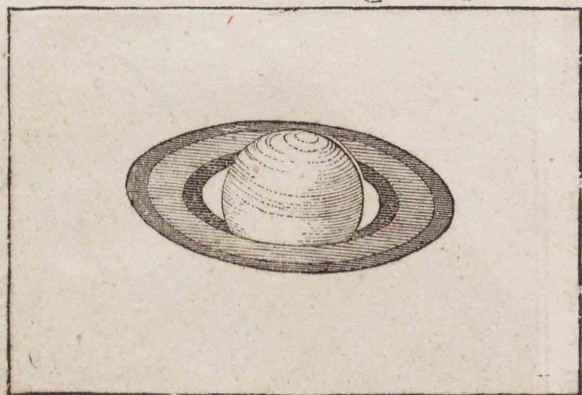
(二) 太陽の運行……望遠鏡ヲ以テ、太陽ノ面ヲ窺フニ、多クノ

斑點アルヲ見ル、之ヲ諦視スルニ常ニ東ヨリ西ニ向ヒテ其面ヲ經過スルカ如シ。然レモ、其實ハ斑點ノ經過スルニアラス

シテ、全ク太陽ノ自轉スルニヨル、依リテ斑點經過ノ時限ヲ計算シテ、太陽ハ廿五日三分ノ一ニテ、其軸ヲ一回轉スルヲ知ル。

(三) 太陽の光熱……太陽ハ、諸遊星ニ光ト熱トヲ與フル根源ナリ、地球ノ受クル光ト熱トハ、太陽ヨリ發スル光熱ノ凡ソ二十二億分ノ一ナリト云フ。

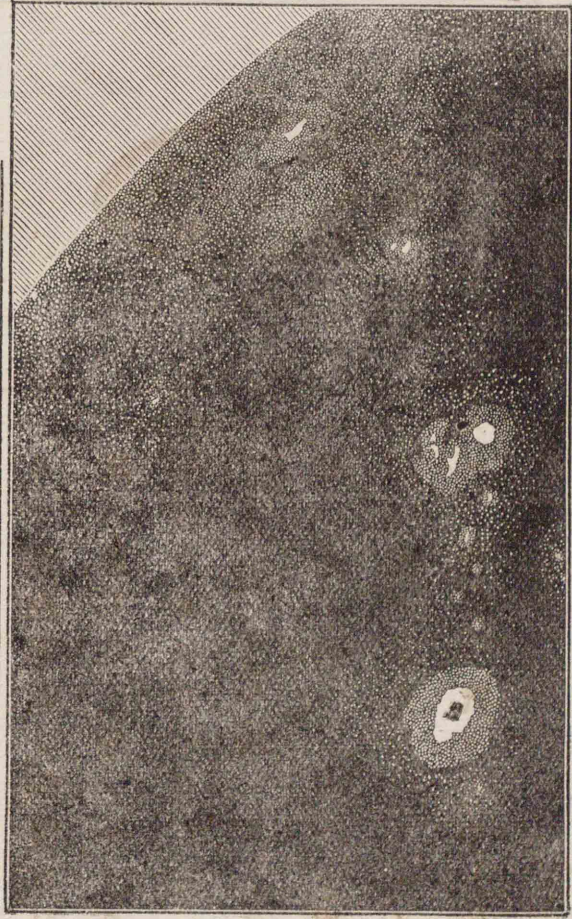
土 星 之 圖



〔第五節〕月又太陽……月ハ、地球ヲ周ル所ノ衛星ニシテ、其

直徑八百八十五里餘、周圍大約二千七百八十一里ニシテ、其容

犬 陽 班 點 之 圖



積ハ、地球
ヨリ小ナ
ルコト凡
五十分ノ
一ナリ。
然レモ、其
位置近ニ
在ルニヨ

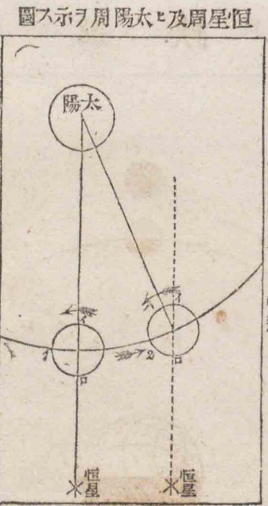
リ、肉眼ニテ見ル所ハ極メテ大ナリ。

(一) 月と地球との距離……月ノ軌道ハ橢圓ナリ、地球ト相

距ル距離ノ中數ハ、凡九萬八千里ニシテ、最モ遠キ時ト最モ近
キ時トノ差ハ、大約一万一千里ナリ。

(二) 月の運動……月ノ盈缺ニ注意スレハ、略、其軌道一周ノ

時限ヲ知ルコトヲ得ヘシ、新月ヨリ再ヒ新月トナル迄即チ月
ノ太陽及ヒ地球ト一直線ノ位置ヨリ、再ヒ同位置ニ復ルニハ、

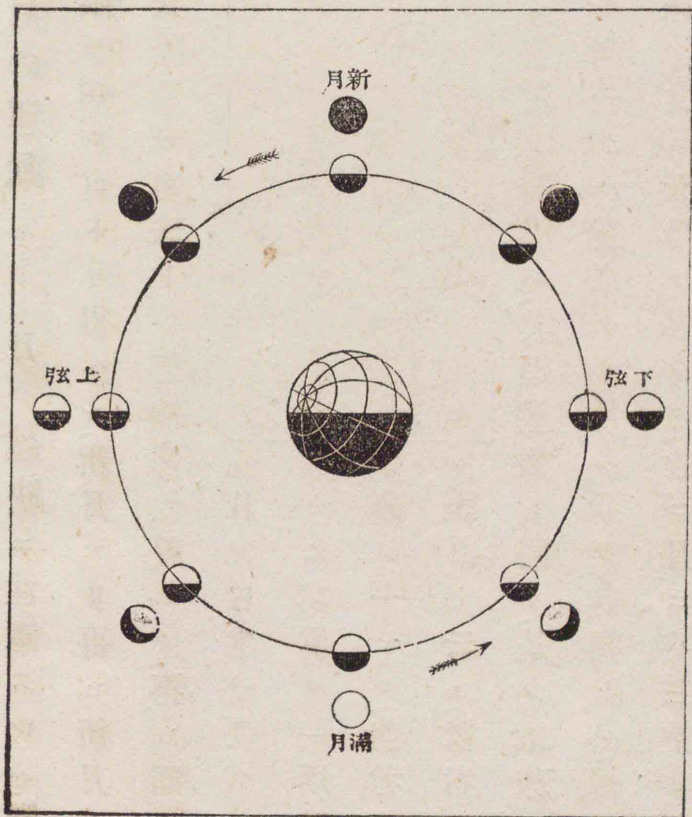


廿九日半ヲ要スルヲ知ル。然レ
トモ、其眞ノ一周時限ハ、廿七日三
分ノ一ナリ、前者ヲ太陽周或ハ朔
望月ト云ヒ、後者ヲ恒星周ト云フ。

月ノ自轉ノ時限ハ、其恒星周ト同シ、是レ地球ニ對スル月面ノ
常ニ同一ナル所以ナリ、月ハ斯ク自轉ト公轉トナシツ、又
地球ト共ニ太陽ヲ周レリ、故ニ月ニハ三重ノ運動アリ。

(三) 月の盈缺……月ハ、地球ノ周圍ヲ運行シ、自ラ光ヲ發セス、

月 之 盈 缺 之 圖



新月ト云フ。

只太陽ノ光線ヲ反射スルノミ、依リテ月面ニ盈缺ヲ生ス。

新月……月、太陽ト地球トノ間ニアルトキハ、地球ニ對シテ其裏面ノ暗黒ナル所ヲ示ス、故ニ此時ニ於キテハ、吾人ハ月ヲ見ルコト能ハス、之ヲ

上弦……新月ノ位置ヨリ進ミテ軌道四分一ノ距離ニ至レハ、半面ノ月ヲ見ル、之ヲ上弦ト云フ、午後六時ニハ、正南ノ位置ニアルヲ見ル、正午ニ出テ、夜十二時ニ沈ム。

滿月……月更ニ進ミテ軌道二分一ノ距離、即チ太陽ニ對シテ地球ノ背面ニアルトキハ、全面ヲ現ス、之ヲ滿月ト云フ、日没ト同時ニ東天ニ昇ルヘシ。

下弦……滿月後、四分三ノ距離ニ至レハ、又半面ヲ現ハス、之ヲ下弦ト云フ。此際ハ中夜ニ出テ日中ニ沈ム。

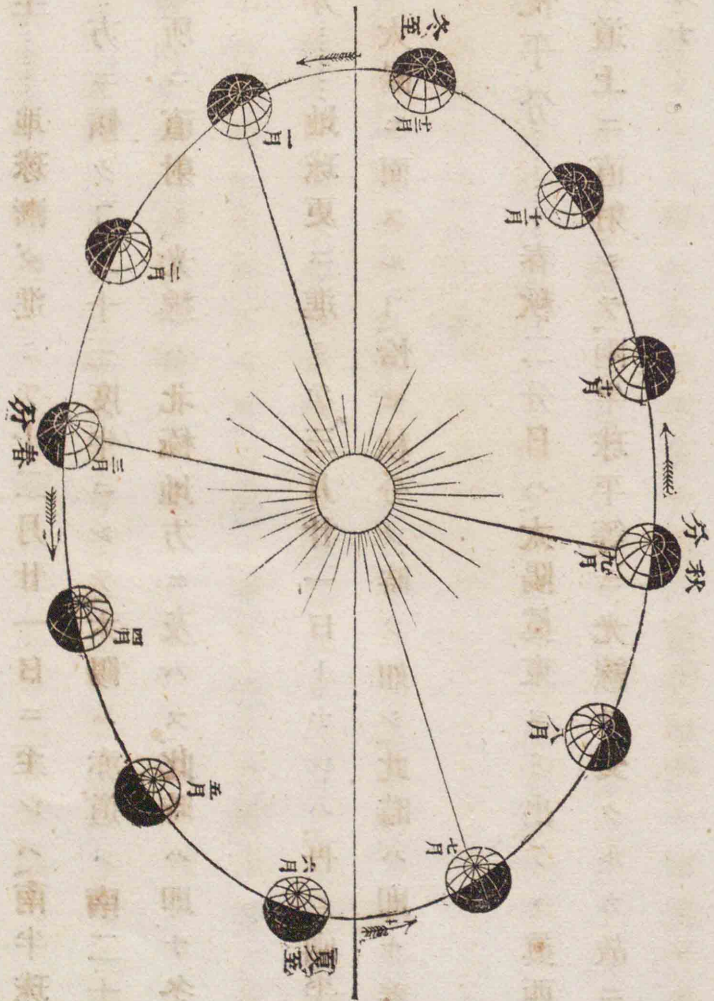
(四) 月面ノ状態……月面ノ白ク光ル部分ハ高所ニシテ、黒ク暗キ部分ハ原野谿谷ナリ、月面ノ某山ハ高二萬尺餘ニ至ルトイフ。月面ニハ、空氣ナク、晝夜ノ溫度ニ非常ノ差アリ、而シテ又水ナキヲ知レリ。サレハ、月球ニハ、地球上ニアルカ如キ

日ト一日ノ一万分
ノ二四二ニニ當ル

(ロ) 公轉及ひ四季……地球公轉ノ經路ハ、橢圓形ナル軌道ニシテ地球ノ之ヲ走ル速度ハ、毎時平均凡二万七千二百三十九里ナリ、故ニ軌道ノ長サハ、大約二億三千八百餘里ナリトス。地球ノ軌道ヲ運行スルヤ、地軸ハ、軌道ノ平面ニ對シテ、常ニ六十六度半(實ハ六十六度卅三分)ノ傾斜ヲナセリ、即チ軌道ノ平面ニ對スル垂直線ヨリ傾クヲ二十三度半(實ハ廿三度廿七分)ナリ、此傾斜ハ、四季及ヒ晝夜ノ長短ヲ生スル原因ナリ。

夏至……地軸ハ、常ニ其方向ヲ變セサルカ故ニ、一年中一回ハ北半球太陽ノ方ニ傾クヲ二十三度半ニシテ、太陽ハ赤道ノ北二十三度半ノ所ニ直射シ、其光線ハ南極地方ニ達セス、此時ハ北半球ノ夏ニシテ六月廿一日ナリ。

四季變化ノ圖



秋分……九月廿三日ニ至レハ、太陽赤道上ニ直射シ、兩半球ハ

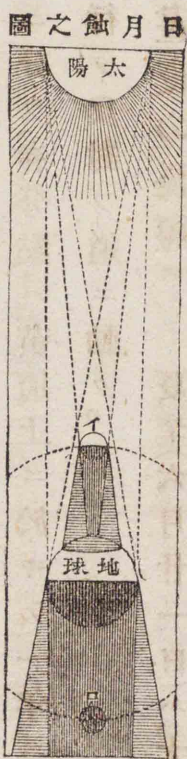
一様ニ太陽ニ面シテ、其光線ヲ受ク、此時ハ即チ秋分ナリ。
 冬至……地球漸ク進ミテ十二月廿一日ニ至レハ、南半球ハ太陽ノ方ニ傾ク、二十三日ニ至テ、太陽ハ赤道ノ南二十三日半ノ所ニ直射シ、光線ハ北極地方ニ及ハス、此時ハ即チ冬至ナリ。
 春分……地球更ニ進ミテ三月廿一日トナレハ、再ヒ兩半球平等ニ太陽ニ面スル、恰モ秋分ノ時ノ如シ、此時ハ即チ春分ナリ。
 晝夜平分……春秋二分日ハ、太陽眞東ヨリ出テ、眞西ニ入り、赤道上ニ直射シテ、兩半球平等ニ光線ヲ受クルカ故ニ、晝夜平分ナリ。
 黃道……恒星ニ對シテ太陽ノ動クカ如ク見ユル所ノ道ヲ連

接セハ、赤道ニ類シタル一ノ輪ヲナス、之ヲ黃道ト云フ。黃道ハ赤道ト二十三度半ノ交角ヲナシ、其交切點ヲ春秋二分點トス。黃道ハ、春分點ヲ零度トシテ三百六十度ニ分テ、度ヲ分秒ニ分ツ、春分點ハ、黃道上ニ於キテ、一年ニ五十秒計ツ、太陽運
 行ノ反對ノ道ニ動ク。
 晝夜の長短……夏至(六月廿一日)ハ、太陽ヲ仰ク、最モ高く、北半球ハ光線ヲ受クル、多ク、晝長クシテ暑シ。冬至(十二月廿一日)ハ、太陽ヲ仰ク、最モ低ク、北半球ハ光線ヲ受クル、少シ、此時ハ晝短クシテ寒シ。
 斯ク南北兩半球ハ、日光ヲ受クル分量、全ク相反スルヲ以テ、其季候モ亦相反ス。
 四季ノ日數……四季ノ日數ハ、左ノ如シ。

春季 三月廿一日(春分) 九十二日二十時
 夏季 六月廿一日(夏至) 九十三日十二時
 秋季 九月廿三日(秋分) 八十九日十五時
 冬季 十二月廿一日(冬至) 八十九日一時

〔第七節〕蝕..... 蝕ヲ分チテ二トス、日蝕ト月蝕ト是ナリ。

(一) 日蝕..... 月ハ、稀ニ地球ト太陽トノ眞ノ中間ニ來ルコトアリ、然ルキハ太陽ノ全體若クハ其一部ハ、月ノ爲ニ蔽ハレテ見ル



ノ爲ニ蔽ハレテ見ル

ト能ハス、之ヲ日蝕ト云フ。

(二) 月蝕..... 前ニ反シテ、地球若シ月ト太陽トノ眞ノ中心ニアルキハ、地球ノ影月ヲ蔽フ、之ヲ月蝕ト云フ。其初缺或ハ復

圓ノ一ヲ見テ、他ノ一ヲ見サルモノヲ月帶蝕ト云フ、日帶蝕モ亦同シ。日蝕ハ新月ノキニ起リ、月蝕ハ満月ノキニ起ル。

〔第八節〕曆..... 曆ニ、太陽曆俗ニ新曆ト稱スルモノト、太陰

曆俗ニ舊曆ト稱スルモノトノ別アリ。太陰曆ハ、月ノ地球ヲ

一周スル時限ヲ以テ一月ト定ム、支那、朝鮮ハ此曆ヲ用フ、我國ニテハ明治五年十一月九日太陰曆ヲ廢シ、十二月三日ヲ以テ一月一日トシ、自後太陽曆ヲ用フルコトナレリ。

太陽曆ハ、地球カ太陽ノ周圍ヲ一周スル時限、即チ三百六十五日五時四十八分四十八秒ヲ以テ十二ヶ月トス、而シテ通常三百六十五日ヲ以テ一年トセリ、故ニ其剩餘ノ時間ハ四年ヲ經ハ積ミテ殆ト一日トナル、依リテ四年毎ニ閏年(二月廿)ヲ置ク。

歐羅巴洲ノ各國ハ、大概太陽曆ヲ用フト雖モ、露國ハ、シユリア

シ曆トテ、太陽曆ノ一種ヲ用ヒ、其日ハ通常ノ太陽曆ヨリ後ル、
、七十二日ナリ。

西曆紀元一年ハ、耶蘇誕生ノ年ヲ以テシ、土耳其、亞拉比亞等ノ
回教國ハ、教祖マホメットカ、めぢなニ遁レシ時ヲ以テ紀元トス。
耶蘇ノ誕生ハ、我國紀元六百六十年ニシテ、回教紀元ハ、耶蘇紀
元ニ後ル、コト六百二十二年、乃チ我紀元一千二百八十二年
ナリ。明治廿八年ハ、我紀元二千五百五十五年ニシテ、清國ハ光緒二十一年乙
未、朝鮮ハ開國五百四年、西曆ハ一千八百九十五年、回教諸國ハ紀元一千
二百七十
三年ナリ。

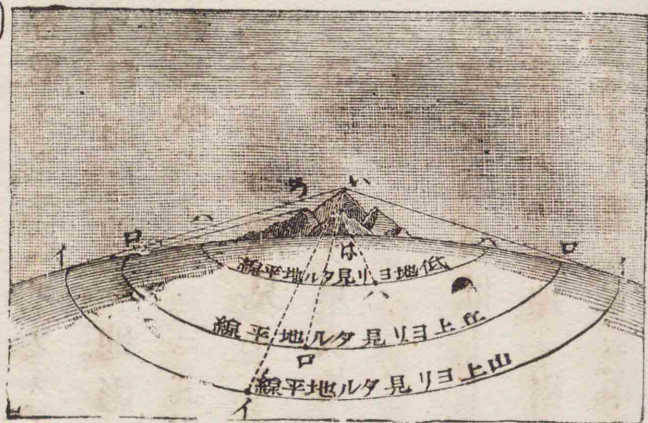
(附)我國ニテ、二百十日トテ世人ノ最モ暴風ヲ怖ル、ハ、舊曆立春ノ日ヨリ算
シテ二百十日目ナリ。

〔第九節〕地ノ球形なる證據

(一)地平線……………今廣野若クハ海濱ニ立チテ四方ヲ眺ムレハ、

天ト地面ト相接スルカ如クナルヲ見
ル、此天地相接スルカ如ク見ユル所ヲ
連ネハ圓キ輪ヲナスヘシ、之ヲ地平線
又眼界ト云フ。地平線内ノ地面ハ、即
チ地平面ナリ。

地平線又眼界ハ、見ル者ノ位置高ケレ
ハ遠ク、低ケレハ近シ、是レ地ノ球形ナ
ル一證ナリ、富士山ニ登ンハ、凡ソ五十
六里四方ヲ望ムト得ヘシ。



(二)地ノ球形なる他の證如何……………地ノ球形ナル證ハ、地平
線ニテ既ニ明ナレトモ、尙左ニ其重ナルモノヲ示ス。

(イ)船舶の隱見……………入港スル船舶ノ、小ナル橋頭先ツ現ハレ

テ、大ナル船体ノ後ニ見ユルハ、水面ノ彎形ヲナスニ依ル。
(ロ) 海客の一周……今ヨリ四百年前、葡萄牙ノマゼラン始
メテ地球ヲ一周セシヨリ以來、今日ニ至リテハ之ヲ一周セシ
者數フルニ違アラス。

(ハ) 月面に映る地影の圓き……月蝕ノ時、地ノ影ノ月
面ニ映ルヲ見ルニ其影圓形ナリ。

(ニ) 星辰の隱見……南方ニ進ム時ハ、南方ノ星、新ニ地平線上
ニ出テ、北方ノ星、次第ニ地平線下ニ隱ル、北方ニ進ムモ亦復此
ノ如シ。

(ホ) 標木の高低……大湖或ハ大河ニ、適宜ノ距離ヲ以テ、三個
ノ標木ヲ一直線ニ樹テ、水面上ノ高サヲ同フシ、望遠鏡ヲ以テ
一方ヨリ望ム時ハ、中央ノ標木稍高キヲ見ル、若シ各標木ノ距

離一哩ノ四分ノ一ナル時ハ半寸、半哩ナレハ二寸、一哩ナレハ
八寸、二哩ナレハ三十二寸、三哩ナレハ六尺ナリト云フ。

〔第十節〕地球の大き及ひ其測知法……地球赤道ノ直徑
ハ三千二百四十八里ニシテ、南北ノ直徑ハ三千二百三十七里
其差凡十一里ニシテ眞圓ニアラスト雖モ、是レ地球ノ大サニ
比スレハ實ニ微々タル差ナルノミ、故ニ姑ク眞圓体トシテ之
ヲ測ルモ非常ノ差ヲ生スルコトナシ。

周圍ヲ知ラント欲セハ、直徑ニ、三個七分ノ一ヲ乘スヘシ、即チ
赤道ノ周圍ハ一萬二百九里ニシテ、南北ノ周圍ハ一萬百七十
三里ナリ。

面積ヲ求ムルニハ、周圍ト直徑トヲ乘スヘシ。

3244(同量ノ球ノ直徑)×10195(同量ノ球ノ周圍)=33072580(同面積)

容積ヲ求ムルニハ面積ニ半徑ハ三分ノ一ヲ乗スヘシ。

$$33072580 \times \frac{162^2}{8} = 178,812,410,46$$

重量ヲ求ムル法ハ稍困難ナリ蓋土ハ平均水ヨリ五倍半重

キヲ以テ水ノ一尺立方ノ重ヲ千「チンス」チスシハ七匁五分六厘

ニ五千二百八十(一里ノ尺數)ノ三乘(一立方里ノ尺)ヲ乘シ一立方哩ノ重ヲ

得之ニ二千五百九十四億立方哩(面積ヲ假ニ一億九千万方哩トシ之ニ半徑ノ三分ノ一ヲ乘シタルモノ)

ヲ乘スレハ地球ト同積ナル水ノ重トナル依テ之ヲ五倍半ス

レハ前ニ示シタル如ク其重量凡六〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇噸トナル其式左ノ如シ。

$$1,000 \times (5280)^3 \times 259,400,000 \times \frac{5}{2} \quad (\text{此項英里ヲ以テ算ス我國ノ里數ニ改算スレハ端數ヲ生スル恐アルヲ以テナリ})$$

〔第十一節〕地軸及び兩極……凡ソ物廻轉スルハ必ス軸

即チ中心ナカル可ラス地球既ニ自轉スルハ又其中心ナカ

ル可ラス所謂地軸トハ地球ヲ南北ニ貫ク所ノ想像ノ線ニシ

テ地球ハ此軸ヲ中心トシテ廻轉スルナリ而シテ此軸ノ兩端

ハ即チ地球ノ南北兩極ナリ。

(一) 方位……地軸ハ正シク南北ヲ指スモノナレハ之ト直角

ニ交ル所ノ線ハ又應ニ東西ヲ指スヘシ然レトモ南北兩極ハ

何レノ所ニアルヤ容易ニ見ル可ラサルカ故ニ北極星ノ在ル

所ヲ以テ北トシ之ニ反スル所ヲ南トシ以テ方位ヲ定ムルヲ

常トス是レ北極星ハ恰モ地軸ノ北端ヲ延長シタル所ニアレ

ハナリ。(北極星ノ位置ハ實ハ真ノ極ヨリ少シク距レリ)

(二) 羅針盤及び磁氣……磁石ハ同名ノ極ハ相拒反シ異名ノ

極ハ相吸引スルノ性アリ。而シテ其南北ヲ指スハ正ニ是レ

地ノ一大磁石タルニ由ルナリ。斯ク磁石ハ南北ヲ指スニヨ

リ、羅針盤ヲ製シ、以テ專ラ方位ヲ知ルノ便ニ供セリ。然レトモ磁針ハ、常ニ正シク南北ヲ指スモノニ非ス、時ト處トニヨリテ、地球ノ北極ヨリ少シク東ニ偏シ、或ハ西ニ偏スルコトアリ、之ヲ磁針ノ偏向ト云フ、斯ク、磁針ニ偏向ノ變化アルハ、地磁カノ極、地球ノ極ニアラサルニ由ル、故ニ磁針ノ指ス所ハ、常ニ必シモ正シキ方位ニアラサルヲ知ルヘシ。

〔第十二節〕線度……地球表面上、各所ノ位置ヲ指定スル爲メ、ニ、縦横ノ線ヲ假定ス、之ヲ經緯線ト云フ。

(一) 緯線……地球ノ表面ヲ南北ニ等分シ、其中央ニ畫シタル大圈ヲ赤道、又等分線ト云フ。即チ春秋二分日ニ太陽ノ直射スル處ナリ。此赤道ニ併行シテ、東西ニ引キタル線ヲ緯線ト云フ。

(イ) 緯度……緯線ト緯線トノ間ヲ、緯度トス、緯度ハ赤道ヲ零度トシ、次第ニ南北ニ數ヘ、各九十度ニ至リテ止ム、故ニ地球ヲ南北ニ一周スルトキハ、緯度三百六十度ナリ、一度ヲ六十二分ヲテ其一ヲ分トシ、分ヲ六十分シテ秒トナス。緯度一度ノ長サハ、凡四十里餘ナリ。

(ロ) 二至線……赤道ヨリ南北各緯度二十三度半ノ處ニ、赤道ニ併行スル一線ヲ畫シ、北ニアルヲ夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ冬至線ト云フ。六月廿一日ニハ、太陽夏至線上ニアリテ、十二月廿一日ニハ冬至線上ニアリ。太陽北ニ上ルモ、夏至線ノ外ニ出テス、南ニ下ルモ冬至線ノ外ニ出テス、常ニ此二線内ニ往來スルヲ以テ、一ニ之ヲ回歸線ト云フ。

(ハ) 兩極圈……南北兩極ヨリ各二十三度半ノ處ニ、東西ニ畫

シタル圈ヲ極圈ト云フ。極圈内ハ、太陽ヲ見サルコトアリテ、氣候沍寒ナリ。

(二) 緯度の高低……緯度ハ、極地方ニ近クニ從ヒテ七十度、八十度等ト數名増加ス、依リテ兩極地方ヲ高緯度ノ地ト稱シ、赤道ニ近クニ從ヒテ緯度ノ數名漸ク低減ス、依リテ赤道地方ヲ低緯度ノ地ト稱ス。

(二) 經線……兩極ヲ通シテ、地球表面ニ南北ニ畫シタル線ヲ經線ト云フ。各經線ノ間ヲ、經度トシ、總テ三百六十度アリ、度ヲ分チテ分トシ、分ヲ分チテ秒トスルハ、緯度ニ同シ。經度一度ノ距離ハ、赤道上ニ於キテ最モ長ク、凡四十里餘ニテ緯度ニ比スレハ少シク長シ、經度一度ノ長サハ、赤道ヲ距ルニ從ヒテ漸ク狹ク、終ニ極ニ至リテハ零トナル。

(イ) 一時間に於ける、地球自轉の度数……地球ハ、廿四時間ニ經度三百六十度ヲ轉シ、一時間ニハ十五度ヲ轉ス、若シ東西兩地ノ距離三十度ナルハ、時刻ニ二時間ノ差アリ。

(ロ) 子午線……經線ハ、又子午線ト云フ、是レ兩極即チ子午ノ方位ヲ貫キテ、引キタル線ナレハナリ。太陽子午線上ニ直射スルキハ、即チ其地ノ正午時ナリ。

(ハ) 子午基線……緯度ハ、赤道ヲ零度トシ、南北ニ數ヘテ南緯幾度、北緯幾度ト算スレモ、經度ハ其基點トスベキ一定ノ標準ナシ、故ニ各國、其京城、若クハ天文臺等ヲ通過スル經線ヲ以テ、經度ヲ算スル基線トセリ、古昔亞拉比亞人ハ、ばぐだつどヲ基點トシ、佛國ハ巴里ヲ基點トセルカ如キ皆是ナリ。我國ハ、英國ぐりにつち天文臺ヲ以テ基點トシ、其上ヲ通過スル經線ヲ

基線(本初子午線)即チ零度トシテ、經度ヲ算スルノ法ヲ採用セリ。
經度ヲ算スルニハ、基線ヨリ東西ニ數ヘテ、各百八十度ニ至テ止ム、百八十度ヲ距レハ、晝夜正ニ相反ス。

我國東京天文臺ハ、北緯三十五度三十九分十五秒ニシテ、東經百三十九度四十四分三十秒ニアリ。

(ニ)標準時……我國ニテハ、英國綠威(グリニッチ)東經百三十五度、即チ淡

路ノ東ヨリ播州明石ノ東ヲ通過スル子午線ノ正午時ヲ以テ、

全國一般ノ標準時トス。西曆一千八百八十四年米國華盛頓府ニ萬國子午線會議アリ。我國ニテハ明治十九年勅令第

五十一號ヲ以テ廿一年一月一日ヨリ本邦一般ノ標準時ヲ定メラレタリ。

(ホ)半球の區分……便宜ノタメ、地球ヲ東西、若クハ南北兩半

球ニ區分ス。南北兩半球ニ區分スルキハ、赤道ヲ以テ其分割點トシ。東西兩半球ニ區分スルキハ、英國綠威ヨリ西經十七

度四十分、佛京ぱりーヨリ同二十度半ノ處ニシテ、亞非利如ノ

西海中ニアルふえろー島ヲ通過スル線ヲ以テ分割點トシ、之

ヨリ東百八十度間ヲ東半球トシ、西百八十度間ヲ西半球トス。

北半球及ヒ東半球ハ、陸地多ク、盛大ナル邦國アリ。

(三)五氣候帶……兩回歸線間ハ、日光殆ト常ニ頭上ニ直射シ、

氣候最モ炎熱ナレモ、極圈内ハ、一年中殆ト半年日光ヲ見ス、氣

候極メテ凜冽タリ。而シテ、回歸線ト極圈トノ間ハ、寒熱ノ中

間ニ位シ、温和ナル氣候ヲ有セリ、依リテ五個ノ氣候帶ニ區別

ス。

(イ)熱帶……兩回歸線ノ間、則チ四十七度間ノ地ヲ熱帶ト稱

ス。熱帶地方ハ、草木繁茂シ、毒蛇、猛獸棲ミ、住民多クハ野蠻ナ

リ。

(ロ) 温帯……… 回歸線ト、極圈トノ間、則チ四十三度ノ間ヲ温帯ト云フ。 温帯ニハ南北二帶アリ、我國ハ北温帯ニ位ス、温帯ニハ開化セル邦國多シ。

(ハ) 寒帯……… 赤道ヨリ南北各六十六度半、即チ極圈ヨリ極ニ至ルマテハ寒帯ト云フ、寒帯ニモ亦南北二帶アリ。 極圈内ハ、一望皚々トシテ積雪中ニ埋レ、小數ノ土蠻人住セリ。

(附影の有無……… 地球上、太陽ノ位置ニヨリ、正午時ニ陰影ヲ生スル所ト、陰影ナキ地トアリ、赤道線上ニ於キテハ、三月廿一日ト九月廿三日ノ二回陰影ナク、北回歸線上ニテハ、六月廿一日、南回歸線上ニテハ、十二月廿一日共ニ陰影ナシ、之ニ反シテ温帯及ヒ寒帯地方ハ、永久ノ有影地タリ。

(四) 位置の定め方……… 地球ノ表面上各所ノ位置ヲ定ムルハ經緯度ニ藉ル^レ、既ニ說キシカ如シ、然レモ新ニ某地ノ經緯度ヲ知ラントセハ、如何ニスヘキヤ、左ニ通常ノ方法ヲ示ス。

(イ) 極星によりて緯度を知る……… 赤道ニテハ、北極星ヲ地平線即チ零度ニ望ミ、一度北ニ距レハ一度高ク望ミ、二十度ノ所ニテハ二十度ノ高サニ望ミ、三十度ニ至レハ三十度ノ高サニ望ミ終ニ極ニ至レハ九十度即チ頂天ニ望ムヘシ、依リテ極星ノ高度ヲ測リテ、其地ノ緯度ヲ求ム。

(ロ) 時間によりて經度を知る……… 綠威^{グリンウィッチ}トノ時刻ノ差ヲ知ラハ、即チ其地ノ經度ヲ知ル^レヲ得ヘシ、例之ハ綠威^{グリンウィッチ}ノ正午時ニ此地ノ午後六時ナラハ、此地ノ東經九十度ナルカ如シ。我國ノ標準時ハ、綠威ト正ニ九時間ノ差アリ。

(ハ) 經緯交錯して位置始めて定る……… 經度若クハ緯度ノミニテハ未タ其地ノ何レニアルヤヲ詳ニスル^レ能ハス、必ス經緯ノ兩度ヲ求メテ、始メテ其位置ヲ明ニスル^レヲ得ヘシ。

(附度及び設問……度ハ距離廣袤ヲ知ルニ極メテ必要ナルモノナレハ、左ニ其梗概ヲ示ス。

尺度……尺度ニ種々アリ、我國ニテハ通常寸、尺、間、町、里ヲ用フレトモ、海上ノ距離ヲ示スニハ、フット哩マイルハ我十四町四十五間ナリ。

佛國ニテハメートル三寸尺ヲ尺度ノ基本トシ、其千倍即チキロメートルヲ以テ通常距離ヲ測ルニ用フ。佛里ハ通常四千四百四十五メートル又新里ト稱スルハ四キロメ

地理里ハ我一里八八九一(三折)ニシテ、地球大圈十五分ノ一ナリ、海ナドノ深サヲ計ルニハ、フathom一尋ハ六フットニテ我六尺〇三分五厘ナリ。

面積……面積ヲ測ルニハ方寸、方尺、步、畝、段、町、方里ヲ用フ、本書ニハ時トシテ英ノ方里ヲ用フルコトアリ。

東經三十五度ノ正午ニ合セタル時計ヲ以テ仙臺ニ行カハ、此時計ハ該地ノ時計該地ノ正午ニ合セタルニ比シテ進メルヤ否其理由ヲ説ケ。

某地アリ、我國ノ標準時ヨリ後ル、一五時間ナリ、此地ノ經度ヲ問フ。

第三章 地文地理の概要

第一節地球の發達——始原代、太古代、中古代、近古代、第二節氣界——大氣の高度、大氣の性質運動、第三節水及び陸——水陸の配置、兩極地方、第四節水界——水の區分、水の形勢、水の性質及び運動、第五節陸界——陸地の區分、陸地の形勢、水理、水河、陸地の性質、第六節氣候——地軸の傾斜、緯度の高低、土地の高低、沿海の距離、山脈の陰陽風の方位、海流の影響、森林及び開拓、第七節天産——植物、動物、礦物、天産と人民の職業、第八節地理史略——トレミー時代、歐洲人の支那本邦を知りしこと、亞米利加發見及び世界一周、濠洲發見、本邦と外國との交通

第一節地球の發達……地球ノ成立ハ、星雲説ニ於キテ既

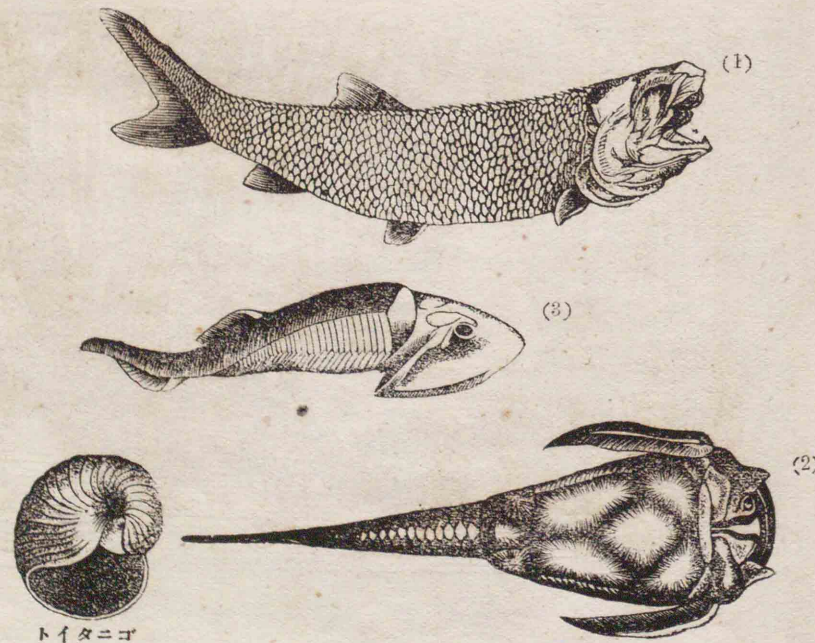
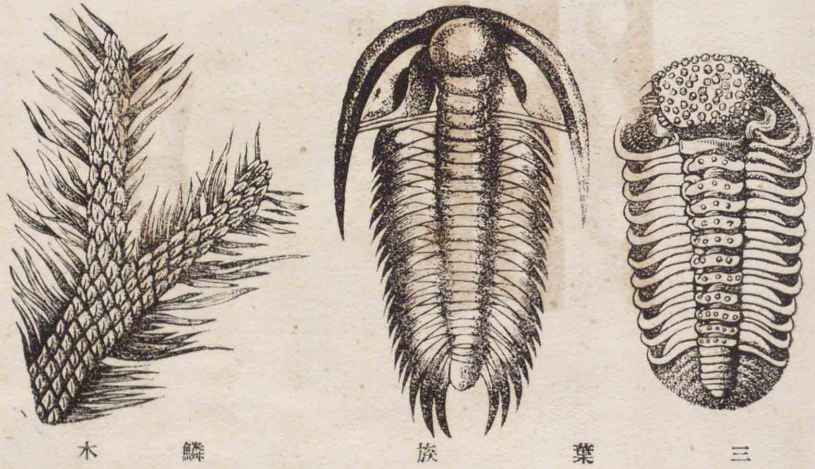
ニ述ヘシカ如ク、瓦斯体ヨリ冷却シテ液体トナリ、更ニ凝結シ

テ終ニ固体トナリ、其表面ニ水ト大氣トヲ生セシモノナリ、然

レモ固体ノ地殼成立以來、今日ノ現状ニ至ルニハ、復數回ノ大

變化ヲ經テ、漸ク發達セシモノナリ、之ヲ研究スル學ヲ地史ト

云フ。蓋地殼ノ變化ハ、今日ト雖モ常ニ行ハレ、桑滄ノ變ハ吾



魚 鱗 硬 尾 歪 (3)(2)(1)

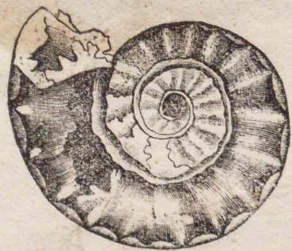
トイタニゴ

人ノ屢目撃スル所ナリ、而シテ斯ク變化セシムルモノハ、熱力
 水力、大氣等トス、今左ニ地史ノ大略ヲ示ス。
 (一) 第一代、始原代アーセアン又太古代……是レ地殼創成初代ニシテ、當
 時ニナリシ岩石ハ、今日地殼ノ深處ニアリ、花崗岩等是ナリ、此
 時代ニハ、只下等ノ海藻類アリシヤノ疑アルノミニテ、未ダ生
 物アリシ確徴ナシ。

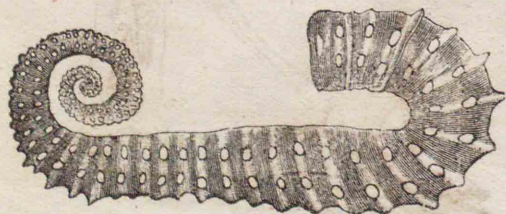
(二) 第二代、太古代プレソイック又古生代……始原代ノ岩石、風水ノタメニ
 削磨セラレ、其碎屑堆積シテナリシモノニテ、砂ノ結聚ヨリ成
 レル砂岩、粘土ヨリ成レル粘板岩、海生下等動物ノ遺屍ヨリ成
 レル石灰岩ハ、即チ此時代ニナリシモノナリ、此等ノ岩石中ニ
 ハ、鱈魚ニ似タル三葉族トリロバイト、鱒魚ニ似タル魚類、鸚鵡貝ニ似タル貝ゴコクイト、木
 賊ニ似タル大木カラマイト、及ヒ鱗木等レシデンドロンノ化石アリ、石炭ハ此等ノ植物ノ



古鳥 (Ancient Bird)

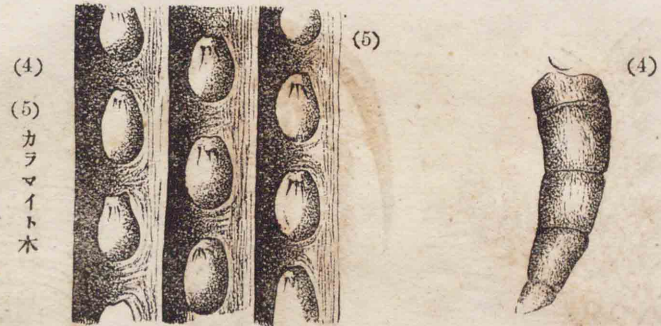


アモンベ (Ammonite)



アモンベ (Ammonite)

魚龍之骨骸 (Fossilized Bones of Ichthyosaurs)

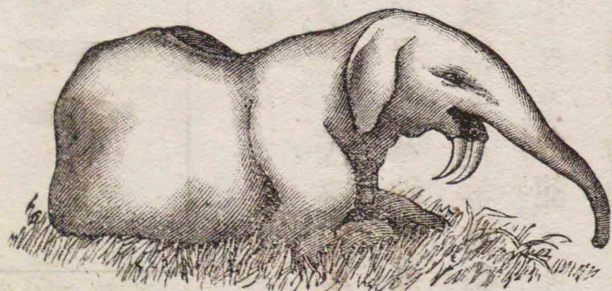


(4) (5) カラマイト木 (Fossil Wood)





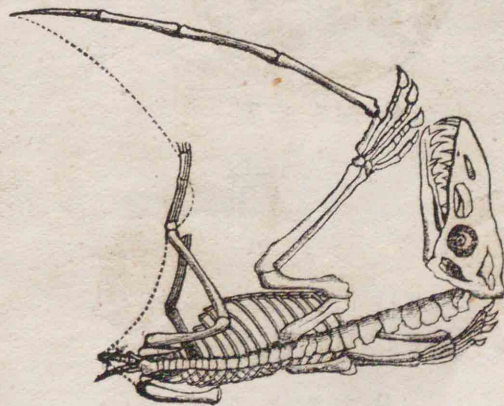
大龍及大守宮



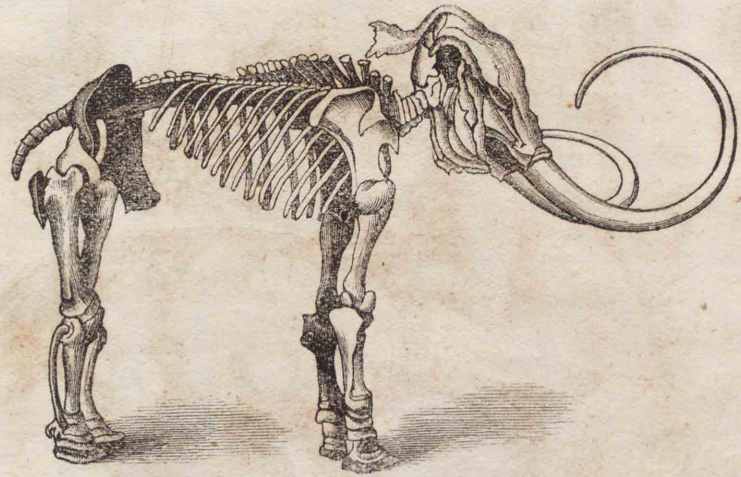
舊ノモリノアリ



蝙蝠爬蟲之圖



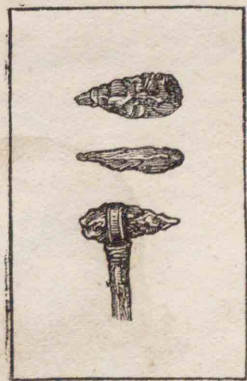
蝙蝠爬蟲之骨骸



骨之象巨

爬蟲古鳥アリ、陸ニハ袋獸、大守宮、大龍アリ、太古代ノ末ヨリ火

炭化シタルモノナリ。
(三) 第三代、中古代又中生代：
…此時代ノ岩石ハ、砂岩、粘板岩
等ニシテ、植物ニハ、羊齒類、最モ
繁殖シ、海中ニハ魚龍アリ、アン
モン貝アリ、飛行動物ニハ蝙蝠



器石之人原

山ノ活動猛烈ナリシカ、中古代ノ央ニ至リテ世界ハ稍靜穩ト
ナレリ、當時ハ氣候頗ル温暖ナリシト云フ。

(四) 第四代、近古代又近生代……近古代ニ至リテ、大ニ陸地ノ
面積ヲ増シ、地上ニ大山脈ヲ生シ、火山ノ活動モ尙盛ナリシカ、
氣候ハ大ニ温和トナリ、生物モ亦前代ニ異ナルモノヲ生セリ、
即チ「ヂノセリアム」「マストドン」等アリテ、人類モ此等ノ動物ト
共存シ、初メニハ石器ヲ使用シ、次ニハ銅器ヲ用ヒ居タリシカ、
今ハ鉄器ヲ使用セリ、今日ハ即チ此時代ノ末期ナリ。

〔第一節〕氣界……大氣ハ、至貴至要ナル瓦斯体ニシテ、其地球
ヲ包裹スルハ、恰モ卵白ノ卵黃ヲ包ムカ如シ、之ヲ氣圍氣ト
云フ、其形地球ニ比スレハ兩極ノ部一層偏平ナリ、是レ其質地
球ヨリモ疎ナレハナリ、常ニ吾人ノ周圍ヲ填充シテ微細ナル

間隙ニモアラサル所ナシ、其動クヤ風トナリ、水分ヲ含ムヤ雲トナリ、雨雪爰ニ降ル、雷電ノ發スル所モ大氣ナリ、生物ニ養分ヲ供給スルモ大氣ナリ、光線ヲ透遇シ、温熱ヲ傳達スルモ亦大氣ナリ、唯其色モナク、香モナキヲ以テ、之ヲ見ルヲ能ハサルノミ。

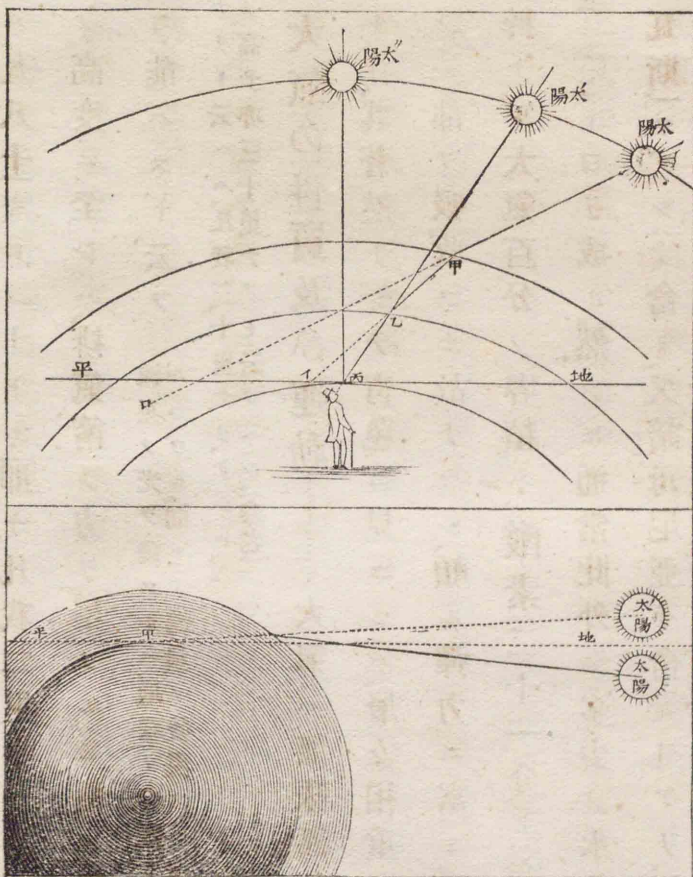
(一) 大氣の高度……大氣即チ氣圍氣ノ地球ヲ包裹スルヤ、下層ハ稠密ニシテ、上層ハ稀薄ナリ、故ニ上際ニ昇ルニ從ヒテ、層一層ニ其密度ヲ減シ、遂ニ動物ノ生活シ得ヘカラサルニ至、富士山ノ如キ高山ニ躋リテ呼吸困難ヲ感スルハ、人ノ能ク知ル所ナリ。サレバ、大氣ハ幾何ノ高度ニマテ達スルヤ。大氣ノ高サヲ實測スルヲ極メテ難シ、從來學者ノ推算スル所ニヨレハ、海面上凡廿四五里ナラント云ヘリ、然レモ其稠密ナル部

分ハ、凡八十キロメートル「即チ凡我二里半ヲ出テス、若シ十六里ノ高度ニ至レハ、排氣筒ノ力ヲ用フルモ更ニ稀薄ナラシムルヲ能ハスト云フ。流星ノ光ヲ發スルハ、地球ノ大氣ト摩擦シ熱ヲ生スルニヨル、而シテ流星ノ發現スル高サハ、平均七十五哩ナリト云ヘハ、凡我三十里ナリ、サレハ、空氣ノ高サ亦三十里ナリト云フヘシ(參考)

(二) 大氣の性質及ひ運動……大氣ハ、無味、無色、透明ノ瓦斯体ナリ、其蒼然トシテ青色ニ見ユルハ、層々相重リテ太陽ノ光線ノ一部ヲ吸收スル故ナラン、頗ル彈力ニ富ミ、又重サヲ有ス、純粹ナル大氣百分ノ容積ハ、酸素二十一分ト、窒素七十九分(O₂₁+N₇₉)トヨリ成ル、然レモ通常此外ニ多少ノ水分ト、幾分ノ炭酸瓦斯「ヲツシ」ヲ含ミ、又譜母尼亞「ヲ含ム」アリ、都會及ヒ熱帯ノ地ニ於キテハ、大氣殊ニ不潔ナリトス。(重量ヨリ云ヘハ、酸素二十

三窒素七十七ナリ大氣全體ノ重量ハ五百京「キログラム」ナリ。

太陽ノ光線屈折スル圖



屈折スルノ
 ナケレハ、斜
 射スルルハ、
 光線屈折ノ
 理法ニ從ヒ
 テ、多少其進
 路ヲ變セサ
 ルヲ得ス、是
 レ大氣ノ下
 部密ニシテ

上部稀疎ナレハナリ、即チ四十五度ノ高サヨリ來ルルハ、一分ノ角度ヲ以テ屈折シ、地平線ニ向ヒテ來ルモノハ、三十四分三十秒ノ角度ヲ以テ屈折ス、是故ニ太陽既ニ地平線下ニ没スルモ、尙之ヲ地平線上ニ望ミ、又未タ地平線上ニ出テサルモ、早之ヲ地平線上ニ望ムヘシ、斯ク眞ノ出沒ト實際見ル所トハ、赤道地方ニテハ二分時餘緯度五十度ノ地方ニテハ四分時餘ノ差アリ。

是ノ如ク、光線ノ屈折ハ、僅ニ晝間ノ長サヲ増セトモ、太陽出沒ノ前後ニ於キテ大氣ハ其光ヲ反射シテ黎明ト黄昏トヲ生シ、大ニ晝間ノ長サヲ増加ス。夫ノ日出日没共ニ紅色ヲ現出シ、殊ニ大都會ニ於テ最モ然ルハ實ニ大氣ノ不潔ニ基クト云フ。大氣中、水分其他不純物ヲ夾雜スルノ多キハ、暗曇ヲ生シ、大

氣純潔ナルキハ明朗ナリ。
 (ロ) 大氣の壓力……大氣モ一ノ物体ニテ、重量ヲ有シ地球ヲ包裹スルモノナレハ、下層ニアルモノハ、上層ニアルモノヨリ壓下セラレ、爲ニ地面ニ接スル所ハ濃密ナレモ、上際ニ至ルニ從ヒテハ漸ク稀薄ナリ。

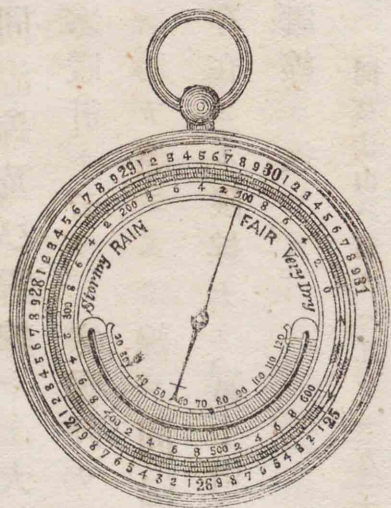
大氣ノ重力、即チ下方ヲ壓スル力ヲ大氣ノ壓力ト云フ、或ハ單ニ氣壓ト稱ス、其海面ヲ壓スルハ、通常七百六十托(ミリエトル)ト云フ、(一托ハ一「メ」ノ千分ノ一ニテ我三厘三毛ナリ)ノ水銀柱ト其力ヲ等フス。

大氣壓力ノ高低ハ、温度及ヒ水蒸氣ノ多少ニヨリテ變ス。大氣ノ温氣加ハ、レハ空氣稀薄トナリテ壓力ヲ減シ、寒冷ニシテ乾燥スレハ之ニ反シテ壓力ヲ増シ、又水蒸氣ヲ含ムト多ケレハ重ヲ減シテ、壓力低下ス、故ニ大氣ノ壓力ヲ測リテ天氣ヲ

知スルヲ得ヘシ。

同壓線……氣壓ヲ計ル器ヲ氣壓儀ト云フ、其製通常二種アリ

一ハ水銀製ニテ一ハ空盒製ナリ
 此器ニヨリテ各地ノ氣壓ヲ檢シ、其同壓力ナル所ヲ連續シタル線ヲ同壓線ト云フ。



氣壓儀ノ水銀ハ、通常海面ニ於キテ最モ高ク、高處ニ登ルニ從ヒテ次第ニ低シ、富士山ニテハ凡四百九十托ナリ、依リテ其昇降ヲ見テ、土地ノ高低ヲ知ルヲ得ヘシ。

(ハ) 大氣の寒温……地球上大氣ノ寒温ハ、主トシテ太陽ノ位置如何ニ關ス、太陽直射シテ日光ヲ受クルト長キ處ハ炎熱ナ

レモ、之ニ反スル所ハ寒冷ナリ、又土地高ケレハ寒ク、低クケレハ温ナリ、大氣ノ温度ハ、直接ニ太陽ヨリ暖メラル、ヨリモ、地面ニ受ケタル熱ノ放射ニヨル、多シ、通常三百尺ヲ登ル毎ニ華氏寒暖計一度ヲ減スト云フ。

同温線及ひ雪線……大氣其他、凡テ物ノ温度ヲ驗スル器ヲ寒暖計ト云フ。寒暖計ヲ用ヒテ各所ノ温度ヲ測リ、其同温度ノ地ヲ連子タル線ヲ同温線ト云フ。雪線トハ、終年積雪ノ存在スル限線ナリ、富士山ハ高サ凡ソ一萬三千尺ナレモ、未ダ雪線ニ達セス。

(間富士山ハ高サハ凡ソ一萬三千尺ナリ、今海面ニテ氣温八十度ナラハ、山頂ノ温度如何(他ノ影響ナキ))

(二) 大氣の乾濕……純粹ノ大氣ハ、前ニ述ヘタルカ如ク酸窒

ニ元素ヨリ成レモ、通常多少ノ水蒸氣ヲ含有セリ、而シテ水蒸氣ノ多少ハ、大氣ノ温度ニ關シテ一定ナラス、温度高ケレハ水蒸氣ノ量モ亦多シ、若シ大氣ノ含有スヘキ水蒸氣ノ分量、其極度ニ達スルモ、之ヲ飽和ト云フ。

雲霧……水蒸氣ヲ飽和スル大氣冷却スレハ、其水蒸氣ノ一部凝結シテ細微ナル水粒トナル、之ヲ雲ト云フ。霧ハ、通常雲ノ低キモノナリ、雲霧ハ地面ト太陽トノ間ニアリテ、晝ハ太陽ノ熱ヲ遮リ、夜ハ地熱ノ空中ニ放散スルヲ防遏ス。

雨雪……水蒸氣ノ凝結盛ニシテ、其量多キモ、水粒互ニ相密着シテ涓滴トナリ、地上ニ墜下ス、之ヲ雨ト云フ。若シ空際ノ温度零度以下ナルモ、凍結シテ雪トナル。雨ハ、空氣ヲ洗滌シ、地表岩石ノ一部ヲ溶解シ、動植物ニ養分ヲ供シ、又川河ノ源

ヲナス。

降雨の量……赤道地方ハ、氣候炎熱ナレハ、空中ノ水蒸氣モ

亦從ヒテ多ク、大氣

ト共ニ高ク空際ニ

昇リ、冷氣ニ遇フテ

雨トナル、高緯度ノ

地ニ至レハ、氣候寒

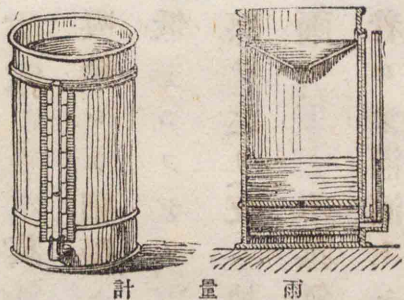
冷ニシテ水蒸氣ノ

量少ク、雨量モ亦自ラ減スレトモ、曇

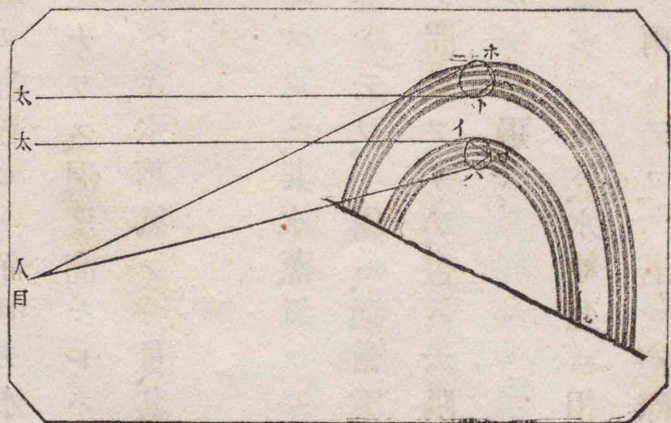
天ハ却テ多シ、又大陸ノ内地ハ、雨少

ナクシテ沙漠ノ地ヲナス所アリ、降

雨ノ量ヲ驗スル器ヲ雨量計ト云



雨量計



虹霓之圖

フ。

(附)虹霓及ヒ暈……虹霓ハ、雨ノ前後、地平線上太陽ト反對ノ方位ニ現ハル、紫、藍、青、綠、黃、橙、紅ノ七色相重疊シテ穹窿狀ヲナセル一現象ナリ、是レ

日光雨滴ニ入り反射分解スルヨリ起ル、

通常朝夕ニ現ハレ、殊ニ夏ニ多シ。太陽若

クハ月ノ周圍ニ現ハル、色光ヲ暈ト云

フ。是レ日或ハ月ノ光線、空際ノ雪雲ヲ通

過スルトキ、分解屈折シテ生スルモノナ

リ。

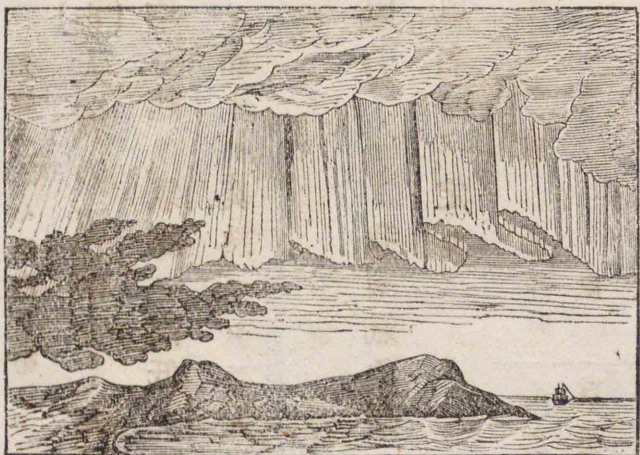
極光……極光ハ、南北極地方ノ空中

ニ現ハル、一種ノ光輝ニシテ、電氣現

象ノ一ナリ、其高サニ種々アレトモ、穹

窿狀ヲナシテ現ハル、モノハ實ニ美

觀ナリ、其色ハ概ネ白色ナレトモ、弧及ヒ



極光之圖

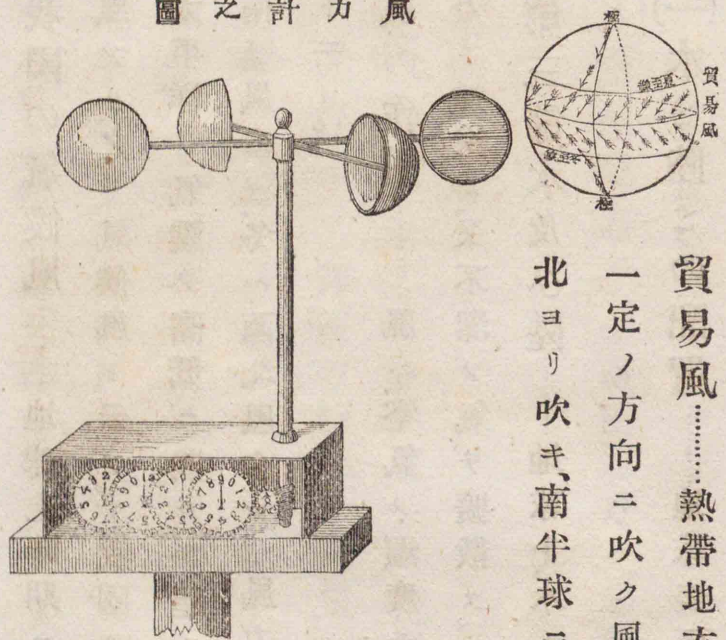
光線ハ、往々他色ヲ帶フ。

(ホ) 大氣の運動……大氣ノ運動ヲ風ト云フ、風ハ氣壓ノ不平均ニ起リ、氣壓ノ高低ハ主トシテ温度ノ變化ニヨル、熱帶地方ノ如キハ炎熱ニシテ大氣上騰シ、近傍ノ大氣來リ注クヲ見ル。

風力……我國氣象臺ニテハ、風力ノ強弱ニヨリテ、左ノ如ク風名ヲ一定セリ。

風名	一秒時間ノ速度(メートル)	勢 力
無風	自 零	烟直上ス
軟風	自 一、五	風ヲ感覺ス
和風	自 三、五	樹葉ヲ動ス風
疾風	自 六、〇	小枝ヲ動ス風
強風	自 一〇、〇	勁枝ヲ動ス風

風 力 計 之 圖



暴 風

風 風

自一五、〇

至二九、〇

樹幹ヲ動ス風
猛裂ノ風

貿易風……熱帶地方ノ海ニ於キテハ、年中殆ト

一定ノ方向ニ吹ク風アリ、北半球ニ於キテハ、東

北ヨリ吹キ、南半球ニ於キテハ東南ヨリ吹ケリ、

之ヲ貿易風ト云フ。南北

兩半球ノ貿易風、赤道近傍

ニテ相會スルヤ、熱ヲ受ケ

輕浮上騰ス、爲メニ此地方

ハ常ニ風ナシ、依リテ此地

方ヲ名ケテ赤道無風帶

我國の氣候風……地球上、時期ニヨリテ、一定ノ方向ニ吹ク風アリ、之ヲ氣候風ト云フ。我國ノ氣候風ハ、中央亞細亞及ヒ太平洋ノ氣壓ノ高低ニ關シテ起ルモノナレハ、夏ハ東若クハ南ノ風多ク、冬ハ西北風多シ。風力ノ強弱ヲ測ル器ヲ風力計ト云フ。

風ノ作用……風ハ、空氣ノ溫度ヲ平均ナラシメ、水蒸氣ヲ諸方ニ運送シ、又不潔ノ氣ヲ擴散ス。

〔第三節〕水及ヒ陸……地球上、水ト陸トノ位置分配ハ、左ノ如シ。

(一) 水と陸との配置……地球表面ノ水ト陸トハ、各處ニ散在スレモ、之ヲ概スルニ水ハ南半球ニ多クシテ、陸ハ北半球ニ多シ、殊ニ北温帶ニ屬スル陸地ヲ最モ多シトス。

水陸の面積……洋海ノ面積ハ、凡二千四百二十二萬方里ニシテ、陸地ノ面積ハ、凡八百七十八萬方里ナリ、故ニ其比ハ二、八ト一トノ如シ。

(二) 兩極地方……南極地方ハ、北極地方ニ比スレハ、水少ク陸多シ。

〔第四節〕水界

(一) 水の區分……水ヲ區分シテ、洋海ノ水ト、陸地内ノ水トス。
(イ) 大洋……洋海ハ、陸地ノ配置ニヨリテ分割セラルモノナリ、通常洋海ヲ分ケテ五トシ、之ヲ大洋ト云フ。大洋ハ、世界ノ通路ニシテ、海上交通ハ、各國開化ノ一大原因ナリ。

太平洋……ハ、面積凡一千〇二十六萬方里ニシテ、最大ノ大洋ナレハ、殆ト總大洋面積ノ一半ヲ占ム。

大西洋……ハ面積凡四百九十九万方里ニシテ、第二ノ大洋ナレハ、殆ト總大洋面積ノ四分ノ一ヲ占ム。

印度洋……ハ面積凡四百七十八万方里ニシテ、亞細亞洲印度ノ南ニアリ。

南水洋……ハ面積凡百三十四万方里アリ。

北水洋……ハ面積凡八十八万方里アリ。

南北兩水洋ハ、共ニ極圈内ニアリ。而シテ全洋海ノ面積中、南半球ニアルモノ殆ト三分ノ二ナリ。

(ロ) 水理即ち陸地の水……水理即チ陸地ノ水ハ、湖沼、河川等ニテ、其成分等大ニ前者ニ異ナルモノアリ、今ハ茲ニ其詳細ノ記事ヲ省キテ陸界ノ條ニ讓ル。

(ハ) 洋海の水と陸地の水との差別……洋海ノ水ハ、大ニ河

川ノ水ト異ナリ、今左ニ其大要ヲ記セン。

洋海ノ水

内陸ノ水

總テ鹽分ヲ含ム、

淡水ナレトモ、稀ニ鹽湖アリ

透明ナリ、

海水ニ比スレハ透明ノ度薄シ、

表面ノ運動アリ、

流動ス、

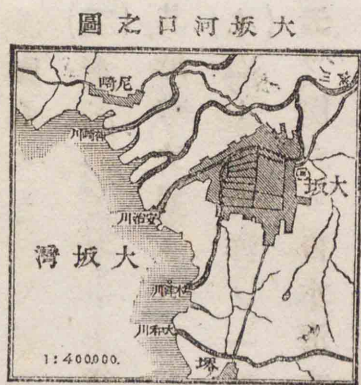
廣大ナリ、

廣大ナラス、

(二) 水の形勢……洋海ハ、陸地及ヒ海底ノ如何ニヨリテ、大ニ其形勢ヲ異ニス。

(イ) 海……大洋ノ一部ニシテ、多少陸地ニ圍マル、モノヲ海ト云フ、例之ハ日本海、支那海等ノ如シ。海水ノ陸地ニ灣入スル所ヲ灣ト云フ、ベンデール灣、東京灣等ノ如シ、其港ト稱スルハ、船舶ノ碇繫ニ便ナル所ヲ云フ。港灣ノ多キハ、邦國富強ノ一源因ナリ。

海峡……兩陸ノ間ニアル狹キ海水ヲ海峡ト云フ、津輕海峡ノ如シ、又之ヲ水道ト呼フコトアリ、もざんびつく水道ノ如シ、或ハ海盆ト云フコトアリ、英吉利海盆ノ如シ。



(口)水の深淺……洋海ノ底モ、又陸地ニ高低アルカ如ク、高低凹凸アレ、其深サハ平均凡ソ一萬三千八百六十尺ナリ、而シテ、陸地ノ水面上平均高サハ凡ソ二千四百四十二尺ナリト云フ。

海盤及ヒ島嶼……海盤ハ、海岸ヨリ漸次其深サヲ増ス所アリ、或ハ急ニ深キ所アリ、海岸ノ地平坦ナル所ハ其海淺ク、海岸斷崖ヲナス所ハ急ニ深キヲ以テ常トス。海盤ノ山頂水面上ニ出ルモノハ即チ島嶼ナリ、其僅ニ水面下ニアルモノハ暗礁

ヲナス。而シテ、河口ニハ河水ノ運搬セル泥砂等ヲ堆積シテ、洲ヲナス所アリ。

大河ノ河口ニハ多ク泥砂ヲ堆積シテ三角洲ヲナシ、又其沿岸ニハ多ク沖積地層ヲナス、三角洲及ヒ沖積地層ハ、地層中最モ新キモノニテ、其地味最モ肥沃ナリ。殊ニ河口ハ都會多シ。洋海中最深ノ處ハ、こすかろら海床ノ一部ニテ、我千島及ヒ北海道ノ東南ニ位シ、凡四千六百五十五尋(我二里五町)アリ(第二編海盤圖參照)

(三)水の性質及ヒ運動……海水ハ、鹹苦味アリ、是レ其鹽分及ヒ他ノ鹽類ヲ含有スルニヨル、其成分ハ通常左ノ如シ。

- 水……………九六四七〇 硫酸マグネシウム……………一三三〇
- 食鹽……………二七〇〇 炭酸石灰……………一〇〇三

鹽化 マグネシウム……………	三六〇	臭化 マグネシウム……………	〇〇二
鹽化 ポッタシウム……………	〇七〇	沃素、硅酸……………	〇二五
石膏(硫酸石灰)……………	一四〇		

蒸發盛ナル海ハ、殊ニ鹹ク、河川ノ注ク所ハ稍淡シ、海水ハ是等ノ諸鹽類ヲ含有スルカ故ニ、其比重淡水ヨリ重ク、純水ヲ一トスレハ海水ハ平均一、〇二七五ナリ、故ニ其物ヲ浮フルカモ純水ヨリ強シ、海水ノ游泳シ易キハ此理ニヨル。而シテ氣温高ク、降雨少クシテ、蒸發盛ナル所ハ、鹽分濃ク、降雨多ク蒸發少キ所ハ、鹽分稀シ。我國瀨戸内海ハ、降雨少ク、沿岸ニハ鹽田多シ。海水の色……………海水深ケレハ藍色ヲ呈ス、是レ太陽ノ光線ノ一部ヲ吸收スルニヨル、淺キ海ニ於キテ水ノ綠色ヲナスハ、藍色ト黃色ナル海底ノ砂土ト其色ヲ混スレハナリ。

海水ニ、紅色、黑色等ヲ呈スルハ、顯微鏡的ノ有機物ヲ混スルニヨル、夜間ニ燐光ヲ發スルモ亦其作用ニ係ル。

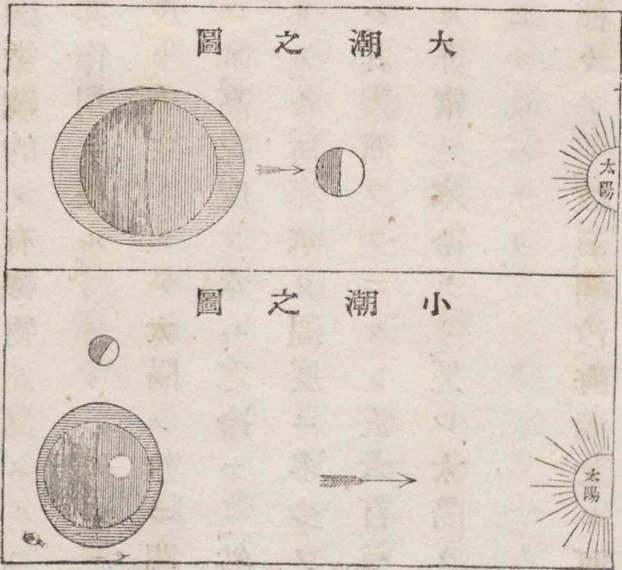
(イ) 海水の温度……………海水ノ温度モ、亦主トシテ太陽ノ熱ニ關ス、故ニ熱帶ノ水ハ概子温暖ナレ、高緯度ノ水ハ寒冷ナリ、然レモ海流ノ種類ト方向トニヨリテ、各所海水ノ温度ニ多少ノ差アルヲ免レス、但海水ノ温度ハ、其表面ノミニシテ五六百尋ノ深處ニ至レハ、熱帶地方ト雖モ非常ニ寒冷ナリ、是レ太陽ノ熱ハ、海面下凡ソ百尋以下ニ達セサレハナリ。

(ロ) 水の運動……………水ノ運動ニ種々アリ、波浪、潮汐、海流及ヒ河川ノ流動是ナリ。河川ノ流動ハ省ク

波浪……………波浪ハ、海水一所ニアリテ上下ニ振動シ、其振動ハ一方又ハ四方ニ傳播スルモノナリ。波浪ハ通常風ニヨリテ起

ルモノナレモ、亦氣壓ノ變動ト、地震トニヨリテ起ルコトアリ。波浪ハ、海水上層ノ振動ニテ、浪ノ高サハ割合ニ低ク、且深ク海底ニ及フコトナシ、喜望峰ノ如キ高浪ノ處ニテモ其高サ五六尺ヲ超ルハ極メテ稀ナリ。然レ共其岸ヲ打テ陸地ヲ破壊スル力ハ甚タ強ク、せりんぐはむノ海岸ハ一年平均三尺ツ、破壊セララル、ト云フ。

潮汐……潮汐ハ、日月ノ引力ニヨリテ起ル所ノ海水ノ運動ナリ。月ハ、太陽ニ比スレハ其体少ナレトモ、位置近キカ故ニ、地面ノ水ヲ引キテ潮汐ヲ生スル力ハ、却テ太陽ノ二倍三分ノ一ナリ、是レ潮汐ノ主トシテ月ノ運行ニ伴フ所以ナリ。而シテ新月或ハ満月ノ時ニ大潮ヲ生シ、上弦或ハ下弦ノ時ニ小潮ヲ生スル理ハ、日月地ノ三体一直線ヲナシテ引力盛ナルト、三体折線ヲナシテ力ヲ分ツトニヨル。各地、潮ノ高低ハ、海ノ形勢ニヨリテ異同アリ、我國ニテハ筑後川ノ河口ヲ以テ最モ高シトス(十八尺餘)。江線ハ、潮ノ高低ト地盤ノ昇降トヲ知ルニ最モ必要ナルモノナリ。



面ノ水ヲ引キテ潮汐ヲ生スル力ハ、却テ太陽ノ二倍三分ノ一ナリ、是レ潮汐ノ主トシテ月ノ運行ニ伴フ所以ナリ。而シテ新月或ハ満月ノ時ニ大潮ヲ生シ、上弦或ハ下弦ノ時ニ小潮ヲ生スル理ハ、日月地ノ三体一直線ヲナシテ引力盛ナルト、三体折線ヲナシテ力ヲ分ツトニヨル。各地、潮ノ高低ハ、海ノ形勢ニヨリテ異同アリ、我國ニテハ筑後川ノ河口ヲ以テ最モ高シトス(十八尺餘)。江線ハ、潮ノ高低ト地盤ノ昇降トヲ知ルニ最モ必要ナルモノナリ。

海流……海水表面ノ一部、常ニ一定ノ方向ニ流動スルモノヲ海流ト云フ。海流ニハ、寒流、暖流ノ別アリ、我國ノ南岸ヲ東北流スル黒潮ノ如キハ暖流ニシテ、東北ヨリ千島ニ沿フテ流レ來ル親潮ノ如キハ寒流ナリ。暖流ノ主ナルモノハ環流ヲナ

シ、其中心靜穩ナル所ニハ多ク海藻ヲ生ス。海流ハ、海水温度ノ差ト、貿易風等ニヨリテ起ル。(第二編海流圖參照)

〔第五節〕陸界……地球ノ過去、即チ其成立及ヒ發達ニ就キテ

ハ既ニ星雲説及ヒ本章ノ始メニ於キテ其一般ヲ述ヘタレハ、茲ニハ現在ノ地球表面ニ就キテ、陸地ノ概要ヲ記セン。

陸地ハ、人類ノ棲息スル所ニシテ、國土山川草木ノアル所ナレ

ハ、地理ヲ學フ者ハ、最モ力ヲ陸地ノ研究ニ致サ、ルヘカラス。

(一) 陸地ノ區分……陸地トハ、水面上ニアル土地ヲ云フ。之

ヲ大別シテ、大陸及ヒ島嶼ノ二類トス。

(イ) 大陸……陸地ノ大ナルモノヲ大陸ト云フ、東半球ニハ陸

地頗ル多シ、之ヲ分チテ亞細亞、亞非利加、歐羅巴、及ヒ阿西亞尼

亞ノ四大洲トス。此中亞細亞、亞非利加、歐羅巴ヲ舊大陸或

ハ舊世界ト云フ。各大洲ノ面積ハ茲ニ省ク

西半球ニハ南北亞米利加洲アリ、之ヲ新大陸或ハ新世界ト

云フ。若シ地球ヲ東北ト西南トノ二半球ニ分チテ、陸地ノ廣

狹ヲ比較セハ、西南ハ僅ニ總面積ノ二十分ノ一ニ過キス、而シ

テ南北西半球ヲ比スレハ、正ニ二、九ト一トノ如シ。

(ロ) 島嶼……四面水ニ圍レタル面積狹

小ナル陸ヲ、島嶼ト云フ、其類四アリ、(一)

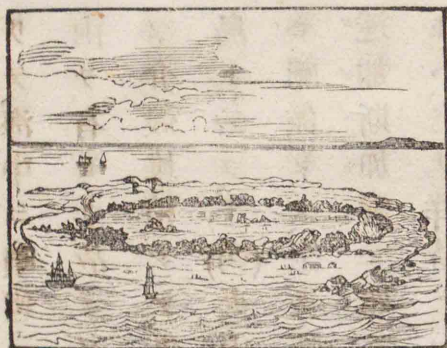
我國及ヒ英國等ノ如ク大陸ヨリ分離シ

タルモノヲ陸島ト云フ、近ク例ヲ取レハ

相州江ノ島ノ如キモ亦陸島ノ一ナリ。陸

島ハ、本陸ト同シ地質ヨリナレリ、(二)伊

豆七島ノ如ク、地殼内部火力ノ作用ニヨ



珊瑚環島之景

リテ、海中ニ噴起シタルモノヲ火山島ト云フ、火山島ハ概ネ高山ヲ有セリ、故ニ又高島ト云フ、(三)熱帶地方ノ洋中ニハ珊瑚ノ介殼堆積シテ、低キ島ヲナセルモノアリ、之ヲ珊瑚島又ハ低島ト云フ、(四)火山作用若クハ珊瑚ノ堆積ニヨラス、又大陸トモ關係セス、全ク特別ニ造成セラレタルモノヲ洋島ト云フ、馬達加斯加爾ノ如シ、而シテ此等ノ島嶼數多相集リテ群ヲナスルハ、之ヲ群島ト云ヒ、只一個孤立スルルハ、之ヲ孤島ト云フ。

(二)陸地の形勢

(イ)地形……陸地ノ形ハ、千様萬態固ヨリ一ナラスト雖モ、多クハ南ニ向ヒテ突出シ、隨ヒテ海岸線ノ出入モ南ニ多クシテ北ニ寡ナシ、我國ノ如キモ日本海ノ沿岸ハ平直ナレモ、太平洋ノ沿岸ハ出入繁シ。海岸線ノ長短ハ、大ニ其國土ノ發達ニ關ス。

海岸急ニシテ岬即チ絶壁ヲナスカ、或ハ低平ニシテ砂濱ヲナシ海底淺キ所ハ、舟ヲ泊スルニ宜カラス。其山ヲナシテ海中ニ突出スル尖端ヲ岬(崎、海角)ト稱ス。半島トハ、陸ノ海中ニ延出テタル部分ナリ。一大地ヲ連ル狹キ地ハ、之ヲ地峽ト云フ。

(ロ)海岸線の并行……各大陸ノ海岸ハ、多ク東北ト西北トニ走レル并行線ヨリ成レリ。故ニ大陸ハ北ニ開キテ南ニ尖レリ、即チ南北亞米利加東岸ノ南部、亞非利加ノ印度洋岸、印度ノ東岸ハ、何レモ東北ヨリ西南ニ并行シ。南北亞米利加東岸ノ北部、亞非利加及ヒ印度ノ西岸ハ西北ヨリ東南ニ并行シ。亞細亞ノ東岸モ白令海峡ヨリ後印度ノ南端ニ一線ヲ引ケハ、東北ヨリ西南ニ走ルベク。而シテ、濠斯太利亞モ、其南部陷沒セサル以前ニ就キテ考フレハ、亦此方式ヲ免レサルヲ知ルナリ。

(ハ)地勢……地勢トハ、地面ノ有様ナリ、地面ハ凹凸崎嶇ノ差アリト雖^モ、之ヲ三種ニ大別ス、平地、高地、及ヒ低地是ナリ。
 平地……平地ハ、一ニ平原ト云フ、即チ武藏野ノ原、美濃尾張ノ平原等ノ如キ是ニテ、其地味肥沃ナル所ハ、田圃關ケ、庭園連リ、都會建チ、村落接シ、雞犬ノ聲相聞エ、牛馬青草ノ上ニ戯レ、禽鳥茂林ノ中ニ巢フ、實ニ人類ノ活劇場タリ。平地ヲ分チテ二トス、一チ低原ト稱シ、著ク高キ平地ヲ高臺ト云フ、我國ニハ高臺ト名クヘキ平地少シ。

高地……地面ノ隆起スル所ヲ高地ト云フ、我國ノ如キハ、全面積ノ九分ノ八ハ皆高地ナリト云フ、高地ハ通常之ヲ山ト汎稱ス、山ニハ頂アリ、半腹アリ、麓アリ、山ノ小ナルモノヲ丘陵或ハ岡ト云フ、高地ハ川河ノ源ヲ發スル所ナリ。山岳多クシテ、交通不便ナル所ハ、人類ノ發達ニ害アリ。

山若シ群立スルトキハ之ヲ山彙ト稱シ、蜿蜒連亘スレハ之ヲ山系ト云ヒ、山系ノ一部ヲ山脈ト呼フ。山系山脈ハ、一州一國ノ骨髓ニテ、其大小、方向ニヨリテ、平地川河ノ廣狹方向ヲ生ス、山系山脈ノ相會スル所ハ、峻峰高嶺多シ。

山系山脈ハ、地球ノ熱ヲ失フテ收縮シ、其側壓ノ爲ニ生シタル皺波ニテ、恰モ團餌或ハ橙橘ノ冷却收縮スルニ從ヒテ、其外面ニ皺襞ヲ生スルニ似タリ。(本書各洲ノ記事ニハ從來世間ノ慣用ニ從ヒテ山脈トノミ記ス)

低地……地面ノ皺波ト皺波トノ間ニアル低地ヲ谷ト云フ、其山脈ト相併ヘル長谷ヲ縱谷ト云ヒ、山脈ヲ横キルモノヲ横谷ト云ヒ、四方山ヲ以テ圍ミタル谷ヲ圓谷或ハ白谷ト云フ。土地低クシテ海面以下ニアル所ヲ凹窪地ト稱ス、我國ニハ

凹窪地ト稱スヘキ處ナシ。

(三) 水理……陸地ノ水ヲ總稱シテ水理ト云フ。

(イ) 泉……雨ノ地上ニ降ルヤ、一部ハ蒸發シテ空中ニ飛散シ、一

部ハ川河トナリテ海ニ入り、一部ハ、地中ニ滲入シテ、地下水ト

ナル、地下水地中ヲ潜流シ、再ヒ地面ニ出ルモノ之ヲ泉ト云フ。

降雨長クシテ地下水ノ量増加スルキハ、其壓力ニヨリテ往々

山岳ヲ崩壞シ、山嶺ト洪水トナ起スヲアリ。

井及ヒ鑽井……人工ヲ以テ土地ヲ掘リ、地下水ノ處ニ達ス

レハ水湧出ス、之ヲ井ト云フ。其鑽井トハ、一層深ク穿テタル

モノニテ、東京深川ノ鑽井ハ、七百〇八尺ナリ。

亞非利加ノ砂漠中ニをーしす(泉地)ト稱スル湧水アリ、是又

地下水ノ湧出ニ外ナラス。

鑛泉……地下水ノ地中ヲ潜流スルヤ、皆多少ノ鑛物ヲ含有セ

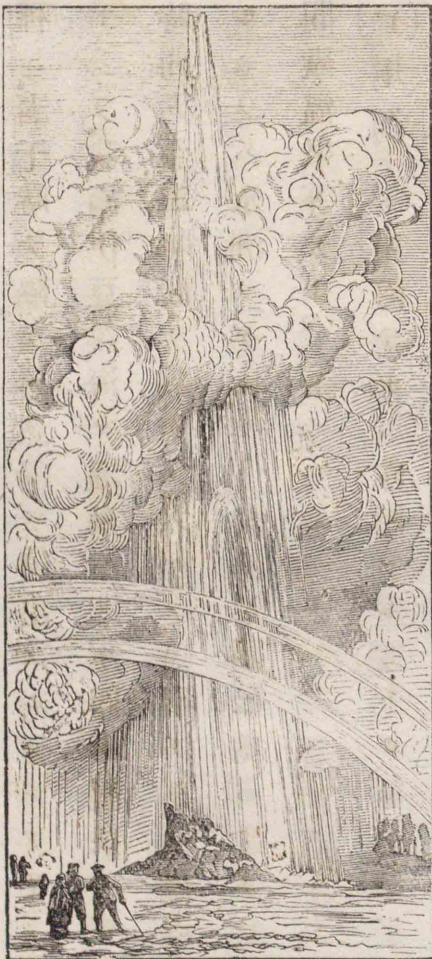
サルハナシ、鑛泉トハ、通常ノ泉ヨリモ多量ニ鑛物ヲ含有スル

モノヲ云フ、鑛泉ニ冷泉、温泉ノ別アリ。

温泉……ハ、多ク火山地方ニアリ、我國ハ、火山多キヲ以テ温泉

モ亦甚タ多シ、温泉トハ、其地方ノ中等氣温ヨリモ、高度ノ温ヲ

保テル泉ナリ。盖火山地方ノ下部ハ、甚タ炎熱ナルカ故ニ、水



米 國 山 野 伊 亞 頓 特 爾 薩

若シ此ヲ
竄流スレ
ハ、即チ其
熱ヲ受ル
ニヨル。
温泉ノ一

種ニ、若干時ヲ隔テ、熱湯ヲ噴出スルモノアリ、之ヲ間歇温泉ト云フ、我國伊豆熱海ノ温泉ハ即チ間歇温泉ニテ、一晝夜ニ二時間乃至三時間ヲ隔テ、六回ノ噴出アリ、間歇温泉ノ有名ナルモノハ、氷洲ノ「ゲーサー」及ヒ米國にゐる「すどんばーく」ノ間歇温泉等ナリ。

(ロ) 川河……川河チナス作因ノ主要ナルモノ三アリ、第一ハ雨、第二ハ山雪ノ融解、第三ハ泉ナリ、此外ニ湖水ノ流出ニ基クモノアリ、サレハ、河源ハ四個ノ別アリト謂フヘシ。

川河ハ必ス多少屈曲セサルモノナシ、是レ水ノ卑ニ就クヤ、地面ニ凸凹アリ、地質ニ硬軟アレハ、其凸ヲ避ケテ凹ニ就キ、硬ヲ避ケテ軟ニ趣クニ由ル、而シテ其河道ハ縦谷ニアルモノアリ(北上川ノ如シ)、横谷ニアルモノアリ(阿賀川ノ如シ)、左右轉回シテ平原ヲ流ルモノアリ(利根川ノ如シ)。河道ノ屈曲ハ水流ノ速度ヲ減シ、灌溉ノ面積ヲ大ナラシム、都會ノ地ハ多ク河岸ニアリ。

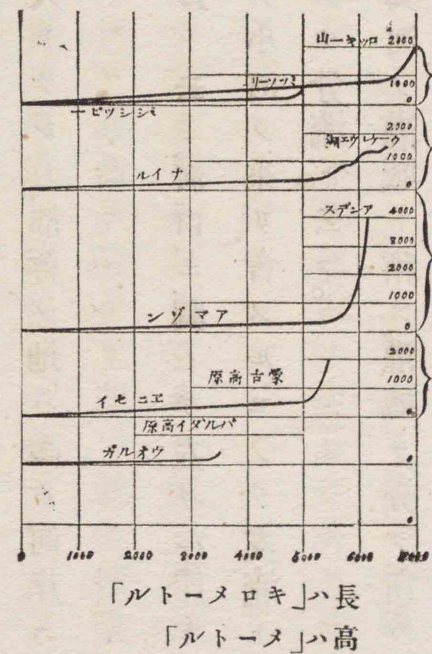
川河ノ湖海ニ注ク所ヲ河口ト云ヒ、河口ニ對シテ左ヲ左岸ト云ヒ、右ヲ右岸ト云フ。他ノ小河ノ來リ會スルモノヲ支流ト稱シ、本流ヨリ分岐スルモノヲ分流ト云フ。

一 河流ノ灌溉スル地方ヲ其河ノ灌域ト稱ス、灌域ヲ分ツ所ノ高地ヲ分水界ト稱ス、分水界ハ恰モ屋背ノ頂上ノ如シ。

河流進路の區分……河流ノ進路、即チ河道ヲ分チテ三トス、(一)ニ上流ハ、河源ニ近キ部分ニテ、多クハ山間ヲ流レ、激湍急流ヲナシ、舟楫ヲ通セサル部分ナリ、(二)ニ中流ハ、河流ノ山間ヲ出テ、漸ク平原ニ下ラントスル部分ニテ、稍舟楫ヲ通スヘキ所ナ

リ、(三)ニ下流ハ、平坦ナル原野ヲ緩流シ、舟楫ノ便アル所ナリ、我國ハ地形狹長ニシテ、勾配急ナルカ故ニ、利根川、北上川、石狩川等ノ如キ長流ヲ除クノ外ハ、概子下流ト稱スヘキ部分ナク、其流モ從ヒテ急ナリ。

河流の速度……河水ノ流下スル速度ハ、主トシテ其河床ノ傾斜ニヨル、然レモ河道ノ曲直、河幅ノ廣狹、水量ノ多寡等モ亦頗ル其影響ヲ及スモノトス、通常ノ河ハ、一時間ニ我十四町餘ヲ流レ、激流ニ至リテハ凡七里餘ニ及フモノアリ、而シテ岸及ヒ底ニ接スル部分ハ、中央ヨリモ



其流稍緩ナリ。

河床ノ傾斜ハ、各大陸ノ河ニ於キテハ、平均一里ニ付五尺ニ足ラサルヘシ、舟楫ノ往來ニ便ナルハ、一里ニ付凡二尺五寸許以下ノ傾斜ヲ以テ度トス。河床漸ク高ク、洪水溢流スルトキハ、兩岸ニ堤ヲ築キテ之ヲ防ク、斯クシテ河床愈、高ク、隨ヒテ堤ヲ築ケハ、河床ハ遂ニ近傍ノ地面ヨリモ著ク高キニ至ルヘシ、史上ニ有名ナル湊川ノ如キ是ナリ。

水源の保護……川河ノ源タル山林ハ濫ニ伐ルヘカラス、蓋山林ハ地面ヲ蔽ヒテ蔭ヲナシ、其地ヲ冷涼ナラシメ、濕風ヲ凝縮シテ雨トナシ、又其雨水ノ急ニ蒸散スルヲ防キ、兼テ暴雨ノ際一時ニ流下シテ、洪水ヲナスノ害ヲ豫防ス。故ニ山林ヲ濫伐スルハ、河水涸レ、雨降レハ急ニ漲リ、雨退メハ忽チ涸ル、加

フルニ土砂ヲ運搬シテ河床ヲ埋メ、甚シキニ至リテハ降雨ノ量ヲ減シ、沃野ヲシテ荒土ニ變セシムルニ至ル。

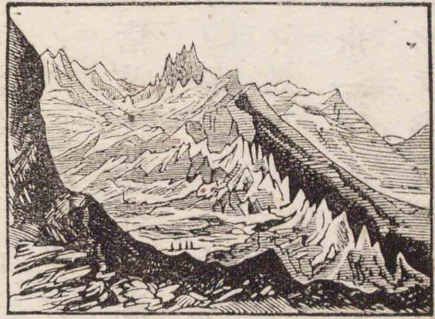
(ハ)湖沼……湖トハ、地上ノ凹處ニ滯溜スル水ヲ云フ。沼澤トハ、其小ニシテ淺キモノナリ。湖ノ山間ニアルモノハ深クシテ平野ノ間ニアルモノハ淺キヲ常トス。

湖水の性質……我國ノ湖沼ハ、其水何レモ淡ナレモ、裏海、あらゆる海ノ如キハ其水鹹ナリ、之ヲ鹹湖ト云フ。鹹湖ハ、河水ヲ受納スルノミニテ放出セス、只太陽ノ熱ニヨリテ水分ヲ蒸發スルカ故ニ、水中ニ溶在セル諸鹽類益々濃厚トナリ、以テ鹹味ヲ呈スルニ至ル、有名ナル死海ノ如キハ、鹽氣甚シクシテ魚類ヲ生セスト云フ。

湖の成因……湖ノ成因種々アリ、(一)或ハ海岸ニ砂丘ノ生シタル爲メニ水道ヲ沮遏シテ沼澤ヲナセルモノアリ、北海道、さるま湖、及ヒ北越地方ニ瀉ト稱スル湖沼ノ如キ是ナリ。(二)或ハ舊噴火口ニ水ノ溜リタルモノアリ、諏訪湖、蘆湖ノ如キ是ナリ。(三)或ハ火山ノ破裂ニヨリ、土砂ヲ谿谷ニ堆積シテ谿流ヲ沮遏シ、爲メニ生シタルモノアリ、磐梯山ノ破裂ニヨリテ生シタル湖等是ナリ。(四)往古ノ海底昂起シテ、其凹處ニ瀦水セルモノアリ、霞浦等ノ如シ。(五)或ハ土地陷落シテ生スルモノアリ、猪苗代湖、琵琶湖ノ如キ是ナリ。湖水ハ濁水ヲ清澄シ、又谿水ノ暴漲セル水ヲ容レテ徐ニ之ヲ吐出シ、以テ洪水ノ患ヲ防クノ効アリ。

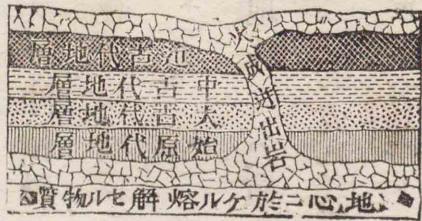
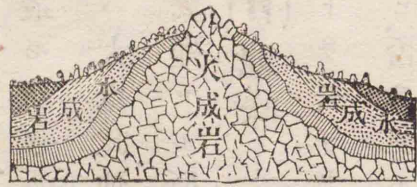
(二)氷河……高山或ハ極地ニ於キテハ、積雪谿谷ヲ埋メ、互ニ相壓シテ堅實ナル大塊トナリ、靜ニ谿谷ヲ下ルモノアリ、之ヲ氷

氷河之景



河ト云フ。氷河モ亦川流ノ如ク、其流、中央ハ左右ヨリモ速ナリ、其流下スルヤ極メテ緩徐ナレトモ、分量多キカ故ニ、兩岸及ヒ底ノ岩石ヲ磨崩シ、其碎片ハ之ヲ運搬シテ、下流ニ送致ス、我國ニハ氷河ナシ。山河等陸地ノ形勢ハ、邦國ノ興替、住民ノ性質ニ、至大ノ影響ヲ及ホスモノナリ。

(四) 陸地の性質……陸及ヒ地殻ヲ構造スルモノハ、石アリ、砂礫アリ、泥土アリ、地學上之ヲ總稱シテ岩石ト云フ。故ニ地學上ノ岩石ハ、彼ノ山間ニ峨々タル巖ヲ指スノミニアラスシテ其意味頗ル廣ク、種々ノ類別アリ。



地層截斷假想圖

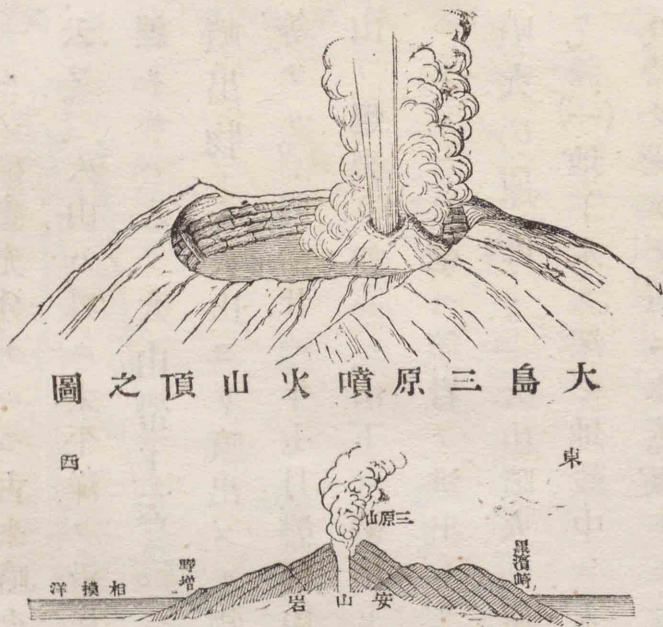
火成岩……火成岩トハ、地殻創成ノ際成リシモノ、及ヒ地殻ノ裂罅或ハ火山ヨリ迸出シタルモノニテ、何レモ地球内部ノ火カノ作用ニヨリ、熔融シタル物質ノ更ニ凝固シタルモノナリ、花崗岩、鎔岩、浮石、根府川石、小松石(安山岩、富士岩)、火山玻璃即チ黒曜石、及ヒ火山灰ヨリ成レル凝灰岩等是ナリ。我國ハ火成岩ヨリナレル所頗ル多シ。

水成岩……水成岩トハ、嘗テ水中ニ浮漂シ、或ハ溶解セラレシ物質ノ漸次沈澱固着シテ成リシモノニテ、大抵地殻ノ上部ニ位シ、層ヲナシテ重積セリ、故ニ之ヲ成層岩トモ稱ス。砂岩、石灰岩、粘板岩ノ類是ナリ。

石炭……ハ、古代植物ノ地殻中ニアリテ炭化シタル有機岩ニシテ、其舊キモノハ全ク礦物ノ觀アレヒ新キモノハ尙木理ヲ存スルモノアリ。泥炭、褐炭、石炭、無焰炭ハ皆此中ニ屬ス。我國ニテ石炭ノ產地ハ、九州及ヒ北海道ヲ以テ最トス。地層中最モ新キモノハ沖積層ニテ、我國大河ノ近傍及ヒ海岸ノ平地ハ大抵此地層ヨリ成レリ。沖積層ハ、地味肥沃ニシテ、人類ノ繁殖セル所ナリ。

(口)地味……地味トハ、植物ヲ生育セシムル土地ノ成分ト構造トナ云フナリ。其成分饒多ニシテ構造善良ナルハ肥沃ト云ヒ、否ラサルハ瘠薄ト云フ。而シテ植物ノ生育スヘキ土地ヲ土壤ト云フ、土壤ハ輕軟粗鬆ニシテ濕氣ヲ吸收シ易ク、其色ハ通常黑色若クハ黃赭色ヲ帶フ、土壤ハ元來種々ノ岩石ノ風化

シムル口ヲ噴火口ト云フ。火山ニ二種アリ、一ハ活火山ト



大島三原噴火山頂之圖

霉爛シタルモノニシテ、多クハ腐敗セル有機質ヲ含有セリ、田圃ニ肥料ヲ施スハ、植物ノ

生育ニ適スヘキ成分ヲ賦與スルニアリ、我國ハ到ル所、地味肥沃ナレハ、田野ニハ五穀蔬菜繁茂シ、山林ニハ樹木鬱鬱タリ。

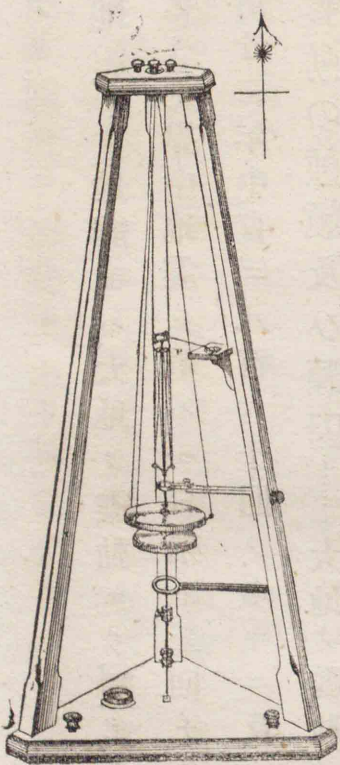
(二)火山……火山トハ、水蒸氣、其他ノ瓦斯、及ヒ鎔岩等ヲ迸出スル圓錐形ノ山岳ニテ、其此等ノ物ヲ迸出セ

テ正ニ活動セル淺間山ノ如キヲ云ヒ、一ハ熄火山トテ其火山
タルノ徵證充分ナルモ、古來噴火ノ傳説ナキ、函根山ノ如キヲ
云フ。火山ハ、殊ニ太平洋ノ沿岸ニ多シ、其數多并列シテ長ク
連ルルハ、之ヲ火山帶ト云フ。

噴出物……火山ヨリ噴出スル物ハ、岩石ノ破片、鎔岩、灰塵、瓦斯
等ナリ。明治廿一年七月、磐梯山ノ爆裂、同廿六年五月、一切經
山ノ爆裂ノ如キハ、山下ニ鬱積セル水蒸氣ノ張力ニ起因シタ
ルモノニテ、毫モ鎔岩ヲ迸出セサリシナリ。

噴火の原因……火山噴火ノ原因ハ、地下ノ熱ニ基クヤ明ナ
リ、蓋(一)地下水ノ深ク地殼中ニ入りテ、鎔熱セル部ニ達スルキ
ハ、熱ヲ受ケテ直ニ水蒸氣トナリ、其張力ヲ逞フシテ山岳ヲ破
裂スルト、(二)鎔融セル岩石ノ地殼ノ裂罅ヲ傳フテ迸出スルト

簡 單 地 震 計 之 圖



ニアルヤ復疑ヲ容レサルナリ。地下ニ熱アルハ、温泉等ニテ
明ナレトモ、鑛山、鑛井等ハ更ニ之ヲ證スルニ足レリ、さきそに
ノ鑛山ニテハ平均七十二尺ヲ下ル毎ニ一度ノ温ヲ増シ、せん
ころいすノ鑛井ニテハ、平均五十八尺ヲ下ル毎ニ一度ノ温ヲ

増スト云フ。太
陽ノ温熱ハ、地表
下凡三尺ヨリ百
尺マテノ間ニテ、
其温ヲ失フモノ
ナレハ、其ヨリ以
下ハ全ク地殼内
ノ温度ニヨル

明ナリ。

(ホ)地震……地震トハ、大地ノ震動ニテ、變災中最モ怖ルヘキモノナリ、世界中地震ノ數ハ、一日殆ト二回ナリ。我國ノ如キハ明治廿三年中、實ニ八百六十回ノ多キニ及ヘリ。

地震動ノ種類及ヒ原因……大地ノ震動スルヤ、其方向上下スルモノアリ、之ヲ上下動又縦動ト云ヒ、左右ニ動搖スルモノアリ、之ヲ水平動又横動ト云フ、其他或ハ斜ナルモノアリ、或ハ回旋スルモノアリテ、一定ナラスト雖モ、其原因ハ(一)火山破裂ノ激動(二)土地ノ陷落(三)地層ノ沈落ニ外ナラサルヘシ。

明治廿四年十一月廿八日午前六時ニ起リタル、濃尾ノ大地震ハ、東ハ磐城、岩代ニ達シ、西ハ九州ニ至リ、最モ暴烈ナル地震ナ

リシカ、其源因ハ美濃國ノ略、中央ヲ貫ク、根尾斷層ニ沿フテ地層ノ沈落シタルモノナリト云フ(小藤氏ノ說)。震動ノ強弱、種類ヲ計ル器ヲ地震計ト云フ。

海嘯即ち地震波浪……地震若シ海底ニ起ルキハ、海水ノ全深ヲ動搖セシメテ、廣大ナル波浪ヲ生ス、之ヲ海嘯ト云フ。安政元年十一月四日、伊豆下田港ニ於ケル海嘯ハ、怒濤ノ高サ三十尺ニ及ヒ、碇泊ノ露艦爲ニ破損シ、近傍人民ノ害ヲ蒙リシモノ極メテ夥カリシカ、其地震ノ中心ハ、下田ヨリ凡四十里許ヲ距ル海底ナリシト云フ。

(ヘ)土地ノ昇降……火山若クハ地震ニヨリテ、急劇ニ地面ノ形狀ヲ變スルハ、吾人ノ屢、目撃スル所ナレモ、尙ホ徐々トシテ陸地沈降シテ海底トナリ、海底昂起シテ陸地トナルコトアリ。

其實例……房總半島ハ、往古島ナリシカ、其北部ノ海底昂起シテ今日ノ半島ヲナシ、勿來關ハ、今ノ官道名古屋ノ西數丁ノ丘阜ニ在リ、加賀國能美郡安宅關ハ、今ハ海底ニ没シ、又大坂地方ノ海ナリシカ如キ、實例極メテ多シ。之ヲ概スルニ我國ニテハ、日本海ニ濱スル土地ハ漸次沈降ノ跡アレトモ、太平洋ノ沿岸ハ漸ク昂起スルカ如シ。

〔第六節〕氣候……一國ノ氣候トハ、氣圍氣ノ運動、及ヒ乾濕溫冷ニ關スル景況ヲ云フ。氣候ノ差ヲ生スル原因種々アリ、今左ニ其要略ヲ記ス。

- (一) 地軸の傾斜……地軸ノ傾斜ニヨリテ、四季ノ變化ヲ生スルトハ、既ニ第二章地球公轉ノ條ニ述ヘタレハ、茲ニ之ヲ省ク。
- (二) 緯度の高低……高緯度ノ地ハ寒冷ニシテ、低緯度ノ地ハ炎

熱ナリ、是レ日光ノ直射スルト、傾射スルトニヨル。

- (三) 土地の高低……空氣ノ地面ニ受ケタル熱ノ反射ニヨリテ熱セラル、トハ、既ニ本章第二節、大氣寒溫ノ條ニ述ヘタリ、依リテ又之ヲ略ス。

- (四) 沿海の距離……同緯度ノ地ト雖モ、其海ヲ距ルノ遠近ニ依リテ、氣候ニ大ナル差ヲ生ス、乃チ海ニ接スル所ハ、寒暑ノ差甚シカラスシテ溫和ナレトモ、海ヲ距ルト遠キ地方ハ、寒暑共ニ酷烈ナリ。今左ニ殆ト同緯度ナル西京ト沼津トノ溫度ノ比較ヲ示ス。

	一月ノ平均溫度	八月ノ平均溫度
西京	二度、一	二十六度、半
沼津	四度、七	二十五度、半

斯ク差ヲ生スル所以ハ、陸地ト水トハ、熱ヲ吸收シ、又放散スル

ノ度ヲ異ニスルカ故ニ、沿海ノ地ハ所謂海岸氣候トテ、海氣ノ影響ヲ蒙ルニヨル。

(五) 山脈の陰陽……山脈ノ陰陽ハ、大ニ氣候ニ關係スルヲ見ル、山陽道ノ温暖ニシテ、山陰道ノ寒氣強キカ如キ、全ク中國山系ノ東西ニ連亘シテ、兩者ノ間ヲ遮キルニヨル、蓋東西ノ山脈ハ、寒冷ナル北風ヲ遮リ、温暖ナル南風ヲ沮遏スルヲ以テナリ。

(六) 風の方位……同緯度ノ地ト雖モ、兩者風向ヲ異ニシ、常ニ寒風ニ襲ハル、所ハ寒氣強ク、常ニ暖風吹キ來ル所ハ温和ナリ、而シテ陸地ヨリ來ル風ハ乾燥ニシテ、海洋ヨリ來ル風ハ濕潤ナリ。

(七) 海流の影響……九州四國ノ南部、及ヒ東海道地方ハ、温暖ナル黒潮(冬季ニテ)ノ影響ヲ蒙リテ、温度ヲ増セ、且親潮ノ寒流ニ

觸ル、所ハ爲ニ一層ノ寒冷ヲ増セリ。

(八) 森林及ひ開拓……氣候ノ主要ナル原因ハ、前諸項ニ於キテ略之ヲ盡セリ、然レモ尙細カニ之ヲ考察スレハ、森林ノ有無、山野ノ開拓、及ヒ降雨ノ多寡等ハ、又氣候ニ變化ヲ及ホスモノナリ。而シテ氣候ノ異同ハ、又住民ノ性情、邦國ノ盛衰ニ大ナル關係アリ。

〔第七節〕天産……地球上、生物及ヒ鑛物ノ天産極メテ多ク、勝ケテ數フヘカラスト雖モ、生物ノ地球上ノ分賦ハ、專ラ温度ニ關シテ其種類ヲ異ニセリ、而シテ天産ハ、其地方人民ノ職業、性質等ニ影響スルコト甚タ切ナレハ、今其概略ヲ左ニ記ス。

(一) 植物……植物ハ、到ル處コレアリト雖モ、氣候ノ異同ニヨリテ、其種類モ亦異同アルヲ免レス、熱帶溽暑ノ地方ハ、草木殊ニ

繁茂シ、年中綠葉滴ルカ如ク、甘美ナル果實疊々トシテ絶エス、
勞セスシテ食物ヲ得レハ、住民ノ氣風自ラ懶惰ニ流レ、智識ノ
度甚タ低シ、芭蕉、椰子、鳳梨、珈琲等ハ熱帶地方ノ特産ナリ。
温帶地方ハ、即チ我國ノ如ク、樟、松、柏、櫛、山毛櫸等ヲ産シ、又禾穀
モ能ク熟スレトシ、勞セサレハ食ヲ得ルコト能ハス、温帶地方ノ住
民ハ、知識開ケ、盛ナル邦國ヲナセリ。

温帶ヨリ北方ニ進メハ、樹木漸ク稀疎トナリ、樹幹モ短矮トナ
ル、更ニ進ミテ近寒ノ地ニ至レハ、全ク樹木ヲ見ス、只矮少ナル
草アルノミニテ、積雪常ニ絶エス此ノ如キ地方ニテハ、食料ニ
供スヘキ植物ナク、家屋ヲ築クヘキ、木材ナク、人民ハ海獸ヲ獵
シ、氷室ニ住シテ、僅ニ其生ヲ營メリ。

(二) 動物……熱帶炎熱ノ地方ニ棲メル動物ハ、其軀體長大ニシ

テ、猛悍ナルモノ多シ、獅子、虎、駱駝、鱈、巨蟒等是ナリ。温帶地方ニ

至レハ六畜、猪、鹿、狼多ク、寒帶地方ハ極熊、馴鹿、海馬ノ類ヲ産ス。

(三) 鑛物……鑛物ハ、一ニ無機物ト稱シ、生命變遷ナキモノナリ。
鑛物ノ種類多シト雖モ、今大別シテ四類トス左ノ如シ。鑛物學
上ノ分
類ニ
非ス

(イ) 貴金屬及ヒ寶石……金、銀、金剛石等ハ皆此類ニ屬ス、金、銀

ハ南北亞米利加、及ヒ壕斯太利亞ヨリ最モ多ク出テ、金剛石ハ
ぶらじる、印度、南亞非利加ヨリ産ス、金、銀ハ貨幣其他裝飾用
ニ供シ、寶石類ハ專ラ裝飾ニ用フ。

(ロ) 建築用鑛物……ハ、大理石、花崗岩、砂岩等ノ如キ、家屋、橋梁
等ノ築造ニ用フルモノナリ。

(ハ) 工業用鑛物……ハ、鐵、銅、錫、亞鉛等ニテ、各種ノ機械、及ヒ器

具ヲ造ルニ用フ。

(二) 燃燒用鑛物……ハ、各種ノ石炭、石油等ニテ、之ヲ燃燒シテ熱ヲ發セシメ、或ハ光明ヲ取ルニ用フ。

(四) 天産ミ人民ノ職業……土地平坦ニシテ、果穀ニ適スル所ハ、農ヲ以テ業トスル者多ク、人情多クハ惇朴ナリ、鑛山地方ハ、鑛業ニ從事シ、人情慘忍ナリ、地味瘠薄ナレハ、製造工業盛ナル所ハ人情精敏ナリ、故ニ各地方ノ天産ヲ調査セハ、又該地方人民ノ職業、性情ヲモ推知スルコトヲ得ヘシ。

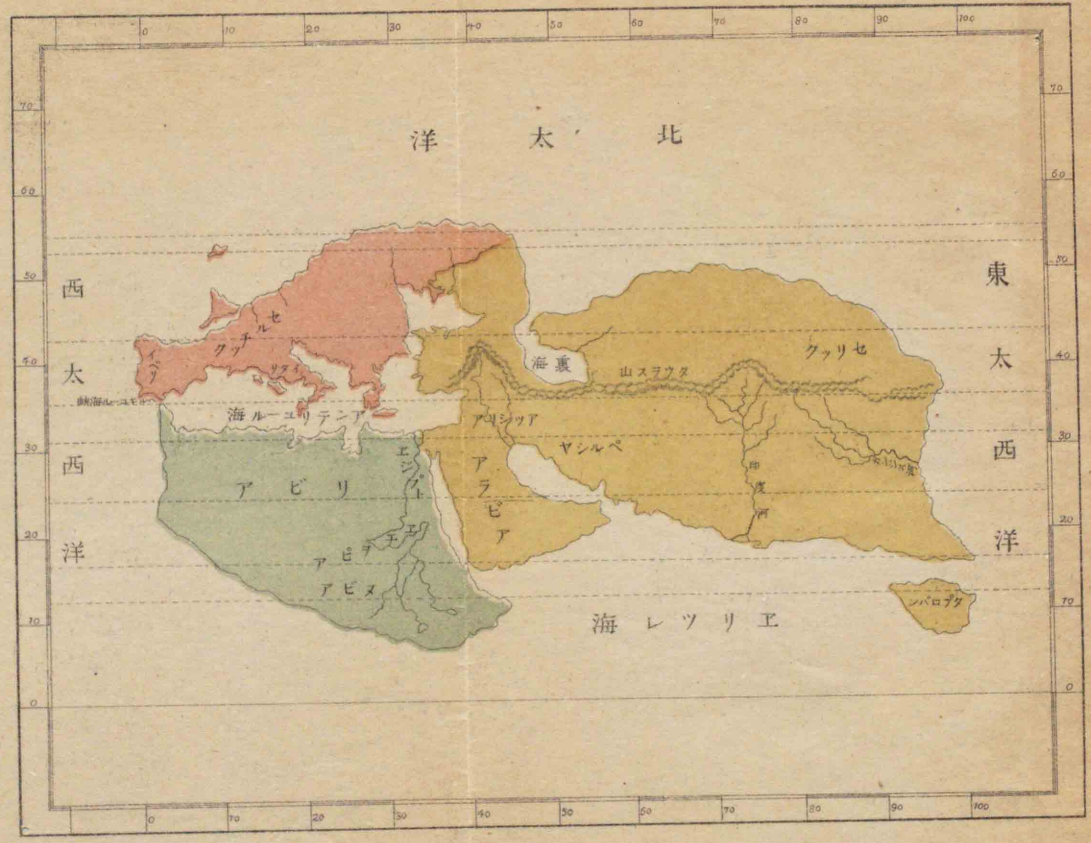
〔第八節〕地理史略……上古ニ在リテハ、各國ノ人民、孰レモ其郷土アルヲ知リテ、他ノ國土人民アルヲ知ラス、且大地ヲ以テ平坦ナルモノトセシカ、交通、貿易漸ク開クルニ及ヒテ、始メテ他ノ國土人民アルヲ知ルニ至レリ、然レモ其知ル所ハ、皆地



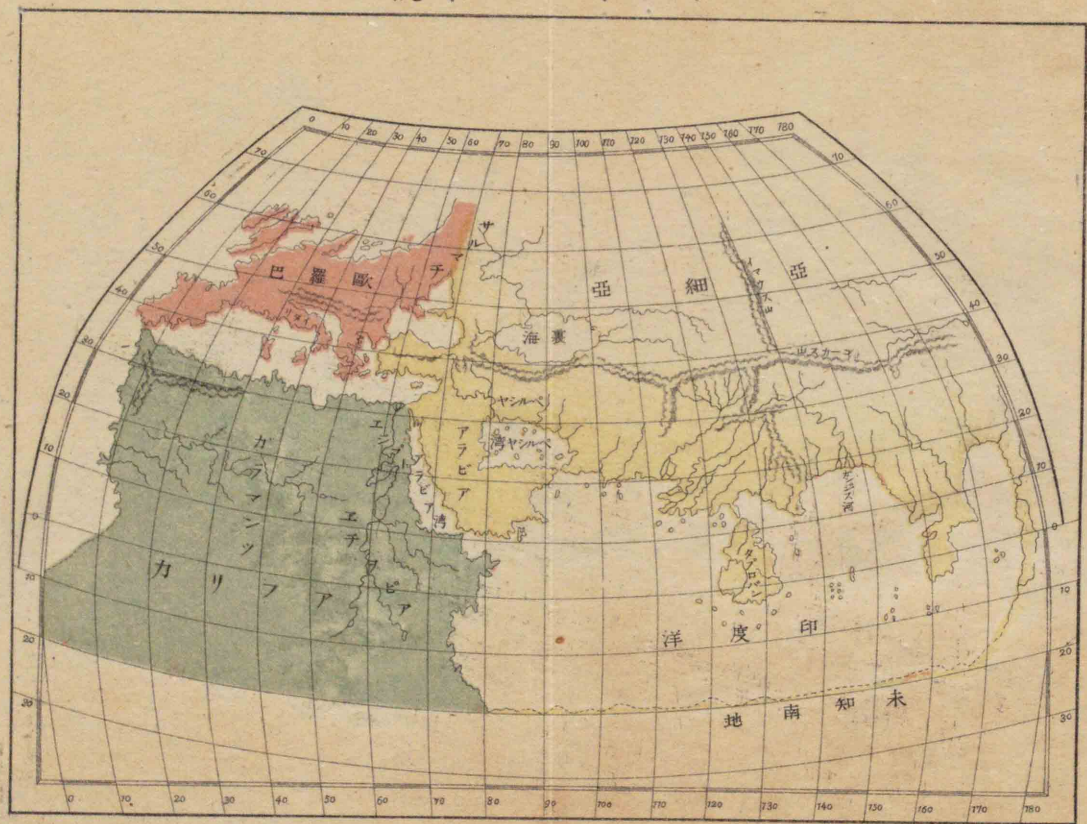
所ハ人情精敏ナリ、故ニ各地方ノ天産ヲ調査セハ、又該地方人
民ノ職業、性情ヲモ推知スルコトヲ得ヘシ。

〔第八節〕地理史略………上古ニ在リテハ、各國ノ人民、孰レモ
其郷土アルヲ知リテ、他ノ國土人民アルヲ知ラス、且大地ヲ以
テ平坦ナルモノトセシカ、交通、貿易漸ク開クルニ及ヒテ、始メ
テ他ノ國土人民アルヲ知ルニ至レリ、然レモ其知ル所ハ、皆地

統系ノボラトス



統系ノ一ミレト



民ノ職業性情ヲモ推知スル
 第八節 地理史略
 其地ノアヲ知テ知テ他ノ國土人民ヲ知ラシ且大地ヲ以
 テ他ノ國土人民ヲ知ラシ至レテ然レモ其知ル所ハ各地

球表面ノ一局部ニ過キサリシナリ。

(一) トレミー時代………(希臘及ヒ埃及ノ天文地理ノ學者ニテ西曆百年ノ人ナリ)有名ナルトレ

ミー氏ノ時ニ至リテ、世界ヲ歐羅巴、亞細亞、亞非利加(即チ「リ」)ノ

三部ニ區分セシカ、其知識ハ實ニ狹隘ナルモノナリシ、則チ世

界ノ極端ハ、西ハ亞非利加ノ西南ヲ限ル所ノゑちをびく洋

(今太西ノ洋)ニ至リ(カナリ「島ヲ西端トシ」)、北ハいへるぼれあん洋名

「ヘレツシユース海」ヲ以テ極トシ、其海面ハ常ニ堅氷ニテ閉鎖セルモノト

セリ、而シテ東ハ知ルヘカラサル陸地ヲ限り、南ハ亞細亞ノ南

海ナル印度洋、及ヒ闇黒ナル亞非利加ノ中央ヲ以テ極端トシ、

此以外ニ於キテハ、如何ナル國土人民アルヤ、當時更ニ知ル者

アラサリシナリ。而シテ此三大部ヲ分ツ所ノ中心ニ、あんで

り也。一る海(即チ内海ノ意ニテ今ノ地中海ナリ)アリ、此海ハ沿岸住民ノ交通路ニ



シテ、古代ノ商業ト文明トニ大神益ヲ與ヘタリ。……

(二) 歐羅巴人の支那及び本邦を知りし……歐羅巴人ノ支那アルヲ知リシハ、遠ク希臘羅馬ノ世ニアリシカ、一層之ヲ詳悉スルニ至リシハ、今ヨリ六百年前、西曆一千二百年代伊國うゑにすノ旅行家マルコ・ポロノ支那行ヲ以テ始メトス、ポロ、ハ支那元ノ世祖(忽必烈)ニ事ヘテ其重臣トナリ、歸ルニ及ヒテ一編ノ紀行ヲ著シ、支那ノ東海中ニ**じばんぐ**(支那國ノト稱スル島國アリテ、非常ニ富饒ナリト云ヒシカ、是レ實ニ歐洲人ノ我國アルヲ知ルノ始メトス。

(三) 亞米利加發見及び世界一周……亞米利加ノ發見ハ、ポロノ後二百年即チ我明應元年(西曆千四百九十二年)ニアリ。コロンバスカ亞米利加ヲ發見シタルハ、實ハポロカ説ヲ聞

キ、西方ヨリ海ヲ渡リテ、此**じばんぐ**ニ至ラント期シタルモノナリト云フ。亞米利加ノ發見ニ次キテ、(西曆一千四百九十七年)ワスコ、ド、カマ喜望峰ヲ航シ、後二十五年(西曆一千五百二十二年)マゼランハ地球ヲ一周セリ(非利島民ト闘フ。テ非命ニ死セリ)。

(四) 濠洲の發見……濠斯太利亞(南方ノ土)ハ、蓋西曆第十六世期ニ葡萄牙國人ノ發見セシモノナランカ、普ク歐洲人ノ知ル所トナリシハ、第十七世期ニ荷蘭人ノ探檢ヲ經シ後ニアリテ、當時ハ之ヲ新荷蘭ト稱セリ。

(五) 本邦と外國との交通……我國ノ、三韓及び支那ト交通セシ事蹟ハ史上ニ明カナレハ、茲ニ略ス。而シテ西洋諸國アルヲ知リシハ、今ヨリ三百四十五年前實ニ天文十年(西曆一千五百四十一年)ニアリ。是年七月、大船一艘豊後ノ神宮浦ニ漂

着ス、其人物異態ニシテ、言語通セス、何國ノ人タルヲ知ラス、其鳥銃ヲ國主大友義鎮ニ贈リ、交易ヲ請フニ至リテ始メテ、葡萄牙國人ナルヲ知レリ。是ヨリ外人屢、我國ニ來リ、世人一般ニ西洋諸國ヲ知ルニ至レリ。

第四章 人文地理の概要

第一節人類社會の成立及び發達——社會とは何ぞ協同力を生ずる事情、社會發達の事情、第二節人種及び種族の配布——各異の人種を生ずる原因、人種の三大種統、第三節邦國——邦國強盛の源因、獨立國及び屬國等、第四節開明の程度——未開、半開、開明の程度の發達、第五節需要品及び生業——産場、産物、生業、第六節交通——交通の要素、第七節人情——都會、平地、山地、第八節風俗——衣服、飲食、家屋、身體、遊戲、好尚、第九節言語——阿爾泰統、ありあん統、せみちく統、第十節宗教——多神教、拜物教、婆羅門教、佛教、一神教、第十一節政治——立君政、民主政、君主國の統治者、政權の區分、行政の區劃、軍備

〔第一節〕人類社會の成立及び發達……地球上人類ノ創

生ハ、何レノ地ニアルヤ、邈トシテ今考フヘカラス、各國古史ニ説ク所ノ如キハ、蓋悉ク信憑スヘカラサルナリ。然レモ、古代人類ノ繁殖セシハ、支那、印度ノ平原、めそぼたみやノ平地、及ヒ尼羅河口等ニ於キテ最モ盛ナルモノ、如シ、而シテ人類カ漸ク發達シテ、社會ヲナスニハ種々ノ事情ナカルヘカラス。

(一) 社會とは何ぞ……抑モ社會トハ、人類ノ相結合シタル團體ナレハ、必ス同心協力ナカルヘカラス、而シテ同心協力ハ一群ノ人衆共同ノ目的ヲ達センカ爲メニ起ルモノナリ、社會ノ創成ハ如何ナル事情ニヨルヤ、蓋左ノ如キ事情ハ、最モ有力ナルモノナリシナランカ。

(二) 協同力を生ずる事情……人々食料ヲ得ンカ爲ニ狩獵スルヲ、一人ニテナスヨリ多人共同スレハ獲多シ。

外敵ノ劫掠ヲ禦キ、或ハ他ノ部落ヲ侵撃スルコト、一人孤立ニ
 テナスヨリハ、衆多合同スルキハ、利多クシテ失敗少シ。
 此等ノ經驗ヨリ、各自孤立ノ有様ハ、漸ク變シテ相依賴シ、相助
 成スルノ状態トナリ、衆多ノ人民相結合シ、遂ニ社會ヲナスニ
 至ル、既ニ社會ヲナセハ、從來一個人ノ力ニテ成シ能ハザリシ
 事モ容易ニ成シ得ルニ至リ、從ヒテ各人ノ利益モ亦多クレハ、
 其社會ノ團結ハ益々鞏ク、區域モ亦益々大ナルヘシ、社會ノ地位
 一ダヒ此ニ達スレハ、夫ノ公益ニ違フテ私利ヲ逞フスルカ如
 キ惡德ハ、縱ヒ一時ハ利益ヲ得ルコトアルモ、忽チ社會ノ容ル、
 所トナラス、世人ノ唾棄スル所トナリ、終ニ輾轉沈淪其身ヲ終
 ルニ至ルヘシ。

(三) 社會發達の事情……サレハ、人類社會ノ團結ハ、人類ノ幸

福ヲ増進スルニ極メテ必要ナルモノナリ而シテ社會ノ發達
 ニ關シテ必要ナルモノニアリ。一ハ地理的事情ニテ、一ハ人類
 的事情是ナリ。

地理的事情トハ、其地ノ位置、形勢、氣候、天産等凡人類ノ發達
 ニ關スル自然力ノ状態ヲ云フナリ。

人類的事情トハ、其種族ノ體質、稟性、感情等、凡人類社會ノ發
 達ニ關スル自發力ノ状態ヲ云フナリ。

第一ノ事情ニ就キテハ、既ニ前章中各所ニ述ヘタレハ、茲ニハ
 第二ノ事情ニ就キテ畧説スルアラントス。

(イ) 種屬の體質……社會ノ發達ニ要スル人類種族ノ體質ハ、
 強壯ニシテ、久シク勤勞ニ耐フルモノナラサルヘカラス、劣等
 ノ人種ハ、體質羸弱ニシテ、永ク勤勞ニ服スル能ハス、野蠻人ヲ

シテ高等ナル衣食住ヲ得セシメントシテ、却テ人口ノ減少ヲ來スカ如キハ、彼等ノ體質耐ヘサレハナリ。

(ロ) 種族の稟性……人類ハ、元來群居ヲ好ミ、索居離處スルヲ惡ムモノナレハ、自然ニ社會ヲ組織スヘキ性質ヲ稟受セルモノナリ、然レモ種族ニヨリテ、此性質ニ厚薄ノ差アルヲ免レズ、其情厚キ者ハ愈、社會ノ結合ヲ鞏クスレモ、其情薄キ者ハ輒チ睽離乖亂シ、一致シテ共同ノ進路ヲ取ルヲ能ハス、波羅尼内地ノ土人ノ如キハ、孤立ノ生計ヲ營ミ、苟モ其一身ヲ處シ得ルノ年齢ニ至レハ、父母ト相去リテ、親子相慕フノ情ナシ、又「ブツシメン」人種ハ、非常ニ孤立ヲ愛シ、且極メテ貧困ニシテ、恰モ自由ト貧困トヲ以テ、終生ノ目的トセルモノ、如ク「南米」アラカンニア」人種中ノ一種ハ、毫モ異說ヲ容レズ、命令ヲ奉スルガ如

キハ決シテ爲シ得ル所ニアラス、ト此ノ如キ人民ハ、相結合シテ事ヲナスヲ能ハザレハ、鞏固ナル社會ヲ組織スルヲハ、到底得テ望ムベカラザルナリ。

(ハ) 種族の感情……人類種族ノ感情ハ其平素交通ノ多少、人種ノ異同、血統ノ如何ニ關シテ厚薄アルモノナリ、平素親交スル者同人種、同一祖先ヨリ出テタル人民ハ、吉凶禍福共ニ同感ノ情ヲ惹起シ易ク、結合ノ力モ亦強シ、且協力ナルモノハ、有力者ノ命令ヲ信用シテ、之ニ服従スル情ト、其有力者ヲ尊崇スル情トヲ以テ最モ必要ナリトスレハ、古代草昧ノ世ニアリテハ、此等ノ感情ハ、最モ社會ノ結合ヲ鞏固ナラシムルニ力アリシナラン。

〔第二節〕人種及び種族の配布……人類ハ其體力某種ノ動

物ニ及ハサレテ其智力靈妙ニシテ能ク外界ノ變化ニ應シ、各處ニ移轉スルコト自由ナレハ、世界ノ陸地ニハ、殆ト人類ノ棲息セサル所ナク、其全數凡十四億八千萬アリテ、平均一平方里ニ百六十八人餘ノ割合ヲ以テ棲息セリ。

(一) 各異の人種を生ずる源因……人類住居ノ地ハ、各處其氣候ヲ異ニシ、又食物、住屋、職業等ノ異同アルニヨリ、久シク一定ノ地ニ住スルキハ、終ニ皮膚、骨格等ニ變化ヲ生シ、各地特別ノ人類アルヲ見ルニ至レリ。而シテ此人種ヲ白色人種、黃色人種、黑色人種、銅色人種、棕色人種ノ五ニ區分セシカ、近來ハ三種統ニ大別スルモノアリ。

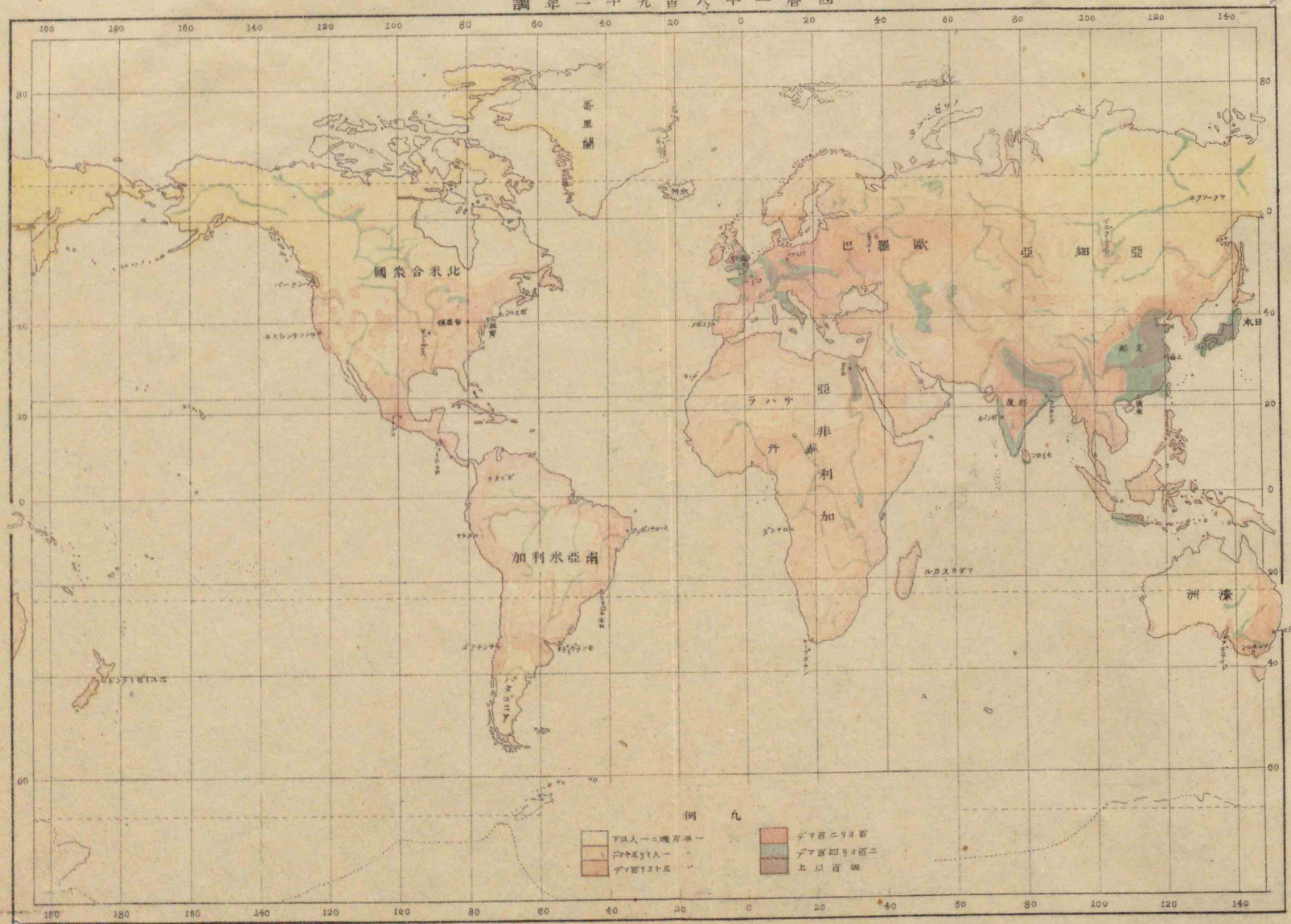
(二) 人種の三大種統……人種ノ三大種統トハ、白種統、黃種統、及ヒ黑種統ニテ、棕色人ナル馬來人ト、銅色人ナル亞米利

大 國 文 口 橋 跡



人口分布之圖

西曆一千九百一十一年



一定ノ地ニ住スルキハ、終ニ皮膚、骨格等ニ變化ヲ生シ、各地特別ノ人類アルヲ見ルニ至レリ。而シテ此人種ヲ白色人種、黃色人種、黑色人種、銅色人種、棕色人種ノ五ニ區分セシカ、近來ハ三種統ニ大別スルモノアリ。

(二) 人種ノ三大種統……人種ノ三大種統トハ、白種統、黃種統、及ヒ黑種統ニテ、棕色人ナル馬來人ト、銅色人ナル亞米利



第四 章 人 文 地 理 ノ 概 要

加土人トハ之ヲ黃種統ニ入ル。

(イ) 白種統……………此人種ハ、鼻高ク、腮突出セス、腦力他ノ人種ヨ

リモ優レリ、此種ニ屬スルモノハ、歐羅巴人、亞米利加人(土人ヲ除ク)、

及ヒ亞細亞ノ西南ニ蔓延セル「インド、エウロポアン」等是ナリ。

(ロ) 黃種統……………此人種ハ、概シテ鼻高カラス、面色種々アリ、從

來蒙古人種ト稱セシモノニテ、其分布最モ廣ク、北氷洋ノ濱ヨ

リ亞細亞亞米利加ノ大部ヲ占メ、南ハ熱帶ノ諸島ニ及ブ。

(ハ) 黑種統……………此人種ハ、鼻低ク、毛髮卷縮シ、體軀ノ構造、文化

ノ程度共ニ、最モ劣等ナリ、亞非利加、濠斯太利亞、たすまにや、

馬來諸島等、何レモ熱地ニ分布シ、其最モ下等ナルモノニ至リ

テハ、往々人肉ヲ啖フノ陋習アリト云フ。

斯ノ如ク人種ヲ別ツト雖モ、其細目ニ至リテハ、果シテ何レノ

人種ニ屬スルヤ、殆ト其區別ヲ見ルコト能ハサルモノアリ、是レ移住、混合等ニテ、種屬ノ特徴ヲ失ヒ、互ニ相混化スルニヨルナリ。

〔第三節〕邦國……邦國ヲ組成スルニ二個ノ大原力アリ一ハ土地ニテ、一ハ人口ナリ此二ノモノ備具シ、而シテ其人衆共同シテ一定ノ政府ヲ戴クキハ、始メテ之ヲ邦國ト云フ。若夫土地ナカラシカ、人口アリト雖モ是レ只人衆ノ群聚ノミ、決シテ邦國ニアラス、只土地ノミナランカ、是レ陸ノミ、島嶼ノミ、決シテ邦國ト云フヘカラス、又土地アリ、人民アルモ、之ヲ統一スル所ノ政府ヲクンハ、是レ烏合ノミ、部落ノミ。サレハ、邦國トハ必ス此三者ヲ備具セサルヘカラス。

(一) 邦國強盛の源因……土地廣ク、人民多キキハ、之ヲ大國

ト云フ、然レモ強盛ナル邦國ヲナスニハ、只其地廣ク、其民多キノミニテハ不可ナリ。(第一)邦土ノ位置宜キヲ得テ、氣候溫和ニ、交通便ナラサルヘカラス。(第二)地味肥沃ナルカ、或ハ瘠薄ニシテ、五穀菜蔬ニ適セサルモ、他ノ天産豐饒ナラサルヘカラス。(第三)人民ノ智識開發シテ、能ク外界ノ事物ヲ制スルノ勢力ナカルヘカラス。(第四)人民共同一致シテ、其國ニ盡スノ義心ナカルヘカラス。(第五)政治上ノ機關、整備シテ、其施政ハ、治國ノ目的ニ背クコトアルヘカラス。而シテ此諸原素中、人民ノ智識ト、義心(忠君愛國ノ心)トヲ以テ、最モ必要ナルモノトス、若シ此ノ二ヲ欠ンカ、其國決シテ強盛ナルコト能ハス、古ヨリ國家ノ亡フルハ位置ノ便ナラサルニアラス、物産ノ乏シキニアラス、政治ノ機關備ハラサルニアラスシテ、多クハ其人民無智蒙昧ニ安ン

シ、其君ニ忠ナラス、其國ヲ愛セサルニ職由セスンハアラス、蓋人民ノ智識開發スルキハ、天然ノ障礙ニ勝テテ、却テ之ヲ利用シ、義心厚キハ其國ヲ護ルヲ鞏シ、故ニ小國ト雖モ強盛ナル邦國アリ、大國ト雖モ微弱ナル邦國アリ。

(二)獨立國及ひ屬國等……獨立國トハ、毫モ他國ノ干涉、掣肘ヲ受ケス、一國獨立シテ其政ヲ施ス所ヲ云ヒ。屬國トハ其國民、自ラ己ノ好ム所ノ政ヲナスヲ能ハス、全ク他ノ邦國ニ隸屬セルモノヲ云フ。我國、支那等ハ獨立國ニシテ、印度等ハ英國ノ屬國ナリ。又國勢微弱ニシテ、獨立スルヲ能ハス、他國ノ干渉保護ヲ仰クモノアリ、之ヲ某國ノ保護國ト云フ、安南ハ佛國ノ保護國ナリ。

〔第四節〕開明の程度……地球上ノ人類多シト雖モ、其智識、道

徳ノ程度、即チ社會ノ有様ニヨリテ、之ヲ三大段ニ大別ス、乃チ未開、半開、開明、是ナリ。

(一)未開の民……トハ、部落ヲ立テ、獵漁ヲ以テ生活スル最下等ノ野蠻ヨリ、家畜ヲ飼養シ、粗拙ノ耕作ヲナスガ如キ、一步ヲ進メタル人民ヲモ併稱ス。南洋諸島ノ土蠻等ハ未開ノ民ナリ、未開ノ民モ、近世交通ノ開クルニ及ヒテ、他國ノ感化ヲ蒙リ漸次其社會ノ有様ヲ改良スルモノ尠カラス。

(二)半開の民……ハ、主トシテ耕作ヲ營ミ、學術開ケ、技藝進ミ、又幾分カ商業ヲナシ、其智識道德見ルヘキモノアリテ、社會ノ有様頗ル改良シタルモノアリ、安南、暹羅等ノ人民ハ即チ半開ノ民ナリ。

(三)開明の民……ハ、智識道德大ニ進ミ、職業ニ分業ノ制行ハ

レ、教育ノ制度立チ、社會ノ有様極メテ改良セルモノナリ、我國及ヒ歐洲ノ諸國、北米合衆國ノ人民ノ如キハ開明ノ民ナリ。

(四)開明の程度の發達……凡何レノ國民モ、初ヨリ開明ノ民タルニ非ス、其古ニ溯リテ、之ヲ討ヌルキハ、皆未開ヨリ半開ヲ經テ、漸ク開明ノ域ニ達シタルモノナリ、而シテ是皆其人民勤勉ノ結果ナラスンハアラス、人民ノ懶惰ニシテ、進取ノ氣象乏シキ片ハ曾テ一回ハ進歩セシコアルモ、社會ハ常ニ舊態ニ安シ、復進歩ノ緒ニ就クコト能ハス、夫ノ朝鮮ノ如キ、印度ノ如キ、埃及ノ如キ何レモ古代ニアリテハ頗ル進歩セル邦國ナリシカ、其開化ハ一頓シテ進ムコト能ハス、之ニ反シテ、當時尙未開ノ地位ニアリシ歐洲諸國ノ如キハ、今ヤ遙ニ其上位ニ進ミ萬國ノ首位ヲ占ムルニ至レリ、而シテ夫ノ古國ノ狀況今果シテ如何ソ

ヤ、一國ノ人民タルモノ豈罷勉セサルヘケンヤ。

〔第五節〕需要品及ヒ生業……人生ノ需要品、其類多シト雖、畢竟衣食住ノ三者ニ外ナラサルナリ、而シテ各人執ル所ノ業務千種萬様ナリト雖、其目的トスル所ハ、他人ノ必要ヲ充タシテ己ノ所要ヲ得ント欲スルニ外ナラス、衣食住ハ、開明ノ程度ニヨリテ異ルモノナレハ、生業モ亦之ニ應シテ其種類程度ヲ異ニス。

(一)産場……需要品ノ類固ヨリ多シ、然レ其之ヲ生産スル場所ハ、水陸ノ二ニ出テス水ヨリ出スモノハ魚鹽貝藻等ニテ陸ヨリ出スモノハ穀物、獸類、木材、鑛物等ナリ、而シテ各國其地形文野ノ異ナルニ隨ヒテ、産場モ亦異ナレリ。地理ヲ學フ者ハ、先ツ各地ノ形勢(海岸線ノ長短出入、川湖ノ大小多少、地質地味ノ如何)ヲ察シ、氣候(氣温、乾濕)ヲ考ヘ、以テ

其産場ノ種類(水産場ナルカ、農産場ナルカ、礦産場ナルカ等ノ類)、多少(及ヒ)ヲ推考シ、其産物ノ如何ヲ臆度シ、兼テ其地方人民ノ生業風俗ヲ考定シ、而シテ後之ヲ事實ニ徴シ、以テ觀察ノ正否ヲ確定スヘシ。又地産物ヲ産セハ、山岳モ亦乏シカラサルヲ知ルベシ、蓋礦物ハ多ク山岳ヨリ採掘スルモノナレハナリ、水産魚族ニ富ムノ邦國ハ、以テ海岸線ノ長キヲ知ルベク、農産饒ナル邦ハ、平地多ク地味肥沃ナルヲ察スベシ。

(二)産物……産物ヲ分チテ二トス、乃チ原料品及ヒ製造品是ナリ。然レモ、一物ニシテ原料品タリ、又製造品タルモアリテ、其區別分明ナラサルモノ尠カラス、左ニ其概畧ヲ示ス。

(イ)原料品……原料品ノ水産ニ屬スルモノハ、魚鹽、貝、藻等ニシテ、陸産ニ屬スルモノハ、家畜其他ノ鳥獸、穀類、蔬菜、果實等ノ農

産物、竹木等ノ林産物、及ヒ石材、石炭、金銀鑛等ノ鑛産物はナリ。我國ハ、海岸線非常ニ長ク、又頗ル河湖ニ富ミ、水産極メテ多ク、内地ハ、到ル處山岳并列シ、木材、金、銀、銅、石炭ヲ出シ、平地ハ、耕地井然トシテ穀果穰々タリ。

(ロ)製造品……原料品ニ種々ノ意匠ヲ加ヘ、一層人生ノ需要ニ應スル様製作シタルモノヲ製造品ト云フ、夫ノ綿花ノ如キハ唯蒲團等ニ用フルノ外、其用殆ト尠シト雖モ、之ヲ紡キテ絲トナセハ以テ縫フヘク、以テ織ルヘシ、既ニ織物トナルヤ、其用極メテ廣ク、價モ亦貴シ、人文未タ開ケサル所ハ、直ニ原料ヲ用ヒテ日常ノ用ニ供シ、或ハ多少ノ製作ヲ加ヘテ必需ニ應スト雖モ、人智進歩スルキハ、製作巧妙ニシテ精工利便ノ器具ヲ用フルニ至ル。

飲食物……人類ノ飲食物モ亦自然ノ三界即チ動物、植物、礦物ノ三ノ外ニ出テス、熱地ニテハ、多ク果實、菜蔬ノ類ヲ食シ、寒地ニテハ、主トシテ肉類ヲ用ヒ、暖地ニテハ、肉類ト菜蔬ノ類トヲ併用ス。

衣服……熱地ニテハ、多ク寬濶ナル麻布ヲ衣トシ、寒地ニテハ獸皮毛布ヲ裁シテ之ヲ衣、温暖ノ地ニテハ、麻布、毛布等、氣候ニ隨ヒテ之ヲ用フ。

住居……住居モ亦氣候ト文野トニヨリテ異ナリ、熱地ニテハ草屋ヲ構ヘ、温暖ナル地方ニテハ堅固ナル家屋ヲ建ツ。

(三) 生業……生業ハ、衣食住等ノ需要ヨリ起ルモノナレハ、衣食住ノ程度劣等ナル未開ノ地ニハ、生業ノ種類少ク、其程度モ亦極メテ低ク、一人ニテ數業ヲ兼ヌレモ、人文進歩セル所ニ於キ

テハ、生業ノ種類頗ル多ク且分業ノ法行ハル。
生業ノ種類ハ、農業、林業、漁業、獵業、工業、鑛業、商業、運輸業、保險業及ヒ學藝、宗教、軍事、政事等ニ關スル士業等ナリ而シテ一方人民ノ生業ハ、位置、地勢、地味、氣候等ニヨリテ定マルモノナリ、但同一ノ生業ト雖モ、社會ノ文野ニヨリテ、之ヲ營ムノ方法ヲ異ニセリ。

〔第六節〕交通……交通運輸ノ國家ニ於ケルハ、猶ホ血管ノ人身ニ於ケルカ如ク、其便否ハ實ニ國家ノ發達ニ至大ノ關係ヲ有セリ、交通運輸不便ナランカ、恰モ血管萎靡セル人ノ如シ、何ニ由リテ體軀ノ榮養ヲ取ル所アラランヤ。サレハ、此ノ如キ國家ハ其建國如何ニ古シト雖モ、發達セルモノ尠シ。抑、交通運輸ノ目的トスル所ハ天然ノ障害ヲ除去シテ距離ヲ短縮シ、以

テ人生交通ヲ希フノ情念ヲ満足セシメ、百貨ノ流通ヲ滑ニシテ、生産力ヲ盛ナラシムルニアリ。

(一)交通の要素……交通ニ三個ノ要素アリ (一)ニ通路水、陸 (二)ニ運送ノ具 (三)ニ運轉ノ力、是ナリ。

(イ)通路……古代人智未タ開ケサルハ、天然ノ障害ニ打勝ツコト能ハス、只河道ノ便ニヨリテ、交通セシテ各地皆然リ、彼ノ古代人類繁殖シ、開明ニ向ヒタル所ハ、何レモ河岸ノ地ニアラサルハナシ、支那ニ黄河、楊子江アリ、印度ニ恒河、印度ゴッダワリノ二河アリ、埃及ニ尼羅河ナイルアリ、是諸河ノ灌域ハ、皆上古人類ノ繁殖セシ所ナリ、而シテ今日ト雖モ、河岸ニ都會ノ多キヲ見レハ、河道ノ交通、運輸ヲ助ケ、人類ノ繁殖ニ如何ニ効益多キヲ察スヘシ。航路……海上船舶ノ通路ヲ航路ト云フ、昔時帆船ノミナリシ

キハ、航路ハ専ラ海岸ニ接近シ、其距離モ亦短リシカ、汽船ノ發明アリシヨリ以來、遠洋ヲ航シ、航路里程モ亦非常ニ延長セリ。而シテ、今日ハ航路標識ノ具モ、頗ル完備スルニ至レリ。道路……我國ノ道路ハ、國道、縣道、里道ノ三段ニ大別ス。東京ヨリ道廳、府縣廳、開港場、并ニ伊勢大廟ニ達スルモノ、及ヒ道廳府縣廳ト師團本部トヲ連絡スルモノヲ國道トス。縣道ハ各府縣廳ノ間、師團本部ト旅團トノ間ヲ通スルモノニシテ。里道ハ、村落ノ間ニ通スルモノナリ。鐵道……我國鐵道ノ創設ハ、明治五年東京、橫濱間ノ敷砌ヲ以テ始トス、尋キテ東京、京都間ノ鐵道成リ、十四年ニハ日本鐵道會社起リ、爾來鐵道ノ設漸ク偏ク、今ハ全國必要ノ場所ニハ、概テ鐵道ノ通セサル所ナキニ至レリ。

(ロ) 運送の具……運送ノ具モ、通路ノ發達ニ伴フテ、益、其利便ヲ極ムルニ至レリ、即チ帆船ハ汽船トナリ、牛車ハ汽車トナレリ、而シテ、往時、音信ヲ通スルニ役セシ飛脚ハ、制度完整、配達迅速ナル郵便、電信、電話トナレリ。我國ニテ郵便ノ制ヲ設ケラレシハ、明治四年ニシテ、電信ハ明治二年、電話ハ二十三年末ヨリ設置セラレタリ。

(ハ) 運轉の力……運送ノ具ヲ改良スルニハ、運轉ノ力ヲ改良セサルヘカラス、例之ハ風力ノミヲ使用シテ船ヲ行リシニ、汽力ヲ用フルカ如キ、運送具ノ改良ハ、畢竟運轉力ノ改良ニ外ナラス。

〔第七節〕人情……氣候風土ハ、國民ノ性質、風習ニ關係スルコト大ナリ、我國ハ氣候温和ニシテ、山川秀麗、物産豊富ナレハ、其

人情モ亦自ラ優雅ニシテ、美情ニ富ミ、思慮深クシテ學術ヲ好ミ、緻密ニシテ技藝ニ巧ナリ、而モ忠勇義烈ノ念厚ク、敵愾ノ氣熾ナリ。然レモ都鄙ニヨリテ其人情ニ幾分ノ差違アルハ、又自然ノ勢ニシテ蓋シ免ルヘカヲサルナリ。今左ニ其主要ナル差違ノ點ヲ舉ケン。

(一) 都會の人情……通邑大都ニシテ交通至便ナル所ハ、人情概ネ輕佻、浮薄ニ流レ易ク、慧敏ニシテ射利ニ巧ニ、又華奢、柔險ノ傾ナキニアラス。

(二) 平地の人情……土地平坦ニシテ、眼界廣漠タル平地ニ住スルモノハ、其氣象自ラ雄偉ニシテ、小事ニ齷齪スルヲ好マサルノ風アリ、其平素快豁ニシテ進取ノ力ニ富メルハ、實ニ喜フヘキコトナレトモ、動モスレハ粗豪ニ陷ルノ弊ナキニアラ

ス。

(三) 山地の人情……峻峭タル峯巒四周ノ中ニアリテ、清冷ナル谿流ニ浴スル山地ノ住民ニアリテハ、眞摯樸實ノ風アリテ、心自ラ勇シ、然レモ交通不便ニシテ、都會ノ風儀來リ染ムコト遅ケレハ、率直ナル代リニ偏固ノ弊アルヲ免レス。

古語ニ曰、居ハ氣ヲ移スト、風土、氣候ハ、實ニ人間ノ性情ニ至大ノ感化ヲ與フルモノナリ、地理ヲ學フ者ハ、天然ノ風土、地形ヲ見テ人情ヲ察シ、又人情ヲ見テ風土地形ヲ察セサルヘカラス。
〔第八節〕風俗……風俗、習慣ハ、人情ノ表ニ現ハル、モノナレハ、一國ノ風俗ハ、又其國ノ人情ニ伴ハサルヘカラス。我國ニテハ、古來着實ニシテ飾ナキノ風ヲ貴ヒ、華美、艷麗、濃厚ナルヲ嫌ヒテ、幽婉、樸素、淡泊ノ風ヲ尙ヘリ。

(一) 衣服……我國ノ衣服ハ、種々アリテ一定ナラスト雖モ、維新以後、上流社會ハ一般ニ西洋ノ服装行ハル、然レモ家居ノキハ上下一般ニ我國固有ノ服ヲ着セリ。

(二) 飲食……我國ハ一般ニ一日三食ヲ以テ常トスレモ、勞動者ニ至リテハ、一日四回ノ食事ヲナスモノアリ、其食物調理ノ法ハ、概シテ濃厚ナル脂滋ヲ用ヒスシテ、淡泊ナルヲ好メリ、是レ氣候ノ温和ナルト、佛法渡來シテヨリ魚肉ノミヲ食スルノ習慣ヲ養成セシトニ因ル、然レモ近來ハ洋食漸ク行ハレ、從ヒテ飲料モ洋品ヲ用フルモノ頗ル多キニ至レリ。

(三) 家屋……家屋ノ築造ニハ、主トシテ木材ヲ用フ、煉瓦ヲ用フルニ至リシハ實ニ近來ノコトナリ、而シテ其建築法タル、大厦高樓少ナシト雖モ、空氣ノ流通ヲ善クシ、兼テ温度ヲ保ツニ適

セリ、蓋我國ニハ、地震頗ル多ク、又時ニ暴風アレハ、堅靱ナル木材ヲ用ヒ、家ノ上部ヲ輕クスルカ如キハ、實ニ自然ニ應スル建築法ナラシカ。

(四) 身體に就きて……頭髮ハ、維新以來男子ハ散髮ヲナシ、女子ハ舊來ノ髮樣ニ加ヘテ束髮ナルモノ稍流行シ、又眉ヲ剃リ、齒ヲ涅スルノ風アリ。文身ハ、都會ノ下等人民ノ間ニ行ハル、アイノノ婦人ハ、嫁スレハ口邊ニ黥シ、薩南諸島ヨリ琉球群島ノ婦女ハ、手指ノ背ニ黥ス。

(五) 遊戯好尚……本邦ニ行ハル遊戯ノ種類頗ル多シ、其主モナルモノハ演劇、能樂、角力、插花、茶ノ湯、圍碁、將棋、遊獵、音樂等ナリ。

〔第九節〕言語……言語ハ、思想ヲ交通スルノ具ニテ、之ヲ形ニ

表シタルモノヲ文字ト云フ。凡同一ノ言語ヲ使用スル人民

ナ一國民ト稱ス。方今世界ノ言語ヲ三大統語ニ區別セリ、

(一) ナ阿爾泰統語トシ、(二) ナありあん統語トシ、(三) ナせみち、
く統語トス。

(一) 阿爾泰統語……阿爾泰統語ハ、亞細亞ノ東北部大半ニ行ハルル言語ニテ、我國ノ言語モ亦此統ニ屬シ、其發音ニ於キテハ單綴語ナリ、往昔支那三韓ト交通セシヨリ、漸次彼國ノ言語ヲ混シ、近來ハ更ニ歐洲語ヲ混スルニ至レリ。

(二) ありあん統語……ハ、歐羅巴及ヒ亞細亞ノ印度地方ノ言語ナリ。

(三) せみち、く統語……亞細亞ノ西部ニ行ハル、言語ナリ。

〔第十節〕宗教……各國ノ人民、各信奉スル所ノ神佛アリテ、之

ヲ尊崇スルノ習俗アリ。今世界ノ宗教ヲ二ニ大別ス、(一)ニ多神教、(二)ニ一神教、是ナリ。

(一)多神教……多神教トハ、數多ノ神ヲ信奉スル所ノ宗旨ニテ、其主ナルモノハ左ノ如シ。

(イ)拜物教……此教旨ハ、宗教中最下等ニ位シ、萬物ヲ崇拜シ、又特ニ必要ナル物品、或ハ有害ナル物類ヲ崇拜ス。中央亞非利加、亞細亞、亞米利加ノ北部、及ヒ阿西亞尼亞ノ土蠻中ニ行ハル、之ヲ信奉スル人民無慮二億アリ。

婆羅門之尊像



(ロ)婆羅門教……此教旨ハ、印度一億五千萬ノ人民ニ行ハレ、ブラマヲ以テ、天地ノ主宰トシテ信奉スルモノナリ。

(ハ)佛教……佛教ハ、亞細亞五億ノ人民ニ行ハル、佛陀ノ教ニテ、婆羅門教ヲ改良シタルモノナリ。佛教ハ

ノ如ク、一神教ノ如ク、又ハ無神教ノ如ク、今姑ク「フオンセン」ノ地理書ニヨル、

(二)一神教……此教旨ハ、唯一造物ノ神ヲ信奉スルモノニテ、之ヲ三ニ大別ス、左ノ如シ。

(イ)猶太教……ハ、全世界ニ散在セル、猶太人(イスラエ人)六百萬人ノ信奉スルモノナリ。

(ロ)回々教又いすらみずむ……ハ、マホメットノ開キタル宗旨ニテ、亞細亞ノ中央ヨリ西南部、亞非利加、及ヒ土耳其古ニ行ハル、信徒凡二億萬人アリ。

(ハ)耶蘇教……ハ、之ヲ三ニ小分ス、即チ(一)舊教又天主教ハ歐洲ノ中央以西、及ヒ南亞米利加ニ行ハレ、信徒二億アリ。(二)希臘教ハ、露國ニ行ハレ、信徒八千萬アリ。(三)新教ハ歐洲ノ中

央ヨリ北部ニ行ハレ、又北亞米利加ニ流行ス、信徒一億一千萬人アリ。

〔第十一節〕政治……世界各國種々ノ政體アリト雖、之ヲ分

テテ立君政ト民主政トノ二トス。

(一)立君政體……立君政體トハ、世襲ノ君主アリテ、其國ヲ統治スルモノヲ云フ。而シテ其内ニ專制ト立憲トノ別アリ。

(イ)專制政治……一國ノ政治、唯君主ノ意ノマ、ニ左右セラ

ル、モノヲ、專制政治ト云フ。支那、露西亞等ハ專制政治ナリ。

(ロ)立憲政體……國ニ憲法アリテ、君主ハ之ニ從ヒテ、政治ヲ行フモノニテ、英吉利、獨逸等ハ、此政體ヲ用フ。我國ハ、明治二十二年二月十一日憲法ヲ發布セラレ、二十三年中、始メテ帝國議會ヲ開設セラレ、東洋諸國中、率先シテ立憲ノ政體ヲ採用セ

ラレタリ。

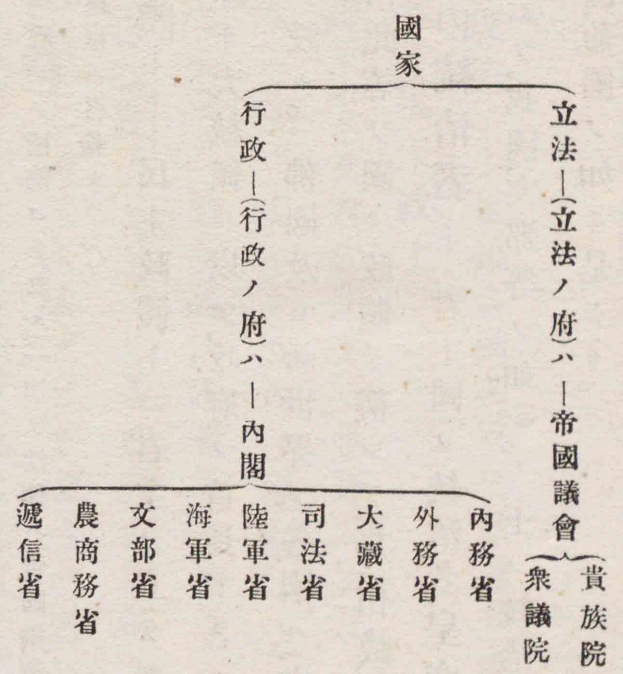
〔附〕憲法及ひ帝國議會……憲法トハ、國家ノ組織、及ヒ國權ノ作用ヲ、規定セル國家ノ命令ニテ、法律ノ上ニ立ツモノナリ。帝國議會ハ、立法ノ府ニテ、貴族院^(上)衆議院^(下)ノ兩院ヨリ成ル、一切ノ法律ハ、帝國議會ノ協賛ヲ要ス、毎年三ヶ月間、東京ニ召集セラル。

(二)民主政體……民主政體トハ、君主ヲ立テズ、國民ノ撰舉シタル長官即チ大統領ヲ以テ、政府ノ首長トスルモノニシテ、何レモ國會ヲ設ク。佛國及ヒ新世界ノ各國ハ、大抵此政體ヲ採用セリ、通常此等ノ國ノ政體ヲ稱シテ、共和政治ト云フ。

(三)君主國の統治者……君主國ノ統治者、皇帝ナルキ、其國ヲ帝國ト云フ、我國、支那等ノ如シ。王ノ統治スル國ヲ王國ト云フ、英國、葡國ノ如キ是ナリ。

(四)政權の區分……開明國ニ於キテハ、政權ヲ分テテ立法、行政

ノ二トス。次ニ我國ノ例ヲ以テ之ヲ表示ス。

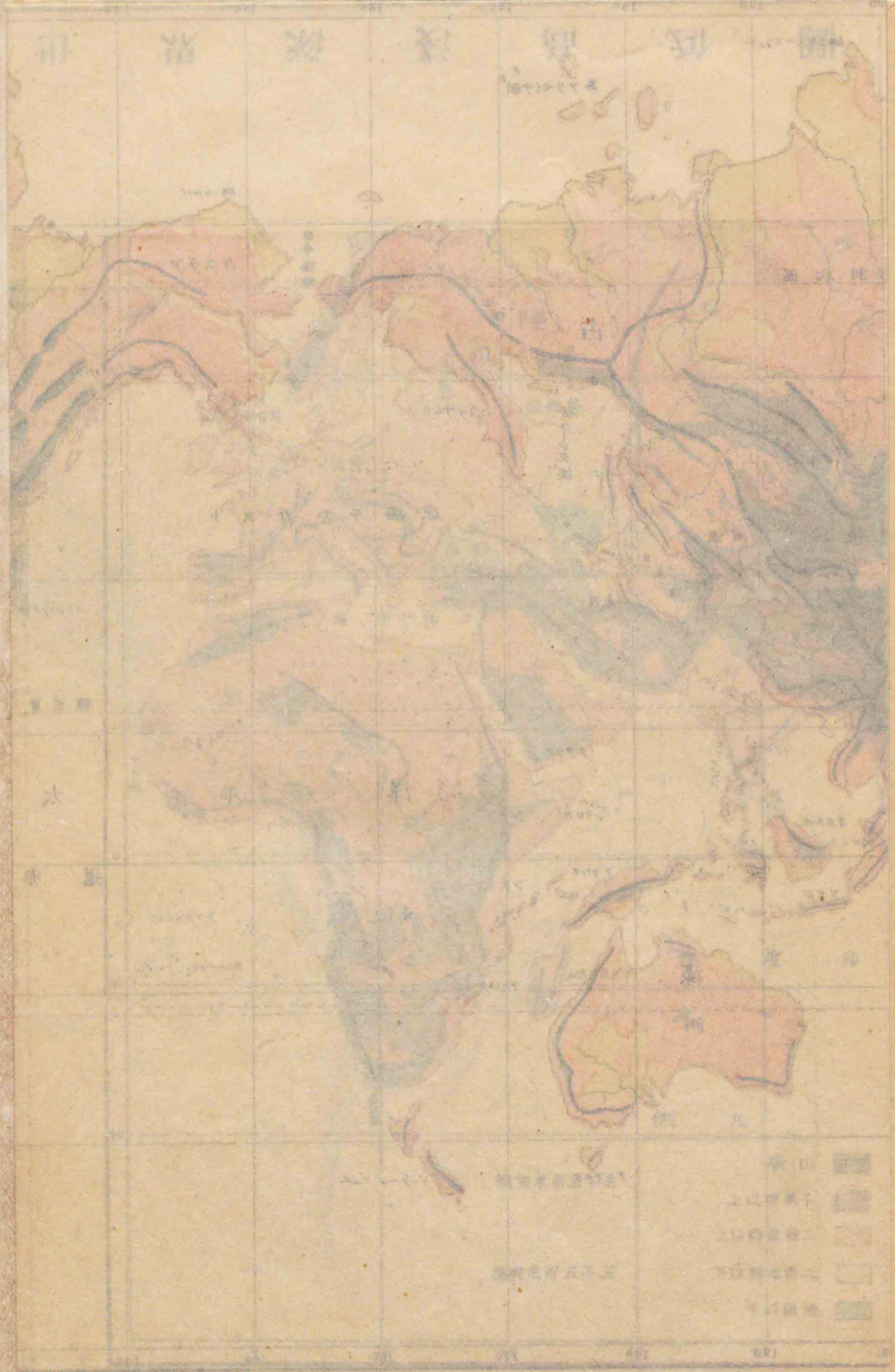


(五) 行政の區劃……各國施政上ノ便宜ヲ圖リテ、國內ヲ數多ノ行政區劃ニ分ツ、我國ニテハ、道廳、(一)府、(三)縣、(四十)ヲ置キ、

其下ニ郡、(八百)市、(四十)町、(千二百)村、(一万三千七)ノ區分アリ、中央大政府所在ノ地ヲ首府ト云フ、我國ノ東京、支那ノ北京、朝鮮ノ京城、英ノろんごん、佛ノぱりー等ノ如キ是ナリ。

(六) 軍備……一國ノ獨立ヲ保テ、其尊嚴ヲ維持スルニハ、軍備ナカルヘカラス。通常各國ノ軍備上、陸軍海軍ノ別アリ、我國ニテモ、徳川氏ノ末ヨリ陸海二軍ヲ設ケシガ、維新ニ至リテ、大ニ其制度ヲ更定シ、徴兵ノ法ヲ定メ、全國皆兵ノ制ヲ建テラレ、天皇ハ陸海軍ヲ統帥シ給フ。而シテ全國ノ男子、滿十七歳ヨリ滿四十歳マテハ、總テ兵役ニ服スルノ義務アリ。

中等新地理第一編終

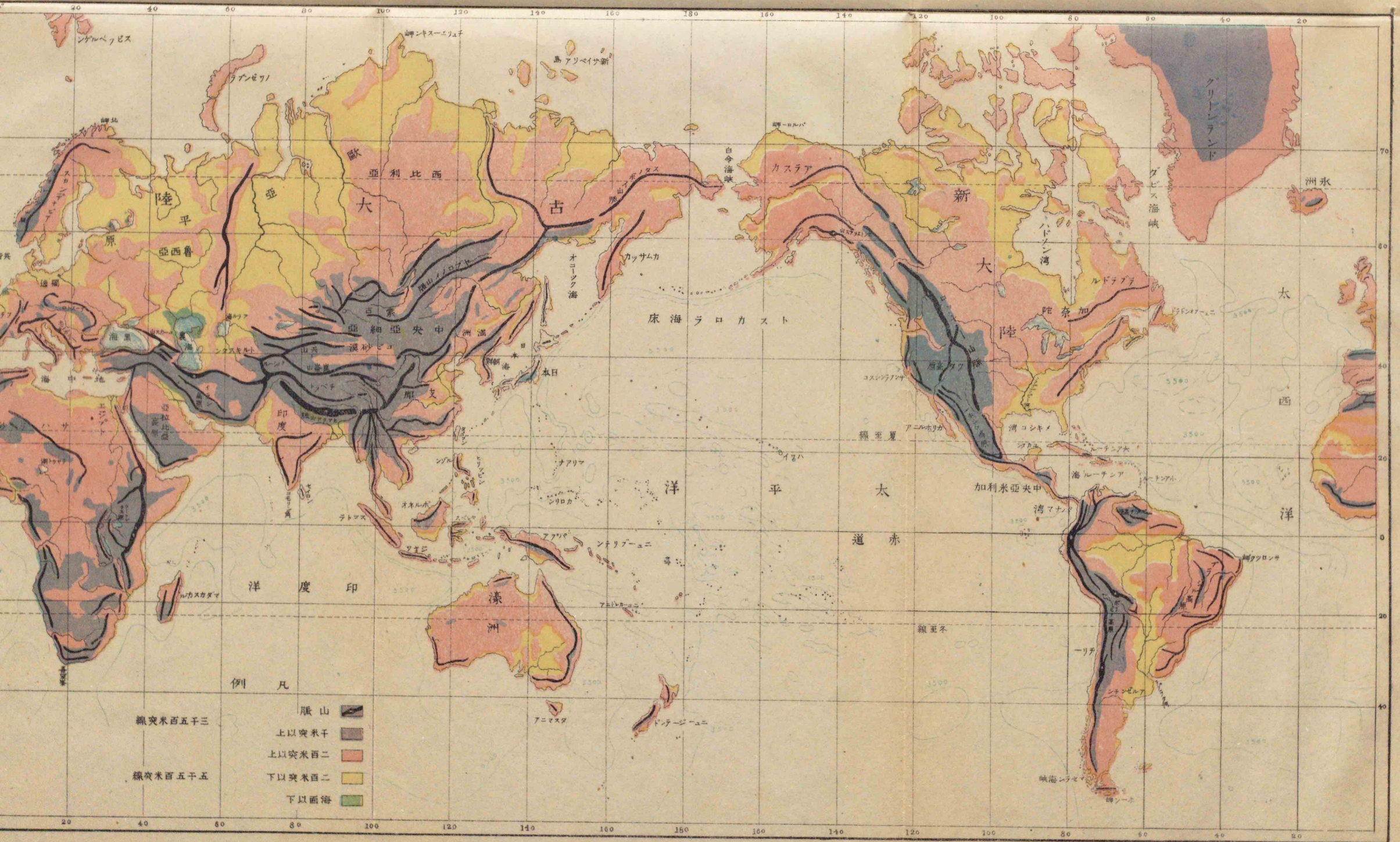


中華海峽與第一條

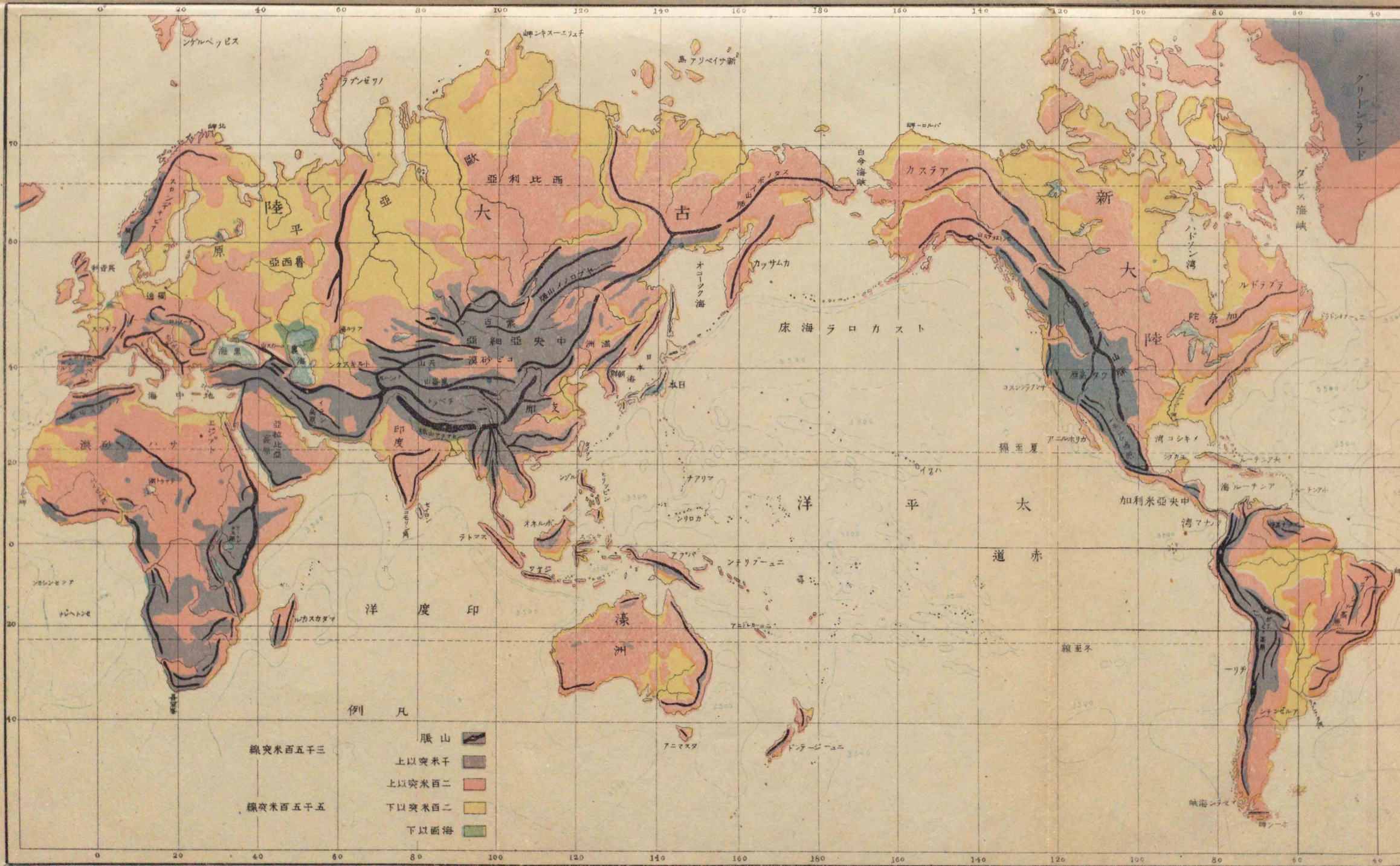
中華海峽之重要。蓋此海峽。為東亞與南洋之交通要道。其地狹窄。舟楫難行。故自古以來。皆為兵家必爭之地。且其地氣候。亦極炎熱。居民多為土著。其風俗。亦與中國迥異。故欲通商於南洋。必先通此海峽。此海峽之重要。實非筆墨所能形容也。

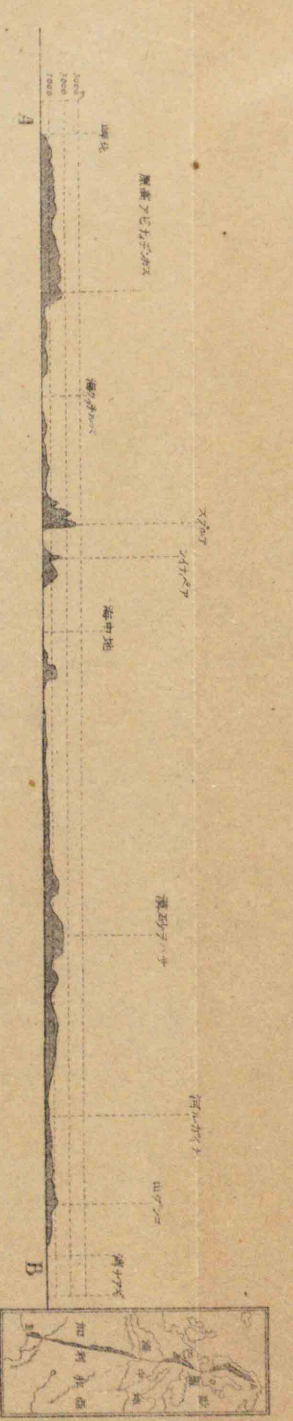
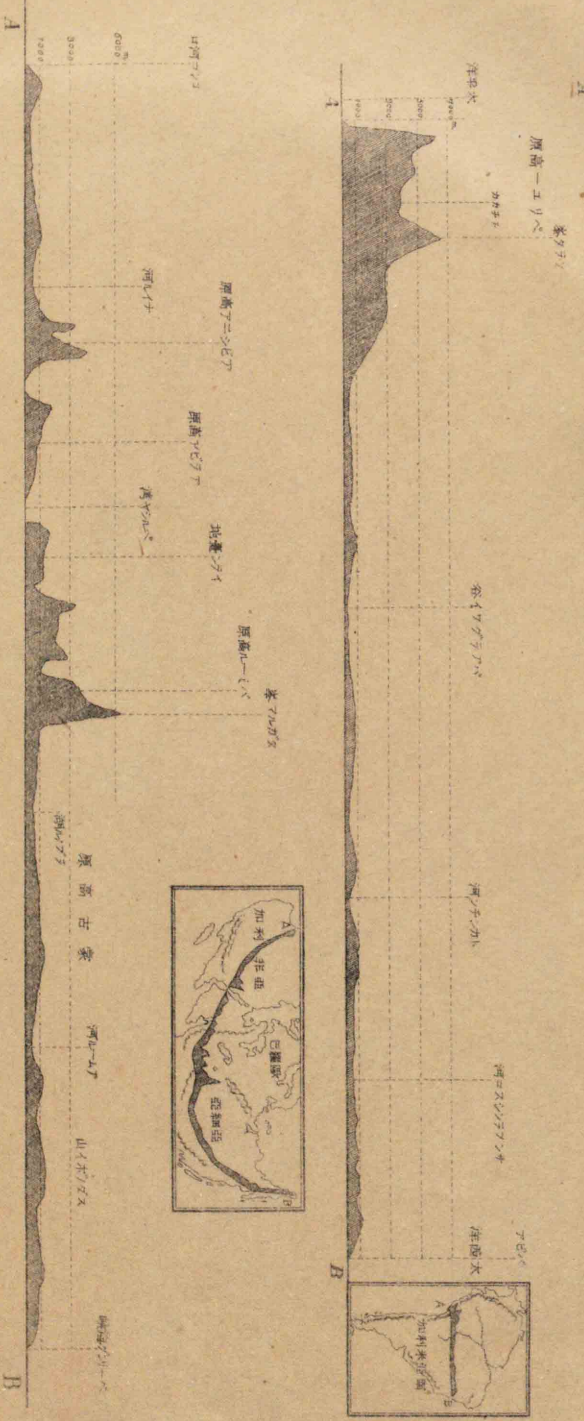
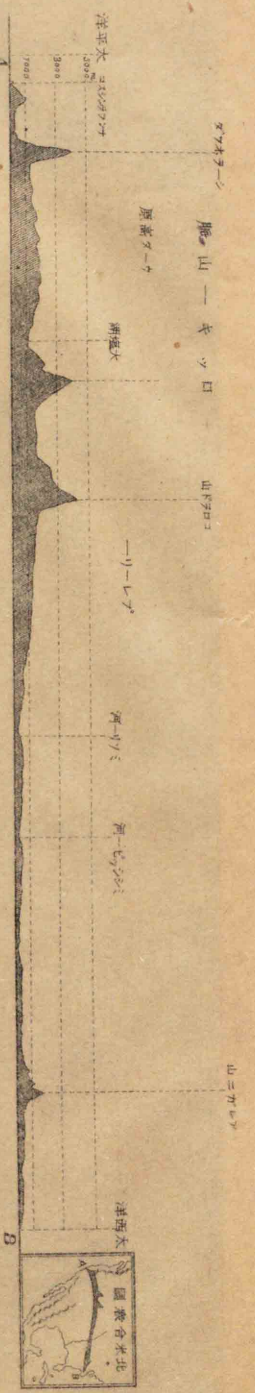
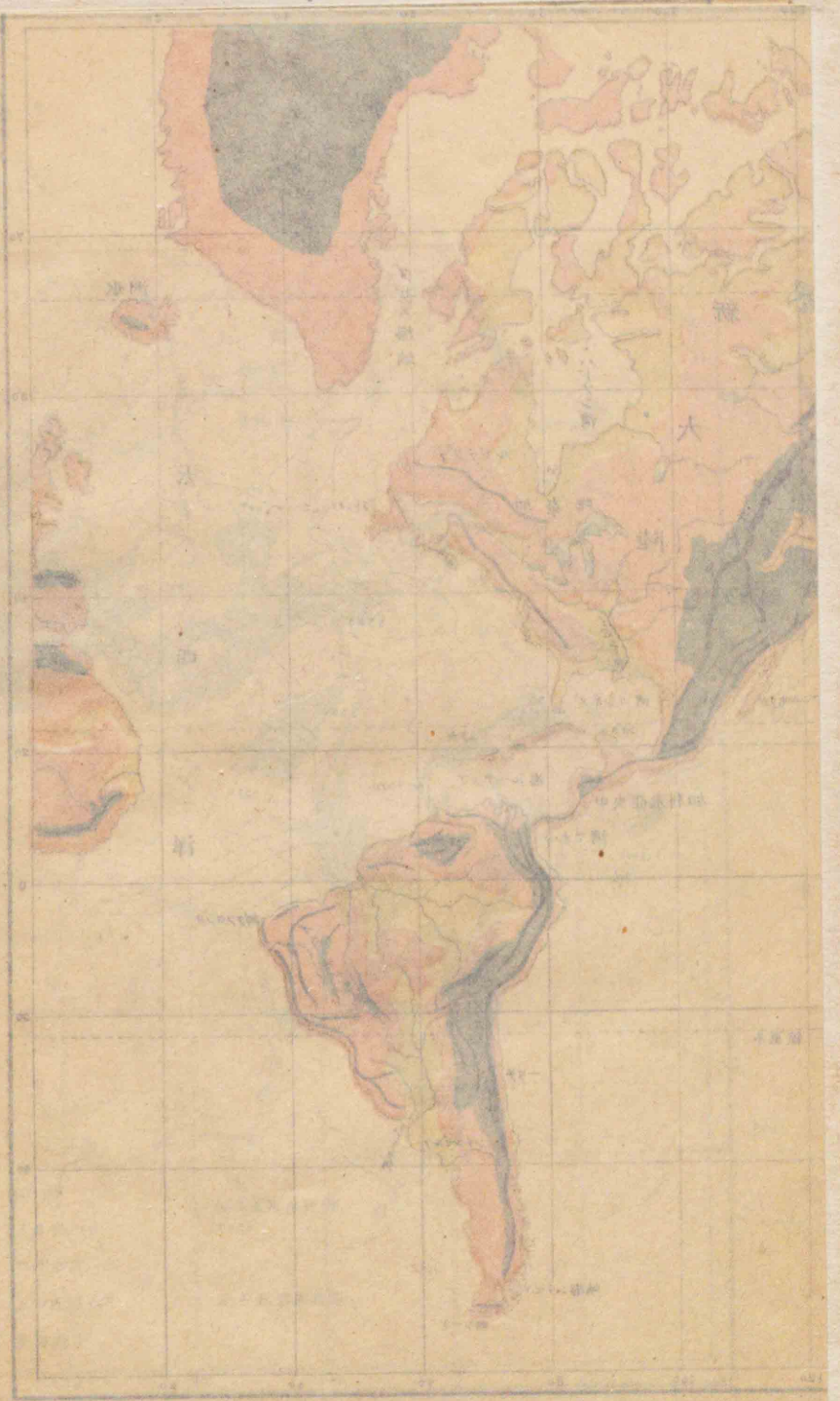
中華海峽之重要。蓋此海峽。為東亞與南洋之交通要道。其地狹窄。舟楫難行。故自古以來。皆為兵家必爭之地。且其地氣候。亦極炎熱。居民多為土著。其風俗。亦與中國迥異。故欲通商於南洋。必先通此海峽。此海峽之重要。實非筆墨所能形容也。

世界深淺高低圖



世界深淺高低圖





明治二十七年十月十日印刷
 明治廿七年十月十三日發行
 明治廿八年九月一日訂正再版
 明治廿八年九月四日訂正再版分本發行



著者

太田保一郎

東京市麴町區下六番町四十五番地



發行兼
印刷者

八尾新助

東京市神田區錦町三丁目八番地

發賣所

八尾書店

東京市神田區表神保町一番地

八尾商店

東京市京橋區銀座四丁目一番地

正價金參拾錢



大 賣 捌 所

東京神田區	有 嬰 閣 全	積善館支店 全	小山左傳次
全 日本橋區	明 法 堂 松江天神町	川 岡 清 助 全	水 琴 堂
全 芝區	博 弘 堂 廣島	積善館支店 上野前橋市	煥 乎 堂
全 大坂備後町	大倉書店 岡山西大寺町	武内彌三郎 福島市本通	博 向 堂
全 本丁	丸善書店 徳島通町	阪井萬吉 岩代若松町	田 中 善 平
全 北久太郎町	林 平次郎 高知市	澤本駒吉 仙臺大町	木 文 商 店
全 京都佛光寺	福島雜誌舖 全 相生橋詰	吉岡支店 全	高 藤 書 店
全 河原町	盛 文 館 和歌山市	熊谷久榮堂 全 國分町	佐 勘 書 店
全 東洞院	岡島真七 津地頭領町	平井文助 陸奥青森町	鈴 木 織 治
全 寺町	柳原喜兵衛 全 大門町	三宅小次郎 秋田中通町	品 川 太 右 衛 門
全 名古屋玉屋町	積善兵衛 三河豐橋町	川島九右衛門 全	日 新 館
全 本町	東枝吉兵衛 遠江濱松町	高須廣治 全	岡崎左喜介
全 宮町	大黒屋書店 靜岡江川町	谷島屋源三郎 富山四十物町	中 田 書 店
熊本新二丁目	村上勘兵衛 甲府	廣 瀨 市 藏 高岡横田町	學 海 堂
鹿兒島仲町	田中治兵衛 橫濱辨天通	柳 正 堂 越後高田上吳服	高 橋 恒 堂
佐賀	片野東四郎 常陸水戸	九 善 支 店 新潟古町六番丁	林 村 富 吉
福岡博多	川 瀨 代 助 加賀小松	柳 且 堂 越後水原丁	西 村 六 平
	佐藤甚造 全 金澤	宇都宮源平 全 長岡丁	目 黒 十 郎
	長崎次郎 野州宇都宮	全 支 店 全	松 田 周 平
	吉田幸兵衛 近江大津	淡 海 堂 全	覺 張 治 平
	西村萬次郎 全	島林專二郎 函館末廣丁	魁 文 舍
	森岡榮 信濃長野町	西澤喜太郎 各地	書 林

八尾書店出版及專賣書目

内閣官報局御發行

官 報

日 刊

無 遞 送 料
一ヶ月前金五拾錢

右ハ東京府下ニ限り販賣取次仕候●壹部賣ハ小口一枚金三厘ニ御座候
附錄 帝國議會事速記錄 帝國議會開會中發刊

右ハ貴族院衆議院ノ二種有之代價ハ官報全様小口一枚金三厘ニシテ枚數ハ日々増減御座候
故一定不致候尤モ官報御購買ノ方ヘハ附錄トシテ配送相成候

内閣官報局御編纂

職 員 錄

乙 甲 二 卷

定價金四拾貳錢
郵税金拾六錢

法 令 全 書

每月一冊發刊

定價金拾錢
郵稅凡金六錢

元 年 分
二 年 分

並製金六十五錢
上製金八十五錢

三 年 分
四 年 分

並製金六十五錢
上製金八十五錢

會計検査院長子島渡邊昇閣下題辭全部長安川繁成君序
會計検査院村松正直有福郷明兩先生編纂

●會計法規類纂

內閣法制局御編纂

●法規提要

參謀本部御藏版

●西伯利地誌

●東亞各港誌

●日本戰史

●支那地誌

●各國兵事摘要

司法部御藏版

●文佛日本裁判所構成法

●文英日本商法

●文日日本人事編

實價 金壹圓五十錢
外ニ遞送實費申受候

實價 金二圓三十錢
運送實凡金三

正價 金二圓五十錢
郵稅 金四

正價 金八圓十錢
郵稅 金五

實價 金壹圓三十錢

正價 金六圓十錢
郵稅 金六

定價 金四拾錢
郵稅 金四

定價 金二圓十五錢
郵稅 金四

定價 金七圓十錢
郵稅 金拾

定價 金四圓十五錢
郵稅 金六

●文英日本民法財產取得篇續

●文佛日本刑事訴訟法

大審院御藏版

●大審院判決錄

右ハ二ヶ月或ハ三ヶ月毎ニ一册刊行セラレ紙數ニヨリ代價郵稅増減アリ

前大審院判事日本佛國法律學士岸本辰雄先生著

●修身帝國憲法要領

樞密院顧問官伯耆勝海舟公題字●山谷虎三先生著

法學博士鳩山和夫先生序●法學博士熊野敏三先生序并校閱

●日本憲法正解

附屬四法令及皇室典範釋義

別認可明治法律學校內新法註釋會御藏版

●民法正義第五版

●商法正義第五版

●訂正民事訴訟法正義第七版

●改訂商事會社法正義

附商業登記簿商業帳簿

定價 金三圓十三錢
郵稅 金四

定價 金五圓十錢
郵稅 金八

正價 金六圓拾錢
郵稅 金六

正價 金八圓十錢
郵稅 金八

特價 金十二圓五十錢
郵稅 金一圓三十二錢

特價 金五圓七十錢
郵稅 金六圓十二錢

特價 金四圓十六錢
郵稅 金四

特價 金一圓五十錢
郵稅 金十

●改手形法正義

脊皮全一册
紙數凡三百二十頁

特價 金六十八錢

●改破產法正義

脊皮全一册
紙數三百九十頁

特價 金八十四錢

●刑法正義

全二册

特價 金三十六錢

佛國法律博士ボアソナア先生訓定●本野一郎先生●森順正先生
日本佛國法學博士富井政章先生校閱●寺尾亨先生●城敷馬先生合著

●日本民法正義

全十五册
內十册出來

正價第一册金一圓三十錢●第二册
金一圓●第三册以下一册各七十錢

●日本商法正義

全二十册

內六册出來
一册正價 金三十錢
一ヨリ四迄合本總ク羅斯 正價 金一圓

前大審院判事日本佛國法律學士岸本辰雄先生著

●商事會社法要義

全一册

正價 金六拾錢

●手形法要義

全一册

正價 金七拾錢

●圖解商事會社法正義

全一册

持價 金七十二錢

●圖解手形法正義

全一册

持價 金四拾錢

●圖解破產法正義

全一册

特價 金三十二錢

●商業登記簿正解

全一册

特價 金四十五錢

法學士林金次郎先生著

●改會社法正義

全一册

特價 金四拾四錢

法學士水野鍊太郎先生著

●破產法綱要

全一册

特價 金五拾錢

日本佛國法學博士梅謙次郎君校閱法學士高根義人先生著

●手形法綱要

全一册

特價 金六十五錢

控訴院判事深野達先生著

●民事訴訟法講義

增訂第三版
全壹册

特價 金壹圓二拾錢

大審院判事高木豐三先生著

●民事訴訟法實習

全一册

特價 金壹圓六拾錢

●日本民事訴訟法對比

全一册

特價 金四拾五錢

前大審院判事日本佛國法律學士磯部四郎先生著

●日本刑法講義

全二册

特價 金三拾四錢

特別認可明治法律學校參考用書

●日本刑法博議

法學士江木衷先生著

全第三册版(近刊)

特價金壹拾錢

●現行刑法原論

法學博士井上正一先生著

全三册入

特價金壹圓七拾五錢

●訂日本刑法講義

前大審院判事法律學士磯部四郎先生著

全壹册

特價金壹圓六拾錢

●刑訴法講義

法學博士井上正一先生著

全壹册

特價金壹圓八拾五錢

●訂刑事訴訟法義解

法律學士寺尾章先生著

全壹册

特價金壹圓八拾五錢

●刑事訴訟法講義

東京七法律學校及判檢事辯護士等試驗問題全集

全壹册

特價金九拾三錢

●附現行試驗規則

高等官辯護士愛驗必携

全壹册

特價金九拾三錢

●日本民法要義

法學士長島鷗太郎先生著

全六册

特價金壹圓八拾五錢

●強制執行法論

文正改

全二册

特價金壹圓拾錢

●文集會政社出版版權法

文正改

全二册

特價金壹拾錢

商業登記簿商業帳簿會社手形破産及附屬法紙質上等美本

正價金五錢

●府縣制郡制

文正

紙質上等美本

正價金五錢

●獨逸刑法

文正

菊判大本全一册

正價金二十五錢

●獨逸治罪法

文正

菊判大本全一册

正價金二十五錢

●獨逸商法

文正

菊判大本全一册

正價金十五錢

●獨逸裁判所構成法

文正

菊判大本全一册

正價金十五錢

●獨逸訴訟法

文正

菊判大本全一册

正價金壹圓

●緬氏古代法

文正

全一册

特價金八錢

●國家法制起原

文正

全一册

特價金八錢

●社會法

文正

全一册

特價金八錢

●日本流通手形法述義

文正

全一册

特價金八錢

●府縣郡制釋義

文正

全一册

特價金八錢

●法制局部長獨逸法學博士山脇亨先生講義

法制局參事官如書記官中根重一先生講義

全一册

特價金八錢

●法制局參事官如書記官中根重一先生講義

法制局參事官如書記官中根重一先生講義

全一册

特價金八錢

●府縣郡制釋義

文正

全一册

特價金八錢

大藏省主税官米國法律學士日賀田種太郎先生校閱
小野崎五助●葦光萬平兩先生共著

●國稅滯納處分法解釋

行政裁判所評定官法學士樋山資之先生訂正
會計検査院検査官補三輪一夫先生著

●日本行政裁判法講義

獨逸警視總監伯爵ヒュー・デグレイ氏原著
內閣法制局參事官兼書記官中根重一先生譯述

●獨逸政治學

一名獨逸政務調查書

內閣總理大臣陸軍大將伯爵山縣有朋公題辭
內務大臣品川子爵序●全權公使野村子爵序
農科大學教師獨逸政治大博士ヘ・マイエツト氏著

●農業保險論

一名日本農民位置改良策
內務省法律顧問自治制編纂委員モツセ氏講述

●自治制講義

帝國大學教師ドクトル、ラートゲン氏

●地方財政學

品川內務大臣序文●獨逸大博士ウヰルヘルム、ロツシエル氏著

●農業經濟論

正價 金二 十五 錢

正價 金四 拾 錢

特價 金一圓 八四 十 錢

正價 金一圓 二五 十 錢

正價 金六 十 錢

正價 金五 十 錢

正價 金壹圓 五 十 錢

獨逸協會學校御藏版

●地方自治論集

帝國文科大學ドクトル、ラートゲン氏講述

●行政學

帝國學大教師ドクトル、ラートゲン先生講述
獨逸協會教師ドクトル、ミハエリス先生講述

●工商政策論

米國工學博士日本工學士南部常次郎先生著

●衛生工事新論

法制局參事官兼鐵道廳參事官中根重一先生著

●鐵道問題

山谷徳次郎先生編纂

●醫事衛生制度全書

逕商務省參事官法學士島田剛太郎先生述

●狩獵規則詳解

●日本藥局方

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

正價 金二 十五 錢

正價 金四 拾 錢

特價 金一圓 八四 十 錢

正價 金一圓 二五 十 錢

正價 金六 十 錢

正價 金五 十 錢

正價 金壹圓 五 十 錢

布哇國政府日本移民局官撰

●增補 布哇國渡航者必携

陸軍經理學校試驗用書●勝村榮之助先生著

●商簿記學原論

●商簿記學原論例式

文部省御藏版

●商業沿革史

文部省御藏版

●商業博物誌

文部省御藏版

●商業工藝史

●清國通商總覽

東邦協會藏版●故菅沼貞風先生著

●大日本商業史

大藏大臣渡邊國武君題辭 監查局長添田壽一君序 川澄惠之先生編輯

●銀行正鑑

全一册

正價 金三

十錢

全一册

實價 金六

十錢

全一册

實價 金四

十錢

第二册

特價 金八

十五錢

第二册

特價 金八

十五錢

第二册

特價 金八

十五錢

全三册

正價 金八

圓

第一册

正價 金二

十錢

全一册

正價 金二

十錢

鶴岡義五郎先生著

●官民必携

瀧川資則先生編

●金玉評註先哲手簡

故白河樂翁公遺著

●退閑雜記

樞密顧問青木子爵序●外務顧問官關澤藏先生譯

●隨感時事漫評

文學博士重野安綱先生序●吉田升太郎先生編

●忠勇龜鑑

有栖川宮殿下小松宮殿下故山田伯題辭●村田峯次郎先生著

●大村益次郎先生傳

關熊太郎先生著

●千島探險誌

文部大臣井上毅公著

●北海道意見

故左兵衛權少將松平定信朝臣遺著

●樂翁公遺書

全壹册

實價 金四

拾錢

全一册

正價 金六

拾錢

全壹册

實價 金四

拾錢

全壹册

正價 金四

拾錢

全壹册

正價 金四

拾五錢

第二版

正價 金拾

五錢

全壹册

正價 金拾

五錢

全壹册

正價 金四

拾錢

全三册

實價各金壹圓五拾六錢
郵稅各金三拾六錢

麻績斐先生著

中興美談

麻績斐先生著

東北偉人

子爵由利公正君演述

近世實業談



國華插畫

全壹册	全壹册	全壹册	全壹册
郵定價 金五拾	郵定價 金四拾五	郵定價 金四	郵定價 金五
錢錢	錢錢	錢錢	錢錢
每月壹册發行	壹册	壹册	壹册
郵正稅價 金壹拾	郵正稅價 金壹拾	郵正稅價 金壹拾	郵正稅價 金壹拾
錢圓	錢圓	錢圓	錢圓

- 久陽守景筆梅鶴高士圖 金二拾五錢
- 一平治物語繪卷 金六拾錢
- 烏羽僧正筆貴山緣起圖 金三拾錢
- 圓山應舉花卉集圖 金二拾五錢
- 全 金二拾五錢
- 依屋宗達筆菊圖 金三拾錢
- 前九年合戰繪卷 金三拾錢
- 春日隆能筆源氏繪卷 金三拾錢
- 鳥羽僧正筆鹿圖 金四拾錢
- 徽宗皇帝筆鳥圖 金三拾錢
- 吳道子筆釋迦圖 金三拾錢

- 狩野芳崖筆牧童圖 金三拾錢
- 錢舜舉筆美人圖 金三拾錢
- 勝川春勝筆竹林七美人圖 金四拾錢
- 懷月堂筆美人圖 金三拾五錢
- 李安忠筆鷹圖 金三拾五錢
- 西行物語繪卷 金三拾五錢
- 破笠翁筆御前圖 金三拾五錢
- 喜多川歌麿筆美人圖 金三拾五錢
- 勝川春章筆美人圖 金三拾五錢
- 抱一筆花鳥圖 金三拾五錢
- 同蜘蛛草紙繪卷 金三拾五錢

- 雲村筆花鳥圖 金二十五錢
- 炎威王夜叉金剛彫像 金二十五錢
- 雪舟筆山水圖 金二十五錢
- 十一面觀自在尊彫像 金二十五錢
- 海北友雪筆山水圖 金二十五錢
- 伊藤若冲筆鯉魚圖 金二十五錢
- 周文筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 藤原信實筆北野綠起繪卷 金二十五錢
- 森狙仙筆猿圖 金二十五錢
- 春日隆能筆源氏物語繪卷 金二十五錢
- 稻卓筆鷹圖 金二十五錢
- 一之筆觀音圖 金二十五錢
- 狩野松榮筆上下龍圖 金二十五錢
- 長澤蘆雪筆重伯虎賣符圖 金二十五錢
- 乾漆製伎藝天女彫像 金二十五錢
- 圓山應舉筆雜圖 金二十五錢
- 橋本雅邦筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 啓書記筆竹林七賢人圖 金二十五錢
- 初音之靜繪 金二十五錢
- 運慶作維摩居士彫像 金二十五錢
- 無著菩薩彫像 金二十五錢
- 奈瓦興福寺金堂內佛像 金二十五錢
- 宮川長春美人圖 金二十五錢
- 狩野元信三笑圖 金二十五錢
- 顏輝鐵拐仙人圖 金二十五錢
- 元信筆猿圖 金二十五錢
- 探幽山水圖 金二十五錢
- 時給初音集 金二十五錢

- 狩野雅樂介三聖吸醉圖 金三十錢
- 長澤蘆雪筆稚童圖 金三十五錢
- 因陀羅千筆拾得圖 金二十錢
- 英一蠅筆山水圖 金三十錢
- 後三年合戰繪卷 金二十五錢
- 夏蛙經卷繪卷 金四十錢
- 殿島經卷繪卷 金二十五錢
- 天平畫厨子屏帝釋天圖 金三十錢
- 李迪筆水芙蓉圖 金三十錢
- 狩子成筆松下布袋圖 金二十五錢
- 宮川長春筆美人納涼圖 金三十五錢
- 狩野常信筆荷花鳳凰圖 金六拾錢
- 天狗草紙繪卷 金三十五錢
- 宮川長春筆美人圖 金三十五錢
- 岩佐及兵衛筆美人圖 金三十五錢
- 同 金三十五錢
- 本阿彌光甫筆紫藤丹楓圖 金三十錢
- 麥川派美人圖 金三十錢
- 馬遠筆寒江獨釣圖 金三十五錢
- 雪村筆花鳥圖 金三十五錢
- 狩野正信三聖圖 金三十錢
- 正歲筆舞妓圖 金三十五錢
- 春日長筆土佐大納言繪卷 金三十五錢
- 尾形光琳花弁圖 金三十五錢
- 松花堂花鳥圖 金二十八錢
- 寫眞版之部
- 會我二直應筆鷹圖 金二十五錢
- 土佐光信筆福富州紙 金二十五錢
- 吳春筆孔雀圖 金二十五錢
- 門無關筆仙人道伯圖 金二十五錢
- 運慶作文珠菩薩彫像 金二十五錢

- 雲村筆花鳥圖 金二十五錢
- 炎威王夜叉金剛彫像 金二十五錢
- 雪舟筆山水圖 金二十五錢
- 十一面觀自在尊彫像 金二十五錢
- 海北友雪筆山水圖 金二十五錢
- 伊藤若冲筆鯉魚圖 金二十五錢
- 周文筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 藤原信實筆北野綠起繪卷 金二十五錢
- 森狙仙筆猿圖 金二十五錢
- 春日隆能筆源氏物語繪卷 金二十五錢
- 稻卓筆鷹圖 金二十五錢
- 一之筆觀音圖 金二十五錢
- 狩野松榮筆上下龍圖 金二十五錢
- 長澤蘆雪筆重伯虎賣符圖 金二十五錢
- 乾漆製伎藝天女彫像 金二十五錢
- 圓山應舉筆雜圖 金二十五錢
- 橋本雅邦筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 啓書記筆竹林七賢人圖 金二十五錢
- 初音之靜繪 金二十五錢
- 運慶作維摩居士彫像 金二十五錢
- 無著菩薩彫像 金二十五錢
- 奈瓦興福寺金堂內佛像 金二十五錢
- 宮川長春美人圖 金二十五錢
- 狩野元信三笑圖 金二十五錢
- 顏輝鐵拐仙人圖 金二十五錢
- 元信筆猿圖 金二十五錢
- 探幽山水圖 金二十五錢
- 時給初音集 金二十五錢

- 雲村筆花鳥圖 金二十五錢
- 炎威王夜叉金剛彫像 金二十五錢
- 雪舟筆山水圖 金二十五錢
- 十一面觀自在尊彫像 金二十五錢
- 海北友雪筆山水圖 金二十五錢
- 伊藤若冲筆鯉魚圖 金二十五錢
- 周文筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 藤原信實筆北野綠起繪卷 金二十五錢
- 森狙仙筆猿圖 金二十五錢
- 春日隆能筆源氏物語繪卷 金二十五錢
- 稻卓筆鷹圖 金二十五錢
- 一之筆觀音圖 金二十五錢
- 狩野松榮筆上下龍圖 金二十五錢
- 長澤蘆雪筆重伯虎賣符圖 金二十五錢
- 乾漆製伎藝天女彫像 金二十五錢
- 圓山應舉筆雜圖 金二十五錢
- 橋本雅邦筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 啓書記筆竹林七賢人圖 金二十五錢
- 初音之靜繪 金二十五錢
- 運慶作維摩居士彫像 金二十五錢
- 無著菩薩彫像 金二十五錢
- 奈瓦興福寺金堂內佛像 金二十五錢
- 宮川長春美人圖 金二十五錢
- 狩野元信三笑圖 金二十五錢
- 顏輝鐵拐仙人圖 金二十五錢
- 元信筆猿圖 金二十五錢
- 探幽山水圖 金二十五錢
- 時給初音集 金二十五錢

- 雲村筆花鳥圖 金二十五錢
- 炎威王夜叉金剛彫像 金二十五錢
- 雪舟筆山水圖 金二十五錢
- 十一面觀自在尊彫像 金二十五錢
- 海北友雪筆山水圖 金二十五錢
- 伊藤若冲筆鯉魚圖 金二十五錢
- 周文筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 藤原信實筆北野綠起繪卷 金二十五錢
- 森狙仙筆猿圖 金二十五錢
- 春日隆能筆源氏物語繪卷 金二十五錢
- 稻卓筆鷹圖 金二十五錢
- 一之筆觀音圖 金二十五錢
- 狩野松榮筆上下龍圖 金二十五錢
- 長澤蘆雪筆重伯虎賣符圖 金二十五錢
- 乾漆製伎藝天女彫像 金二十五錢
- 圓山應舉筆雜圖 金二十五錢
- 橋本雅邦筆寒山拾得圖 金二十五錢
- 啓書記筆竹林七賢人圖 金二十五錢
- 初音之靜繪 金二十五錢
- 運慶作維摩居士彫像 金二十五錢
- 無著菩薩彫像 金二十五錢
- 奈瓦興福寺金堂內佛像 金二十五錢
- 宮川長春美人圖 金二十五錢
- 狩野元信三笑圖 金二十五錢
- 顏輝鐵拐仙人圖 金二十五錢
- 元信筆猿圖 金二十五錢
- 探幽山水圖 金二十五錢
- 時給初音集 金二十五錢

奇景妙趣拘スヘク百花爛熳芳香馥郁タリ美人ハ嬌笑シ禽鳥ハ劉曉ノ聲ヲ發セントス神影高逸ニシテ佛像典雅渴仰ノ念自ラ浮フ或雅致ノ賞スヘキアリ或ハ古色ノ飄然タルアリ而モ之ニ一面ノ紙上之ヲ掛軸トナスヘク之ヲ屏風トナスヘク之ヲ額面ニ之ヲ畫帖トナスヘシ一見心神怡再覽胸宇清洒タリ這般ノ佳物之ヲ國華ノ挿畫トナス抑モ國華ハ本邦美術ノ精華神髓ヲ悠遠ニ傳ヘ聲譽ヲ全世界ニ發輝スルモノニシテ每號宮内省ヘ御買上トナリ

畏キ御邊ノ御劉覽 チ泰フスル光榮アルモノニシテ **閣龍世界大博覽會** ニ出品座則之アレハ光輝爲ニ倍セン

文部省檢定 濟
文學博士重野安釋先生編輯

●高等小學修身
●尋常小學修身

文部省檢定 濟
文學博士重野安釋先生校閱
八尾編 輯所編輯

●高等小學修身
●尋常小學修身

本書は、教育に關する、勅語の御主意に基き、
必涵蓋するを以て、 注意こそす。本書は、 每册、 勅語の御主意を奉体し、

小學校第一條に掲ぐる、 道德教育及國民教育に、 必須なる徳性、 小學生徒の年齢に應じ、 其の程度を酌

生徒用

全四册	正價 金四十四	錢
郵稅 金十	二	錢
全四册	正價 金四十六	錢
郵稅 金八	錢	

教師用

全四册	正價 金八拾	錢
郵稅 金五	拾	錢
全四册	正價 金拾四	錢
郵稅 金拾	錢	

量し、諸般の徳性を實踐躬行せしむるを以て、主意こそす。本書は掲ぐる俚諺語言は、簡短にして、口調善く且意味の解し易きものより、次第に、高尚なるものに及ぼす。本書の事實は、生徒の、解し易き寓言及本邦先賢故人の傳記より始め、間、我が國体に害なき支那西洋の事實を交ふ。本書は、一事項を教授する方法を、主とし、事實より入りて、俚諺語言を收め、專、歸納法に資る。假名文字は、片假名より平假名に及び、平假名は、變体を用ひず、漢字は、字畫の少きものより、漸次多きもの及び、言語は、勉めて、異近にして、解し易きを用ふ。本書の挿畫は、故實を正し、最も品格善く最も趣味に富むものを選び、生徒をして、德行上の觀念を惹き起さしめんことを勉めたり。本書の教授法等に就きては教師用に於て、之を詳悉し、以て教授の任に當る諸氏の參照に供す。

學習院教授太田保一郎先生著

●中等新地理

全一册 正價 金七拾 錢

岡村増太郎先生編輯

●高等小學新歴史

全四册 正價 金五十五 錢

●高等小學新地理

全四册 正價 金五十五 錢

佐野喜代吉先生編輯

●高等小學理科

全四册 正價 金五十五 錢

●小學祝祭日唱歌附略譜

全一册 定價 金三錢 五厘

●小學祝祭日唱歌附略譜及校用祝祭日唱歌詞義解

全一册 定價 金二錢

末松文學博士序 鹽川太一郎先生著

●朝鮮通商事情

勝浦綱雄先生校閱 兒島獻吉郎先生著

●東洋史綱

●米國大金滿家之傳

日本新聞社出版日本叢書

●近時政論考

●行政時言

●海國政談

●豫算辨妄

●豫算論

●獺祭書屋俳話

●貧天地 饑寒窟探檢記

●原政及國際論

●依綠軒漫錄

全一册

全二册

全一册(近刊)

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

全一册

十八

正價 金二十錢

正價 金五錢

郵稅共 正價 金三十錢

全 正價 金二十二錢

全 正價 金十錢

全 正價 金六錢

全 正價 金六錢

全 正價 金八錢

全 正價 金十五錢

全 正價 金二十錢

全 正價 金二十錢

戸因益太郎

庫
5
32

広島大学図書

2000302832

